

令和6年度
事業報告

社会福祉法人 園 盛 会

- | | |
|---------------|--------------------------|
| 特別養護老人ホーム | 多摩の里むさしの園
(広域型/地域密着型) |
| デイサービスセンター | 多摩の里むさしの園 |
| 特別養護老人ホーム | 多摩の里けやき園 |
| 特別養護老人ホーム | もみの樹園 |
| 運動機能向上型デイサービス | もみの樹園 |
| 事業所内保育所 | もみの樹園 |

目 次

I 社会福祉法人 園盛会

沿革、理事会・評議員会、監事監査 等	1
経営本部事業報告	3
経営本部の事業活動	3
本部採用担当 事業報告	7
本部営業担当 事業報告	9

II 特別養護老人ホーム 多摩の里むさしの園

施設の概要	17
総務課 事業報告	18
経営企画室 教育・企画担当 事業報告	28
介護課 事業報告	
（介護課全体）	33
（各ブロック・ユニット）	45
医務課医務係 事業報告	59
医務課リハビリ係 事業報告	63
生活課 事業報告	66
栄養課 事業報告	77

III デイサービスセンター 多摩の里むさしの園

事業報告	81
------------	----

IV 特別養護老人ホーム 多摩の里けやき園

施設の概要	85
総務課 事業報告	87
経営企画室 教育・企画担当 事業報告	96
介護課 事業報告	
（介護課全体）	102
（各フロア）	112
医務課医務係 事業報告	118
医務課リハビリ係 事業報告	122
生活課 事業報告	124
栄養課 事業報告	131

v 特別養護老人ホーム もみの樹園

施設の概要	135
総務課 事業報告	136
介護課 事業報告	
（介護課全体）	146
（各フロア）	155
医務課医務係 事業報告	164
医務課リハビリ係 事業報告	167
生活課 事業報告	169
栄養課 事業報告	176

VI 運動機能向上型デイサービス もみの樹園

事業報告	180
------------	-----

VII 事業所内保育所 もみの樹園

事業報告	183
------------	-----

令和6年度 事業報告

I 社会福祉法人 園盛会

1 沿革	平成 9 年 3 月 25 日	社会福祉法人 園盛会 設立認可	
	平成 10 年 3 月 31 日	特別養護老人ホーム 多摩の里むさしの園	設置認可
	平成 10 年 4 月 1 日	老人短期入所事業(ショートステイ多摩の里むさしの園)	開始届出
	平成 10 年 4 月 1 日	老人デイサービスセンター 多摩の里むさしの園	設置届出
	平成 14 年 2 月 1 日	居宅介護支援事業所 多摩の里むさしの園	介護保険指定
	平成 17 年 3 月 28 日	特別養護老人ホーム 多摩の里けやき園	設置認可
	平成 17 年 4 月 1 日	老人短期入所事業(ショートステイ多摩の里けやき園)	開始届出
	平成 18 年 2 月 1 日	デイサービスセンター 多摩の里けやき園	設置届出
	平成 23 年 7 月 29 日	特別養護老人ホーム 多摩の里むさしの園の入所定員増加：一部ユニット型（定員 168 名）	設置認可
	平成 25 年 10 月 1 日	居宅介護支援事業所 多摩の里むさしの園	事業廃止
	平成 26 年 2 月 28 日	ユニット型地域密着型介護老人福祉施設 多摩の里むさしの園：定員 18 名	介護保険指定
	平成 26 年 3 月 31 日	特別養護老人ホーム 多摩の里むさしの園の入所定員減数：定員 150 名	定員の変更認可
	平成 27 年 5 月 28 日	特別養護老人ホーム もみの樹園	設置認可
	平成 27 年 6 月 1 日	老人短期入所事業(ショートステイもみの樹園)	開始届出
	平成 27 年 7 月 1 日	事業所内託児所もみの樹園：定員 30 名	開設認可
	平成 28 年 3 月 25 日	もみの樹園訪問看護ステーション	介護保険指定
	平成 28 年 12 月 31 日	もみの樹園訪問看護ステーション	休止届出
	平成 29 年 2 月 15 日	ソシア訪問看護ステーション（名称変更）	再開届出
	平成 29 年 6 月 1 日	運動機能向上型デイサービスもみの樹園	開設届出
	平成 29 年 11 月 16 日	特別養護老人ホーム 多摩の里けやき園の入所定員増数：定員 111 名（短期入所定員減員）	定員の変更認可
	令和 元年 6 月 30 日	デイサービスセンター多摩の里けやき園	事業廃止
	令和 4 年 6 月 30 日	ソシア訪問看護ステーション	休止届出
	令和 5 年 1 月 31 日	ソシア訪問看護ステーション	事業廃止

2 法人本部所在地 〒205-0011 東京都羽村市五ノ神 362 番地

3 土地及び建物

- (1) 土地
- ① 東京都羽村市五ノ神字武蔵野 362 番地以下 5 筆
(実測面積) 13, 594.94 m² (登記 13, 584.69 m²)
 - ② 東久留米市弥生二丁目 227 番 1
(実測面積) 5, 632.56 m² (登記 5, 632 m²)
 - ③ 東京都新宿区上落合一丁目 276 番 1 外 2 筆
(実測面積) 2, 802.44 m² (定期借地権)

- (2) 建物 ① 東京都羽村市五ノ神 3 6 2 番 2 鉄筋コンクリート造 地下 1 階地上 3 階建
(延床面積) 8, 9 3 5. 18 m² (登記 8, 9 3 5. 18 m²)
- ② 東京都東久留米市弥生二丁目 1 番 18 号
鉄筋コンクリート造 地下 1 階地上 3 階建
(延床面積) 5, 9 9 8. 49 m² (登記 5, 9 9 8. 38 m²)
- ③ 東京都新宿区上落合一丁目 17 番 8 号
鉄筋コンクリート造 地下 1 階地上 6 階建
(延床面積) 8, 1 3 2. 93 m² (登記 8, 1 0 6. 78 m²)

4 理事会

回	開催日	議 事
1	令和 6 年 6 月 10 日	決議事項 第 1 号 令和 5 年度計算書類・財産目録の承認の件 第 2 号 令和 5 年度事業報告の承認の件 第 3 号 定款一部変更の件 第 4 号 給与・退職金規程一部変更の件 第 5 号 定時評議員会招集の件 第 6 号 常務理事選任の件 第 7 号 重要な役割を担う職員選任の件 報告事項 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告 実地検査結果報告の件
2	令和 6 年 10 月 29 日	決議事項 第 1 号 運営規程一部変更の件 第 2 号 役員等賠償責任保険契約更新の件 報告事項 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告
3	令和 6 年 12 月 4 日	第 1 号 給与・退職金規程の一部変更の件 第 2 号 評議員会招集の件
4	令和 6 年 12 月 25 日	報告事項 東京都実地検査報告
5	令和 7 年 3 月 25 日	決議事項 第 1 号 令和 6 年度補正予算（案）の件 第 2 号 令和 7 年度事業計画（案）の件 第 3 号 令和 7 年度収支予算（案）の件 第 4 号 就業規則一部改正の件 第 5 号 介護・育児休業規程一部改正の件 第 6 号 コンプライアンス規程制定の件 報告事項 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告

5 評議員会

回	開催日	議 事
1	令和6年6月25日	決議事項 第1号 令和5年度決算計算書類及び財産目録の承認の件 第2号 定款一部変更の件 報告事項 (1) 令和5年度事業報告について (2) その他
2	令和6年12月25日	報告事項 東京都実地検査結果報告

6 監事監査

実施日	令和6年6月1日
実施場所	多摩の里むさしの園会議室
出席監事	監事2名が出席
監査事項	業務監査（事業報告等の監査）及び会計監査（計算書類の監査）
監査結果	「監査の方法及び内容」並びに「監査意見」を掲載した「監査報告書」を作成し、理事長に提出
監査報告	令和6年6月10日開催の理事会並びに同年6月25日開催の定時評議員会において監事から監査報告が行われる。

7 経営本部の事業活動

- (1) 経営本部が主導するなかで、むさしの園、けやき園及びもみの樹園の人事管理並びに財務財務管理を集中管理し、適正な入居者サービスの提供と合わせて、迅速かつ的確な処理や支援に努めました。

(2) 第6次中期経営計画の2年次取り組み

第6次中期経営計画（令和5年度から同7年度の経営計画）の2年次遂行分については、本部の各主管部門が掌理するなか、遂行部門による意欲的な取り組みを展開しました。特に、「園盛会DXプロジェクト」では、法人内3園の各部署から委員を選出し、実施要項に示した具体的テーマや取り組み課題について、A、Bの2チーム編成により、熱の入った協議や積極的な作業を展開しました。

年間の活動成果としては、Aチームは介護日誌の簡素化・効率化（作業時間30分から1時間の入力時間が3分で終了）による生産性の向上につながったことや、Bチームは働き続けたいと思える職場環境作りとして2つの働き方改革の提案（特別休暇日数の増加と1時間単位の有給休暇の導入）を本部に挙げることができました。

両取り組みの具体的活動報告は、後述を参照ください。

(3) コンプライアンス及びハラスメント対策の環境整備

園盛会としての整備が遅れていたコンプライアンス規程と、ハラスメント対応に係る基本方針や対応マニュアル、相談・苦情の対応フロー（以下「ハラスメント基本方針」という）については、新たに整備したうえで、年度末にかけて全職員への研修等を通して周知を図りました。

近年、問題がクローズアップし、現場職員等が対応に苦慮するご入居者やその家族等からのカスタマーハラスメント対策については、重要事項説明書では既に明文化していましたが、職員から職員及び職員から入居者へのハラスメントに係る禁止行為や処罰等は就業規則には規定しているものの、ハラスメント対策としての体系的整備は今回の対応となります。コンプライアンス規程は令和7年1月1日から、ハラスメント基本方針は令和6年4月1日から適用しています。

7月には法人本部にコンプライアンス準備室を設置しました。今後は、該当事案発生時には規程等を踏まえ、組織的対応を行っていきます。

(4) 物価高騰による影響

エネルギーコストでは、特に電気料金の高騰による経営環境への影響が大きく、飲料や食料品の原材料費の大幅アップは、献立見直しやより安価な食材への変更など、ご入居者の食事に少なからぬ変化を及ぼしました。

園盛会が経営する特養3施設の電気料金は、令和3年の後半から令和4年にかけて大幅にアップし、令和5年度決算では令和3年度比で195%の支払い増となり、その額は約5千万円の負担増でした。

今年は政府の激変緩和措置（5月分まで）もあって通年で前年比約15%の負担軽減が見込まれますが、それでも約4千3百万円の負担増と、事業費支出を中心に深刻な影響を及ぼしています。

東京都や施設所在地の自治体の実施した物価高騰対策補助金を申請・受領はしていますが、不十分と言わざるをえず、特に食費については、基準費用額の日額1,445円を適用している多摩の里むさしの園はもとより、第4段階者の食費を日額1,650円とする多摩の里けやき園、日額1,750円とするもみの樹園の食費についても、次年度では見直しが必要と考えています。

(5) キルギス共和国駐日大使のもみの樹園視察と意見交換会

8月28日にはキルギス共和国（*）駐日全権大使のエルキンベック大使がもみの樹園を視察され、介護を要する高齢者の生活支援施設についての理解を深められました。ユニット環境と介護機器に高い関心を示されるとともに、キルギス人材の日本語教育や介護支援教育について、園盛会との意見交換を行いました。

10月5日から10日の間で法人スタッフ1名をキルギス共和国の現地視察に派遣しました。

* 中央アジアの内陸国で公用語はロシア語

(6) 人材確保対策とEPAの実績

今年度の新卒採用は4名で、依然として厳しい採用状況が続いています。

EPA制度によるベトナム人介護福祉士候補者5期生3名（もみの樹園）が今年度の

介護福祉士国家試験に合格しました。4月からはEPA制度を離れ、当法人との雇用契約により就労を継続します。

7期生のEPAベトナム人介護福祉士候補者6名（むさしの園3名、けやき園3名）が8月に入職し、介護福祉士国家試験の合格に向けた学習及び現場での就労に意欲的に取り組んでいます。

12月3日には、ベトナムのハノイ市で開催された現地説明会に4名（うち2名が介護課役職者と元EPA1期生）が参加しました。当該説明会を経たのち、令和7年度のEPA募集に4名を応募し（けやき園2名、もみの樹園2名）、2月のマッチングで3名（けやき園1名、もみの樹園2名）のマッチングが成立しました。

（7）4年ぶりの東京都実地検査

前回の実地検査（令和元年11月）から4年が経過した11月20日から28日にかけて東京都実地検査が実施されました。法人検査は今年3月に続いての実施でした。

20日が多摩の里けやき園、22日がもみの樹園、26日が多摩の里むさしの園、28日が園盛会（法人）の日程で行われ、運営管理、利用者サービス、会計経理について「適正な運営」「対象サービスの質の確保」「保険給付の適正化」等がなされているかを、書類確認及び関係者からのヒアリングにより行われました。

実地検査結果通知書が3月5日に届き、書面による改善状況報告を求められた項目は法人運営が3点、多摩の里むさしの園は指摘無し、多摩の里けやき園は2点、もみの樹園は2点あり、3月27日には証左資料を添付のうえ改善状況報告書を東京都に提出しました。

（8）多摩の里けやき園施設長の交替

本部の経営企画室にコンプライアンス準備室機能を追加し、多摩の里けやき園の現任施設長を室長として充てたことから、7月1日付で宮本義輝介護課長（むさしの園、もみの樹園兼務）が多摩の里けやき園施設長として就任しました。

8 理事（定員6名）・監事（定員2名）・評議員（定員7名）

理 事	
吉 村 秀 雄	栗 田 肇
松 本 良 哲	高 原 清 孝
相 馬 諄 胤（＊）	河 村 進（＊）
監 事	
堀 口 豊	鈴 木 一 雅（＊）

任期：令和5年6月29日開催の定時評議員会終結のときから 令和7年6月開催予定の定時評議員会の終結のときまで

＊は令和6年1月10日開催の評議員会終結のときから令和7年6月開催予定の定時評議員会終結のときまで

評 議 員	
貫 井 新 一 郎	渡 邊 清
中 嶋 文 雄	間 曾 哲 子
池 田 隆 志	柴 和 代 (*)
物 江 順 一 (*)	

任期：令和３年６月３０日開催の定時評議員会終結のときから 令和７年６月開催予定
の定時評議員会の終結のときまで

*は令和６年１月１０日開催の評議員会終結のときから令和７年６月開催予定
の定時評議員会終結のときまで

本部 採用担当 事業報告

1 本部採用担当事業計画目標の総括

令和6年度の新卒採用については、全産業新卒内定状況において、採用充足率は75.8%で、16年卒以降初めて8割を下回り過去最低となりました。前年度の当法人の企業説明会への参加学生数が年間通じて歩留まりが悪く、過去最低の1名となりました。今後も、企業説明会への参加学生がいなければ、選考を進めることすらできないことから、更に広報活動の強化と選考プロセスの見直しを視野に入れて園盛会の魅力を広げられるよう努めていきます。

しかし、園盛会の強みである説明会参加から選考希望へ繋げる手法は、前年度と変わらず100%を維持できています。その結果、少数ではありますが1名の採用ができました。次年度も学生数は更に減少していきませんが、介護課協働で説明会参加学生を、必ず採用へ繋げていきます。

中途採用については、面接後の内定承諾率が30%以下となっていました。第2四半期以降は80%以上となり、職員採用を進めることができました。合わせて、欠員予定情報を一早く各園施設長や所属長から共有いただけたことも採用を進められた要因となります。今後も新卒、中途ともに厳しい状況の中、少しでも内定承諾の確保に向け取り組んでいきます。

社外広報としては、柔軟な対応と積極的なSNS運用を行ってきました。具体的には、ターゲットの心を掴む構成や動画編集力を高めることに注力し、面接では確認できない職場の雰囲気や職員の様子などの投稿を行い、求職者へ向けた広報活動を実施してきました。

今年度もEPAベトナム介護福祉士候補生の採用活動を実施しました。全日制の高校や特別支援学校の学生インターンシップ受入れについても、積極的に実施しました。地方学校からの現場実習受入れが可能になるよう、新しい企画提案を行いました。若干ではありますが反響が見込める状況となっています。更には、園盛会DXプロジェクトBチームにおいて、職員定着促進のための会議を重ね、令和7年度より1つの制度改定と新規制度の導入の実現につなげることができました。

2 活動報告

- (1) 採用手法としてSNS、ハローワーク、求人媒体、紹介、学校訪問を行ってきましたが、結果として、目標に届かない数字となってしまいました。様々な要因があると考えられることから来年度は、採用活動の実績について、分析を行い改善していきます。
- (2) 広報活動の1つであるInstagram運用については、年度目標3,000フォロワから、4,000フォロワへの純増を目指しましたが、3,998フォロワに留まり目標達成には至りませんでした。しかし、各園各部署の撮影協力をいただいた結果、少しずつではありますが求職者からの反響もあり、今後更なる良いコンテンツ構成や動画編集を行い、広報活動に努めていきます。
- (3) 地方学校の学生へ東京での現場実習受入れの企画提案を行いました。内容について学校側の希望を介護課の協力のもと受入れ可能となっております。次年度は、積極的にPR活動を行い受入れの実現に向けて取り組んでいきます。
- (4) 採用対象者の拡大を実施しました。福祉大学へ入学前の留学生アルバイトの受入を介護課の協力のもと行いました。既に次年度の学内企業説明会への参加依頼をいただいています。

この機会を次の採用に繋げていきます。

- (5) 特定技能職員の巡回訪問や定期書類、在留期間更新など入管への書類関係の作成と対応を介護課、総務課との協働で実施しました。離職防止の観点からも、今後とも特定技能職員との関係性を深め、サポートしていきます。
- (6) 園盛会DXプロジェクトではBチームとして、新たな取り組みの制度化を目指し実現できよう、会議運営を進めてきました。次年度は、プロジェクト最終年度になります。今後とも多様な人材の受入れ、柔軟な勤務形態の提案、職場環境の改善に協力していきます。
- (7) E P Aベトナム介護福祉士候補生の採用活動を介護課の協力のもと実施し、多摩の里けやき園で1名、もみの樹園で2名の採用につなげることができました。
- (8) E P A介護福祉士候補生の学習における手続き、生活支援のサポートを介護課、総務課との協働で実施しました。
- (9) 全日制の高校と特別支援学校の学生インターンシップ受入れについては、介護課の協力をいただき各先生方との関係性構築を図ってきました。既に、次年度のインターンシップの依頼をいただいています。今後も介護課に協力を要請し、更なる関係性構築へ向け取り組んでいきます。

本部 営業担当 事業報告

1 本部営業担当事業計画目標の総括

- (1) 予算目標を達成するため、特別養護老人ホームの稼働率を 98%に維持することを目標とし、積極的な営業活動を展開しました。また、短期入所および通所介護サービスの安定した運営を確保するため、地域内での新規施設の開設や待機者数の変化に迅速に対応できるよう環境整備を進め生活課や地域事業課の相談員との情報共有と連携強化にも取り組みました。それぞれの地域における新規開設特別養護老人ホームや有料老人ホーム等、厳しい競争環境の中でも地域の居宅介護支援事業所との関係性をさらに深めることに加え、需要に応じた適切な対応や新たな戦略の提示が必要とされました。
- (2) 今年度、むさしの園では予算編成稼働率 98%を達成し、良好な結果を収めました。一方で、けやき園ともみの樹園では稼働率が 96%台にとどまり、目標達成には至りませんでした。退去者に対する入居待機者の確保や調整が追いつかない事例が複数回発生し、これが課題として浮き彫りになっています。また、短期入所に関しては、地域事情やニーズの変化、小規模事業所や専用施設の柔軟な対応力が影響し、利用者の確保が難しい状況が続いています。そのため、予算編成稼働率には大きく及ばない結果となりました。

2 活動報告

(1) むさしの園

近隣の病院や老人保健施設との連携を強化し、特養入居者の安定的な紹介を実現しています。また、デイサービスの稼働回復を目指し、羽村市、福生市、瑞穂町、青梅市の居宅介護支援事業所を中心に営業活動を展開しましたが、新規利用者の獲得にはなかなか繋がらずに課題が残りました。そのため、デイサービス相談員と協力し、地域の居宅介護支援事業所に加えて、市役所介護保険課や地域包括支援センターへの定期訪問を行い、良好な関係構築に努めました。これらの取り組みを通じて、長年に亘り培われてきた地域の事業所との連携を深め、効率的な営業活動を実施していきたいと考えています。

(2) けやき園

東久留米市を拠点に、小平市、西東京市、小金井市、清瀬市、国分寺市、練馬区、杉並区、板橋区、中野区、新宿区、そして埼玉県の新座市、和光市、所沢市にある「回復期リハビリ病棟」「地域包括ケア病棟」「医療療養病棟」を持つ病院へ積極的に営業活動を行いました。さらに、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）、小規模多機能型居宅介護、高齢者専用賃貸住宅などの事業所にも定期的に営業訪問を実施しており、これまでの取り組みの成果として、継続的に紹介をいただける事業所が増加傾向にあります。また、前年度から導入した入居者紹介サイトのデータ分析を活用し、問い合わせが多いエリアの傾向を把握することで、地域の居宅介護支援事業所への訪問営業をより効率良く行い、さらに高い成果を目指しています。

(3) もみの樹園

新宿区における特別養護老人ホームの入居対応については、名簿管理の仕組み上、直接的な営業活動が難しい状況があります。一方で、ショートステイの営業においては、新宿区や中野区、豊島区、渋谷区内の居宅介護支援事業所を定期的に訪問し、密接な連携を図るため

の取り組みを続けています。また、3園生活課での連携を意識して柔軟な入居支援を目指しています。デイサービスにおいても、事業運営や行政対応に関する様々な相談に応じる体制を整えるとともに、主任や相談員との協力関係を強化しています。

ベッド稼働率実績表（園盛会介護報酬運営事業）

むさしの園	特養150床 (%)	ユニット部 (%)	D S C (%)
令和4年度	97.2	96.4	60.5
令和5年度	98.2	97.0	54.8
令和6年度	98.9	94.6	49.4
けやき園	特養111床	短期入所3床	
令和4年度	93.6	63.7	
令和5年度	97.0	30.8	
令和6年度	96.3	12.3	
もみの樹園	特養130床	短期入所20床	D S C
令和4年度	95.6	63.5	83.7
令和5年度	98.2	57.7	84.8
令和6年度	96.4	51.0	81.6

園盛会 DX プロジェクト事業報告（Aチーム）

1 活動報告

記録業務の効率化を目的として、「ほのぼの NEXT」を徹底的にリスキリングして、省力化に向けた検討を進めました。3園の記録業務の効率化とペーパーレス化を推進しました。また、その運用結果を分析し、職員がより働きやすい環境づくりにも寄与していくことを目指していききました。より良いケア提供の為に「生産性向上」と「業務環境の最適化」を追求していききました。

園盛会 DX プロジェクト実施状況報告

総括	実施責任者	委員
初年度の取り組みを基に各部署から新メンバーを迎え、各種帳票電子化の達成により期待以上の成果を上げました。ペーパーレス化への対応も前進が見られた一方、3園それぞれのDX化の進行度合いや標準化に格差が出来てしまう課題が残ります。	運営責任者 江井 希樹 リーダー 山口 佑樹	佐渡谷（むさしの園） 松崎、木原、小森、高野（けやき園） 阿部、芝崎、伊佐早、佐々木（もみの樹園） ※事務局 村野 沙智子 ※オブザーバー 宮本 義輝
開催日	議 題 内 容	
4月10日 (Zoom 開催)	・「ほのぼの TALK インカム」試験運用報告 ・Care TEX 東京について ・月次総括・帳票・B チームの情報共有	
5月17日	・プロジェクト2年目の具体的な動き・ほのぼの NEXT の機能見直し・有効活用 ・当プロジェクトの向かうべき方向性（AB チーム合同開催）	
6月12日 (Zoom 開催)	・法人全体共通取り組みについて ・各園での取り組みについての報告と展望 ・むさしの園での DX 推進チーム（サポートチーム）の提案	
7月12日	・プロジェクトメンバー増員 ・各園での取り組みについての報告と展望	
8月16日	・プロジェクトメンバー増員の経過報告・各園での取り組みについての報告と展望 ・開催日程についての確認	
9月6日	・各園での取り組みについての報告と展望 ・本部中間報告会の実施について	
10月8日	・中間報告会の内容共有 ・各園での取り組みについての報告と展望 ・3園共通の取り組みについて	
11月8日	・3園共通の取り組みについて（宛先を指定した事務連絡、種別の整理及び追加、ケアプランの移行） ・ND ソフトウェアによる説明会の実施	
12月6日	・業者によるほのぼの NEXT 説明会開催	
1月10日	・申し送り・指示機能の具体的な運用方法について ・説明会後の各園進捗状況の共有 ・新規メンバーのケアテックス東京参加について	
2月7日	・3園共通の取り組みについて進捗状況の共有 ・介護日誌（帳票）の項目編集	
3月7日	・3園共通の取り組みについての進捗状況の共有 ・介護日誌（帳票）の項目編集 ・各園における DX 取り組み・課題の報告	

園盛会 DX プロジェクト事業報告（Bチーム）

1 活動報告

今年度の活動では「職員が働きたいと思える職場環境」をもとに、バカンス休暇のモニタリング結果より、リフレッシュ休暇日数の改定と有給休暇の分割（時間休）の新規制度の導入へ検討を進めてきました。2月には、法人本部へプロジェクトBチームの最終答申を行い、2025年4月より制度化に至りました。今後は、法人内ダブルワーク制度の確立を始め、新たな取り組みを推進していきます。

園盛会 DX プロジェクト実施状況報告

総括	実施責任者	委員
今年度は、休暇関連についての新たな制度化を目指してきました。会議運営の中でも、各メンバーより前向きで多様な意見も多く、今回の結果に結びついたと実感しています。	運営責任者 角田 武久 リーダー 西 美由紀	野口、桂川（むさしの園） 椎名（けやき園） 小室、阿部、佐々木、大野 （もみの樹園） ※オブザーバー 宮本 義輝
開催日	議 題 内 容	
4月8日	・Care TEX24 資料参照の上、感想意見を書面にて提出 ・次回の取り組みについて検討	
5月17日 (合同)	※プロジェクトAチーム・Bチームそれぞれにて活動 ・他法人の取り組み事例動画視聴 ・A・Bチーム合同にて打ち合わせ	
6月10日	・大学生就活意識調査について説明 ・次回の取り組み案精査 ・バカンス休暇について	
7月16日	・職員アンケートについて検討 ・他法人の福利厚生について ・バカンス休暇について	
8月20日	・有給休暇分割案について ・羽村園、神明園の福利厚生について ・職員アンケートについて ・栗田副本部長からの参考資料の説明	
9月20日	・職員アンケート集計結果の説明 ・有給休暇分割案について	
10月18日	・バカンス休暇について ・有給休暇分割について ・福利厚生について	
12月13日	・有給休暇分割について（1時間単位の有給休暇） ・会員制ホテルの周知方法及び利用手順について	
1月10日	・会員制ホテルの周知方法、結果報告 ・次年度の取り組み案について	
2月21日	・最終答申実施 (リフレッシュ休暇・時間休)	
3月21日	・次年度の取り組み案について検討と選定 ・今後の取り組みの結果の各園への周知手順について	

個別ケア推進委員会事業報告

1 活動報告

第6次中期経営計画に示された「ご入居者をはじめとする園盛会に関わる全ての方の幸福の追求」のため、本委員会では個別ケア推進に向けた検討をそれぞれの部署の多角的な視点を活かしながら、活動を進めました。

今年度は、今までご入居者から聞き取った希望・要望等を共有し、レクリエーション等、実現可能なものを実施し、ご入居者に還元しました。

また、ケアプランを現状よりもより個別性に重視した内容にできるかについての協議も行いました。

次年度は、より多くのご入居者の夢や希望を実現し、且つ、職員のやりがいにつながる仕組みづくりを構築することによって、園盛会の各施設のご入居者のご家族、そこに関わる職員が共に心豊かに生きがい・やりがいにつながるよう取り組んでいきます。

個別ケア推進委員会実施状況報告

総括	実施責任者	委員
・隔月で全体会議と介護課単独会議を開催して、協議を行っていましたが、取り組み内容が介護課中心となるため、12月以降は介護課を中心に協議する形に変更しました。（必要時参集する形式に変更しました） ・ケアプラン内容の充実や職員が個別ケアを実現しやすい環境づくりに向けて、協議を重ねました。	運営責任者 宮本義輝 リーダー 金子 智	むさしの園 西・栗原・河村・早坂 けやき園 梅津・森本・高野 もみの樹園 阿部・小室・山本
開催日	議 題 内 容	
4月26日	夢や希望の実現について・食事の提供について 他	
5月24日（全体会）	夢や希望の実現について・委員会日集約後の各園の状況について	
8月23日（全体会）	夢や希望の実現について・委員会日集約後の各園の状況について	
12月27日（全体会）	今後の委員会活動について	
1月24日	個別性を盛り込んだケアプランの作成について 他	
2月28日	取り組みが行いやすくなる環境の構築について 他	
3月28日	次年度以降の取り組みについて	

※2月は書面開催としました。

※6月、7月、9月、10月、11月は都合により中止としました。（感染症対応他）

事故防止検討委員会開催状況表

回	開催日	場 所	人 数	議 題
1	令和6年 4月10日	むさしの園	13名	◎「事故・ヒヤリハット報告及び集計分析表」 3月発生分について ・指針の改正について
		けやき園	10名	・令和6年度事故防止検討委員会について ・酸素ボンベの取り扱いについて
		もみの樹園	8名	・各園の発生事故の情報共有について ・介護事故の定義について
2	5月8日	むさしの園	8名	◎「事故・ヒヤリハット報告及び集計分析表」 4月発生分について ・事故の発生報告の方法について
		けやき園	9名	・各階の対応に苦慮している事案についての意見交換
		もみの樹園	9名	・私物の破損事故について
3	6月12日	むさしの園	6名	◎「事故・ヒヤリハット報告及び集計分析表」 5月発生分について ・ヒヤリハット報告書について
		けやき園	9名	・眠りスキャン活用の現状報告 ・事故防止研修（前期）について
		もみの樹園	9名	・薬関係の事故について ・事故防止研修（前期）について
4	7月10日	けやき園	—	◎「事故・ヒヤリハット報告及び集計分析表」 6月発生分について ・6月会議後、フロアでの取り組みと結果報告 ※都合により書面開催
		もみの樹園	8名	・行政に提出する事故報告書の書式変更及び提出期限について
5	8月14日	むさしの園	8名	◎「事故・ヒヤリハット報告及び集計分析表」 7月発生分と6月発生分について ・ヒヤリハット報告の運用変更について
		けやき園	7名	・服薬マニュアルについて ・転倒が多いご入居者の対応について
		もみの樹園	10名	・多職種連携について
6	9月11日	むさしの園	8名	◎「事故・ヒヤリハット報告及び集計分析表」 8月発生分について ・ヒヤリハット報告について

		けやき園	8 名	・福祉用具について ・床走行式リフトについて
		もみの樹園	11 名	・離設事故について
7	10月9日	むさしの園	10 名	◎「事故・ヒヤリハット報告及び集計分析表」 9月発生分について ・虐待事案について
		けやき園	7 名	・各フロアの対応に苦慮している事案について の意見交換
		もみの樹園	11 名	・事故防止研修（後期）について
8	11月8日	けやき園	9 名	◎「事故・ヒヤリハット報告及び集計分析表」 10月発生分について ・各フロアの対応に苦慮している事案について の意見交換
		もみの樹園	11 名	・離設事故対応マニュアル（夜間）について ・屯用薬の管理について
9	12月11日	むさしの園	10 名	◎「事故・ヒヤリハット報告及び集計分析表」 11月発生分について ・夜間帯の離接事故について
		けやき園	7 名	・事故防止研修（後期）について
		もみの樹園	12 名	・事故防止研修（後期）について ・新規入居に伴う事故の増加について
10	令和7年 1月8日	むさしの園	9 名	◎「事故・ヒヤリハット報告及び集計分析表」 12月発生分について ・ヒヤリハット報告の活用について
		けやき園	6 名	・服薬事故について
		もみの樹園	9 名	・薬関係の事故について
11	2月12日	むさしの園	11 名	◎「事故・ヒヤリハット報告及び集計分析表」 1月発生分について ・令和6年度事故分析の共有について
		けやき園	6 名	・骨折事故について
		もみの樹園	11 名	・同名のご入居者の誤薬防止対策について
12	3月12日	けやき園	6 名	◎「事故・ヒヤリハット報告及び集計分析表」 2月発生分について ・各フロアの対応に苦慮している事案について の意見交換
		もみの樹園	12 名	・ほのぼのNEXTの『事故』の項目と種別 ・『ヒヤリハット』の使い分けについて

※ 議題の「◎」は定例議題（三園共通議題 但し、当月重複記載はなし）

※7月、11月、3月は三園の安全対策担当者による各園で発生している事故事案の共有を行いました。

※むさしの園は、上記、安全対策担当者による事案共有実施月は、委員会を未開催としています。

Ⅱ 特別養護老人ホーム 多摩の里むさしの園

施設の概要

1 定 員	介護老人福祉施設 多摩の里むさしの園 (従来型)	150 名
	地域密着型介護老人福祉施設 多摩の里むさしの園 (ユニット型)	18 名
	老人短期入所事業 (ショートステイ 多摩の里むさしの園)	3 名

2 事業開始	従来型	平成 10 年 4 月 1 日
	一部ユニット型	平成 23 年 8 月 1 日 (平成 26 年 3 月 31 日で類型廃止)
	ユニット型地域密着型	平成 26 年 4 月 1 日

3 所在地	〒205-0011 東京都羽村市五ノ神 362 番地
	T E L 042-555-8151 F A X 042-555-8152

4 職員体制

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

部署	職 名		常勤	非常勤	合計	備考
管理者	施設長		1		1	本部兼務
総務課	事務長		1		1	本部兼務
	事務員（本部事務局含む）		4		4	
	宿直員			3	3	
	営繕・運転等			1	1	
介護課	介護職員	従来型	49	16	65	1名は介護支援専門員兼務
		ユニット型	8	2	10	2名は介護支援専門員兼務
医務課	嘱託医師（外科・精神科）			2	2	委託契約
	看護職員		6	1	7	1名はデイサービス兼務 1名は機能訓練指導員兼務
	リハ	機能訓練指導員	1	1	2	
	ビリ	その他	2	1	3	
生活課	生活相談員		3		3	1名は介護支援専門員兼務
栄養課	管理栄養士		2		2	
	調理職員		7	1	8	
経営企画室	教育・企画担当		1		1	
介護支援専門員			1（兼務4）		1	4名は介護支援専門員兼務
合 計			86	28	114	

他 産業医 (1 名) 委託契約

総務課 事業報告

1 総務課事業計画目標の総括

各担当の立場から、他部署並びに他園にも適切な助言を行い、働きやすい職場環境の構築に努めると共に、各自が担当業務における適切な事務処理を行いました。

2 活動報告

(1) 他部署と協力し、良質なサービスの提供に資する取り組みを行う。

各自が積極的に行事に参加することにより、ご入居者と関わりを持ちました。また、担当業務を通じて、他部署並びに他園へ適切な助言を行い、良質なサービスの提供に努めました。

(2) 自身の業務の効率化のための見直しと、自部署内・事務所内の他者の仕事に進んで協力し全体の効率化に資する取り組みを行う。

自部署内の人事異動を補完するため、他者の仕事を積極的に協力し合い業務を遂行しました。しかし、現行の業務に追われ、業務の効率化・自動化及びi p a dの活用の検討はできませんでした。

(3) 働きやすい職場環境を構築する。

P C業務が苦手な職員へのサポートや個々の事案に対する助言を行うことを通じ、働きやすい職場環境の構築に寄与してきましたが、ペーパーレス化の推進までは至りませんでした。

また、毎朝、自主的に事務所、玄関、受付カウンター等の清掃及び整理整頓に取り組むと共に、年間200件の点検・修理依頼を迅速に対応し、快適な職場及び居住環境の提供に努めました。年間を通じて実施すべき設備等の保守点検については、年間スケジュールに則り適正に実施しました。

主な保守点検については、後ページの「主な点検・検査実施状況」を参照。

(4) 施設の窓口業務を通じ、稼働率維持に貢献する。

職員個々が担当業務に責任とコスト意識を持ちながら業務に取り組みました。その結果、各種法令を遵守し健全な処理と透明性を図るため、川原会計事務所並びに社会保険労務士法人チアレッジの指導を仰ぎながら、毎月の適正な事務処理を行うことができました。介護保険請求並びに預り金管理における、誤請求・未回収は発生しておらず、ご家族との対応においても支障なく行うことができましたが、発行物を利用した認知度向上を積極的に推進することはできませんでした。

《安全衛生関係》

(1) 労働安全衛生法に基づき、職員の安全衛生に資する取り組みについては、労働環境の特質として利用者居住環境にも配慮して、労働災害防止と環境衛生設備の適正な管理に努めました。また、産業医による月一度の施設内巡視を通じ、職場環境の向上が図られました。

安全衛生委員会の開催及び健康診断については、次表の「安全衛生委員会開催状況」、「職員健康診断実施状況」を参照。環境衛生については、後ページ「主な消毒・清掃実施状況」及び「主な点検・検査実施状況」を参照。

安全衛生委員会開催状況

No	開催日	議題
1	令和6年4月17日	①令和6年度スタートにあたり確認事項 ②安全衛生委員会について ③今年度の計画 ④3月実施の健康診断結果について ⑤産業医による巡視結果について
2	令和6年5月15日	①害虫駆除実施について ②産業医による巡視結果と面談について ③令和5年度の労災事例について ④来月実施の館内巡回の手順の確認について
3	令和6年6月19日	①全館館内巡回について
4	令和6年7月17日	①害虫駆除について ②アライグマについて ③産業医『食中毒について』及び『夏の健康』について ④産業医による巡視について
5	令和6年8月21日	①特定業務従事者健康診断実施について ②新型コロナウイルス感染症について ③産業医より『メンタルヘルスケア』について ④産業医による巡視について
6	令和6年9月19日	①秋の交通安全週間について ②貯水槽清掃及び水質検査実施について ③レジオネラ菌検査について ④貯湯槽清掃について ⑤産業医より『季節の変わり目の体調不良に注意』、『コロナとインフルエンザ』及び『コロナ感染者数 第36週』について ⑥産業医による巡視結果について
7	令和6年10月16日	①インフルエンザ予防接種について ②ストレスチェックについて ③浴槽循環濾過装置及び循環配管洗浄作業について ④産業医より『秋の健康管理』及び『コロナとインフルエンザ』について
8	令和6年11月20日	①水質検査について大型加湿器レンタルについて ②ストレスチェックについて ③加湿器レンタルについて接触確認アプリについて ④浴槽循環濾過装置及び循環配管洗浄作業について
9	令和6年12月19日	①害獣駆除について ②産業医より『コロナとインフルエンザ感染情報 49週』及び『腸内細菌と免疫』について

No	開催日	議題
10	令和7年1月16日	② 感染症対策の徹底について ③ 産業医より『コロナとインフルエンザ感染情報第1週』について
11	令和7年2月20日	① 職員健康診断実施について ② インフルエンザ感染について ③ 産業医より『コロナとインフルエンザ感染情報第6週』及び『花粉症の話 2025』について
12	令和7年3月20日	① 女性の健康週間について ② 36 協定について ③ 産業医より『コロナとインフルエンザ感染情報第9週』及び『生活週間病とその予防』について

職員健康診断実施状況

実施日	対象者	受診者数
令和6年9月25日	介護従事職員、夜勤従事職員	94 名
令和7年3月21日	全職員	116 名

主な消毒・清掃実施状況

No	実施日	業者名	内容	備考
1	年4回	サンキ(株)	グリストラップ清掃	5/28, 8/20, 11/12, 2/18
2	年4回	ミドリ安全(株)	分煙器清掃	6/19, 9/3, 12/10, 3/12
3	年2回	サンキ(株)	排水管高圧洗浄	5/28, 11/12
4	令和5年8月20日	サンキ(株)	汚水槽・雑排水槽清掃	
5	令和6年9月10日	(有)青梅ヒーティング工業所	貯水槽清掃	
6	年4回	(株)トーヨー	害虫駆除	5/24, 6/28, 9/6, 11/15
7	令和6年10月27日	(株)三由エンジニアリング	浴室濾過装置清掃 循環配管洗浄	
8	令和6年10月5日	(有)ザ・クリーン	貯湯槽清掃	

主な点検・検査実施状況

No	実施日	業者名	内容	備考
1	毎月1回	(株)らいふ	細菌検査 (調理従事職員)	
2	令和6年9月12日	(株)富岡環境	水質検査	
3	令和6年12月24日	(財)東京顕微鏡院	簡易専用水道検査	貯水槽検査確認

No	実施日	業者名	内容	備考
4	年 2 回	(株)らいふ	レジオネラ属菌検査	濁度・大腸菌群 有機物等検査含む 9/11, 3/12

《新型コロナウイルス感染症対策関係》

令和 6 年 4 月からは平時医療提供体制に完全移行したことや、東京都独自の新型コロナウイルス感染症対策もすべて終了しましたが、新型コロナウイルス感染症が 5 類扱いとなっても、新型コロナウイルス感染症が無くなったわけではなく、重症化リスクの高い入居者の生活を支える施設として感染予防対策を緩和することなく、職員やご家族に対して感染防止意識と行動の継続を働き続けてきました。

そのうえで、園の対応として特記すべき事項は次のとおりです。

(1) 全職員対象の抗原定性検査を 6 月で終了

東京都が全額を助成していた PCR 検査や抗原定性検査キットの配付による感染防止対策も 3 月末で打ち切れ、4 月からは園独自で職員一人当たり週に 1 回の抗原定性検査を実施してきましたが、6 月を以って終了しました。

(2) コロナ手当支給の廃止（法人決定事項）

新型コロナ感染入居者の施設内療養等に係る対応を行う介護職員に対しては、1 勤務当たり 4 千円の手当支給を行っていますが、6 月を以って廃止しました。

(3) コロナワクチン接種の実施

季節性インフルエンザと同様に年 1 回の接種となり、接種希望のご入居者、職員は 11 月に嘱託医により園内で接種を受けました。職員接種に関しては、高齢者施設や医療機関ともに、東京都による接種支援がなされず、接種単価が 1.5 万円超であることから、法人負担が 1.2 万円としたことや、ワクチン接種効果への疑念や期待感の薄れ等もあって、職員接種は低調でした。

《新型コロナウイルスの園内発生状況》

(1) 今年度では、2 月まではご入居者の感染はなく、この間での職員の感染者は 10 名でした。

（介護職員 7 名、医務課職員 1 名、リハビリ職員 1 名、事務職員 1 名）

(2) 3 月 2 日に 2B ブロックで新型コロナウイルス感染入居者の発生があり、3 月 8 日には 3C ブロックでも感染入居者が判明したことから、2 階、3 階で同時期での感染拡大防止対応に当たりました。

2B ブロックは 3 月 20 日に終息し、この間でご入居者 11 名、職員 1 名が感染しました。

最終感染者から 10 日間が経過していましたが、3 月 24 日に新たに 1 名のご入居者のコロナ感染が判明し、3 月 31 日を以って終息しました。

3C ブロックは 3 月 26 日以降での感染入居者はいませんが、3 月末での解除はできず、4 月 2 日を以って終息しました。この間でご入居者 14 名、職員 1 名が感染しました。

《防災業務関係》

(1) 災害時相互応援協定に基づく取組み

「羽村市内特養 3 施設における災害時相互応援に関する協定」に基づき、7 月 18 日にむさしの園において、3 園合同での防災訓練「KIZUKI」（震災シミュレーションゲーム・夜勤バージョン）を実施しました。

3 園の防火管理者による隔月での定期打ち合わせを対面で開催し、防災情報の共有をはじめ、各施設の防災体制や災害時の備蓄品等に関する現状把握と課題等について協議を行い、災害に備える体制の強化を図りました。

震災シミュレーションゲーム KIZUKI 夜勤バージョンについて、より効果のある訓練になるよう、3 園の防火管理者で協議を行い、内容の見直しや修正を適宜実施しました。

また、NPO 法人高齢者住まいの研究会と協働し、就業年数や部署等に関係なく参加できる「災害想定ゲーム KIZUKI 震災編高齢者介護施設夜勤汎用バージョン」の開発を行いました。

（2）日常防災管理の適切な実施

全ご入居者と就労中の職員の日常の安全を担保するうえでも、防災・防火管理が適切に行われていることが重要です。そのための消防計画に定めた予防区域ごとの日常点検の実施や、防火管理者による建物及び防火設備の定期的な点検を確実に実施し、不備や不具合の早期発見と処置を行いました。また、火災予防週間に合わせたポスターの館内掲示や、運営調整会議や全体朝礼等で防災意識の啓発に努めました。

（3）防災訓練及びBCP訓練の実施

今年度の防災訓練は、実地訓練の重要性を踏まえた夜間想定及び激震災害想定 of 総合訓練を行ったほか、ゲリラ豪雨等を想定した水害対策訓練も実施しました。

BCP 訓練としても、震災シミュレーションゲーム KIZUKI 夜勤バージョンや震災後の避難所の運営を疑似体験できる避難運営ゲーム HUG 社会福祉施設バージョンも実施しました。

＊別紙「防災訓練及びBCP訓練の実施状況」を参照

（4）消防用設備の適正な保守管理

消防用設備の保守管理は、消防設備士を有する設備業者により、4 月 2 日と 10 月 1 日に点検を行い、消防法の規定に基づき、福生消防署に「消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書」を提出しました。

また、当該点検で不具合が認められた設備等については、速やかな交換修理を行い、正常監視、正常作動を確保しています。

（5）消防署による自衛消防訓練効果確認がなされた総合訓練の実施

今年度も新型コロナ感染拡大の影響を鑑みて、全体で集まる自衛消防訓練審査会は中止が決定しました。その代替訓練企画として、個別の各事業所での自衛消防訓練の効果確認を行う取組み参加の打診が福生消防署よりあり、ご入居者も訓練参加した激震災害想定 of 総合訓練を 9 月 12 日に実施しました。

7 名の福生消防署員により訓練効果確認が行われ、その確認を踏まえた訓練講評は、改善すべき行動や課題等にも言及があり、次回以降に活かしていきます。

（6）隣地火災発見から連携による消火活動の展開

2 月 8 日（土）の昼食時に隣地（錦紅興業：鉄筋加工所）のプレハブ火災が発生。プレハブ建物周辺の枯草も燃え、強風による煙臭気を察知したりハビリ職員が火災を発見。

出勤職員の連携により、消防署通報から消火器等による初期消火活動を展開しました。消火器 23 本を実射し、25 名の職員が初動対応を連携して取り組みました。福生消防署本体の到着、引継ぎまでの約 20 分間を延焼防止活動に注力しました。

むさしの園のご入居者に異常はなく、園建物への影響ありませんでした。

2月25日には、当該活動に対する福生消防署長の顕彰があり、当園にて「感謝状」の贈呈がありました。

防災訓練及びBCP訓練の実施状況

実施日	訓練種別	訓練内容	参加人数
5月9日	図上訓練 (BCP訓練)	避難所運営ゲーム「HUG（社会福祉施設バージョン）」を用いた避難所運営シミュレーションを実施	職員8名
5月21日	総合訓練 (夜間想定)	夜間体制時での火災を想定した総合訓練を実施。訓練担当者は夜勤従事者7名、宿直者1名 各訓練担当者に新入職員も帯同	入居者24名 職員9名
7月18日	合同訓練 (BCP訓練)	市内3特養の災害時相互応援協定に基づく合同訓練として実施 震災想定ゲーム「KIZUKI（夜勤バージョン）」を用いた発生時シミュレーションを実施	当園職員6名 神明園 6名 羽村園 6名
9月12日	総合訓練 (激震災害想定)	激震想定での総合訓練。地震発生時の初動措置、災害救助活動、火災発生も想定した訓練を実施。福生消防署のご指導の下、実施。	入居者130名 職員50名
11月20日	水害訓練	ゲリラ豪雨での浸水被害を想定し、土嚢袋の作成および設置方法を実施。	職員50名
11月20日 ～ 11月25日	安否確認 通信訓練 (BCP訓練)	多摩西部で震度6強の地震が発生し、建物やライフライン等に甚大な被害が発生している災害を想定。当園施設長より「HitomeQコネクト」にて当園職員に向け、当園の被害状況および安否確認のメッセージを発信し、返信状況を確認。	職員110名
2月21日	図上訓練 (BCP訓練)	災害想定ゲーム「KIZUKI 震災編高齢者介護施設夜勤汎用バージョン」を用いた発生時シミュレーションを実施。	職員6名
備考	・3密の回避等、感染予防のため、福生市自衛消防訓練審査会は中止		

《福祉サービス第三者評価の受審と公表》

評価機関は経営創研（株）を選択し、契約締結のうえで次のとおり福祉サービス第三者評価

の過程を踏まえ、令和7年4月に「とうきょう福祉ナビゲーション」に公表されます。

なお、利用者調査では、実効性を確保するため、感染対策の万全を図ったうえで、聴き取り時間を30分以内として、対面での調査を行いました。

評価過程	実施日	対象人数
契約日	令和6年7月29日	—
利用者調査（面接聴き取り）	令和6年12月6日	14人
利用者調査結果報告日	令和7年1月25日	—
職員自己評価結果報告日	令和7年1月25日	74人
訪問調査日	令和7年1月31日	—
評価合議日	令和7年2月22日	—

《平時としての居住棟面会と外出扱いの解禁》

（１）面会時間帯以外の制限解除

前年度の3月9日からは、面会時間帯を午前10時から午後5時までとする以外は、1回当たりの面会時間や面会人数の制限を撤廃して1年間の面会対応を行いました。

面会者にはマスク着用は求めましたが、持ち込みの飲食機会も提供したほか、居室内面会も自由に行っていただき、ご入居者とご家族がタイムリーに交流できたことで、ご入居者のQOLにも好影響がありました。

面会者により新型コロナ等の感染症が持ち込まれた事案は一つもなく、感染防止環境として、季節を問わず日中の換気（2方向換気に配慮）を実施した点も功を奏したと受け止めています。

（２）外出扱いの解禁と外泊扱いの保留

4月からは、【外出に係る留意事項】を記載したシートを渡して、外出届の受け付けを開始しました。年間を通して、外出されたご入居者及びご家族により新型コロナ等の感染症が発生した事案はありませんでした。

外泊扱いの解禁についても四半期ごとで実施リスクを検討してきましたが、夜間を含む家族との接触頻度や、マスク着用無しでの食事場面での新型コロナ等の感染リスクが払拭できないことから、再開を認めるには至りませんでした。

次年度では、早期の再開を検討して行きます。

《虐待事案の発生と再発防止取り組み》

〈施設長が虐待認定し、保険者に通報した事案〉

9月5日の夜間において、男性介護職員（38歳・勤続16年）がご入居者（83歳・女性認知症重度）に対して暴行し、手指骨折を含む複数個所の出血、皮下出血を負わせた事案が発生。不自然な受傷であることから複数回の調査を行い、本人より「イライラが募り、カッとなって暴行に及んだ」と認めたことから、身体的、心理的虐待を認定しました。

当該職員は9月13日付で懲戒解雇しました。

ご本人及びご家族への対面による謝罪を行うとともに羽村市、杉並区の各保険者、東京都へも報告を行いました。

当該虐待事案に関する情報の共有及び再発防止策の徹底した行動につなげることが喫緊である認識に立ち、施設長による緊急ミーティングを5回開催（9/11・9/13・9/16・9/17・9/19）し、全職員に周知しました。

園からの連絡を受け、羽村市担当者が来園して被害者の状況確認とヒアリングが行われましたが、上記報告を踏まえた書面による改善計画並びに改善状況報告の提出要請はありませんでした。受傷部治療の通院の終了及び事案発生以降のご本人の体調等の経過も良好に推移したことを踏まえ、11月15日にご家族並びに関係行政機関に報告を行いました。

1月には「虐待の芽」チェックリスト活用の研修を実施し、各種会議や虐待防止検討委員会、身体拘束等適正化委員会において再発防止意識と行動の重要性の啓発を行いました。

今後も、再発の防止のための継続した取り組みを実施していきます。

《市内3特養の連携強化取り組み》

1 羽村市特養施設長会の開催

羽村園、神明園及び当園の3園の施設長により年間4回（5月27日、8月26日、11月18日、2月20日）施設長会を開催しました。

羽村市の高齢福祉介護課長や介護保険係長にも出席いただき、タイムリーな行政情報等の提示と意見交換を実施したほか、防災体制の連携強化と課題協議、3園の人事交流や合同研修会、業界動向の情報交換等の意見交換や協働活動を展開しました。

2 相互交流研修の実施

今年度は介護職員を対象として相互交流研修を実施しました。

6月6日神明園、6月11日当園、6月27日羽村園を会場とし、当園からは介護係長、介護課主任、介護職員2名の計4名が参加し、相互交流による理解を深めました。

《運営推進会議の開催と公表》

1階ユニット部（定員18名、2ユニット）は、「地域密着型介護老人福祉施設」として運営しています。前年度は新型コロナウイルス感染者の発生等により3回の開催で終わっていましたが、今年度は2か月ごとの奇数月で運営推進会議を開催し、地域や行政との連携、交流、情報交換と共有等を図り、地域に開かれた施設づくりに努めました。

委員構成は、ユニット入居者のご家族、羽村市介護保険課係長、地元の緑ヶ丘三丁目担当の民生委員、羽村市内地域密着型サービス・グループホーム「ときわ木の里」施設長及び当園の施設長、介護係長、ユニット担当の介護課主任並びに生活相談員、デイサービス相談員が出席しました。

会議の開催状況は次の「運営推進会議開催状況」のとおりです。毎回の会議の内容等は「運営推進会議開催状況報告書」により当法人のホームページに掲載・開示しました。

運営推進会議開催状況

開催日	議 題 内 容
5月14日	○年間協議テーマについて ○定期報告事項について ○検討議題について 〈地域貢献〉

	○会議開催日程について
7月9日	○定期報告事項について ○検討議題について 〈認知症サポーターキャラバン〉〈認知症カフェ〉 ○会議開催日程について
9月25日	○定期報告事項について ○検討議題について 〈認知症カフェ〉 ○会議開催日程について
11月12日	○定期報告事項について ○検討議題について 〈感染症〉 ○会議開催日程について
1月14日	○定期報告事項について ○検討議題について 〈11/18 開催の認知症カフェ活動報告〉 ○会議開催日程について
3月11日	○定期報告事項について ○検討議題について 〈3/10 開催の認知症カフェ活動報告〉 ○会議開催日程について

《地域での公益的取組み、地域貢献活動》

グループホームときわ木の里のご利用者と協働し、羽村市福祉センターの喫茶スペースを利用したオレンジカフェ“ひだまり”を5年ぶりに開催しました。11月18日と3月10日で実施しましたが、悪天候や寒さの影響もあり、参加者は少数でした。

3月10日開催時に実施したアンケートには、地域包括支援センター職員や民生委員、市の職員等から継続を望みながら改善につながる提言もあり、実施環境や周知方法等も含めて次年度からの実施に活かしていきたいと思います。

新型コロナ禍で中止していたマミー商店街（羽村市富士見平）での駄菓子屋トム（当園ご入居者とときわ木の里ご利用者が売り子役となり、職員がサポートに徹して地域の子供に駄菓子を廉価で販売し、身近で交流を持つことで有用感を実感してもらう取り組み）の再開に向けては、実施環境等の再調整が必要なため、次年度での協議となります。

《ボランティア、実習生、施設見学者等の受け入れ》

先に挙げた居住棟面会が平時対応としていることから、ボランティアや実習生の受入れ、施設見学での居住棟への案内は、マスク着用と換気の実施のもとで、時間や場所に制限なく受け入れを行いました。

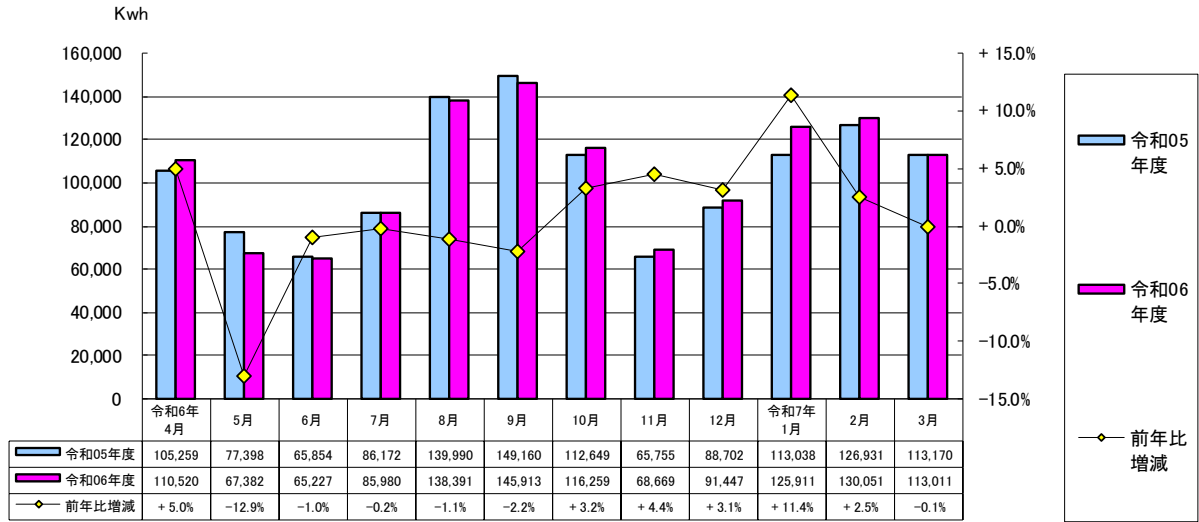
その結果、ボランティア受入れ実績は前年度を上回り、新型コロナ禍以前（令和元年度）の実績に近いものとなりました。

ボランティアや実習生等による新型コロナ感染症の園内持ち込みはありませんでした。

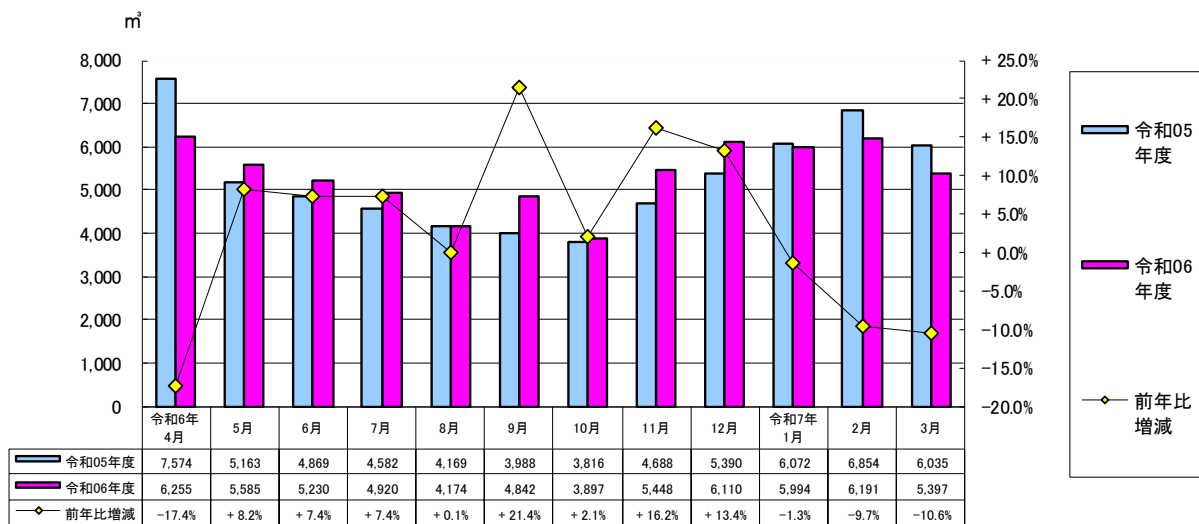
受入れ実績については、後述の教育・企画担当事業報告を参照のこと。

令和6年度 むさしの園 光熱水使用量

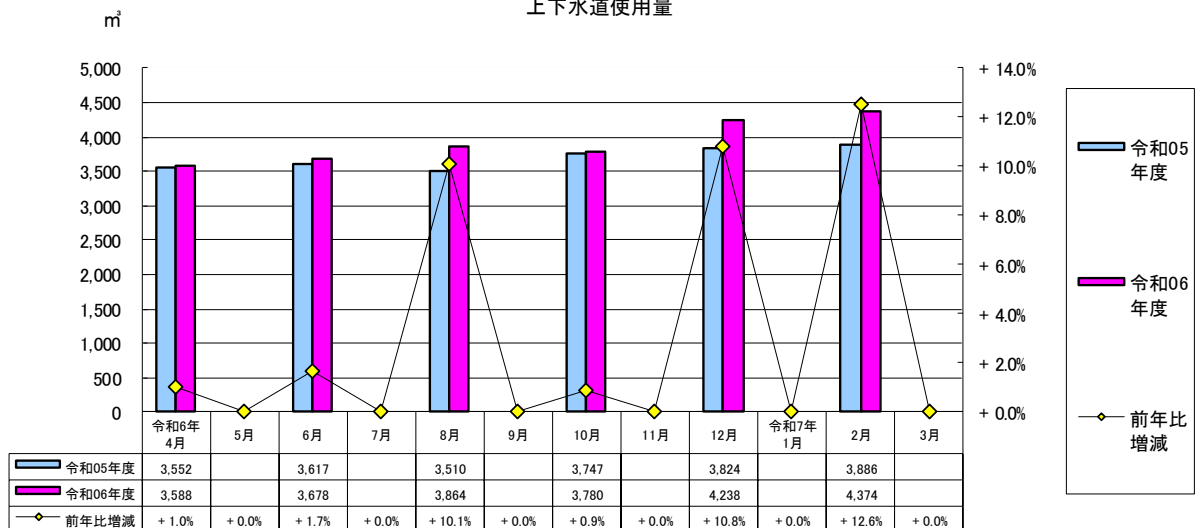
電気使用量



ガス使用量



上下水道使用量



経営企画室 教育・企画担当 事業報告

1 経営企画室 教育・企画担当 事業計画目標の総括

(1) インフォーマル・サポート（ボランティア・NPO 団体・地域住民等）による良質なサービスの提供を図る

ご入居者の皆様や各部署等より声を聴く機会を継続的に図り、施設ニーズを把握した上で、インフォーマル・サポートの皆様との調整を行いました。

施設内にて感染症が発生した際は、施設内外の関係者と情報共有を行いながら、安心して受け入れ、活動していただける方法を柔軟に検討しました。

今年度も各部署の協力のもと、多くのインフォーマル・サポートの皆様によるご支援をいただき、ご入居者への良質な個別サービスの提供に繋がりました。次年度もご入居者の個性へ配慮を行い、更なるサービスの質の向上を目指していきます。

(2) 担当業務の省力化・効率化を目指す

記録に係る担当業務においては、園盛会 DX プロジェクト A チームと連携を図りながら研修受講時の書類について、印鑑欄の削除や修正を図り、回覧時の手間を削減しました。

また、担当業務の経過記録の管理を表計算ソフトから、介護記録ソフトに切り替えることで、各部署が必要時に確認できる体制を整備しました。

広報委員会（3 園合同開催）においては、運営方法の見直しを図りました。結果、開催時間がこれまでの半分に短縮し、各園にて、その時間の有効活用を図っています。

次年度も各業務において、効率化のメリットやデメリットを踏まえながら、継続的に取り組んでいきます。

(3) 就労環境・研修内容の改善を図り、職員の定着率向上を目指す

年間の経営企画室『人材育成計画表』、『職員研修・OJT 年間計画表』に沿って、滞りなく実施しました。特に、義務化された研修や資格取得希望に係る研修の対応時には、確実な受講申請や準備等を行い、職員の研修受講や資格取得をサポートしました。

また、就労環境においては、介護記録ソフトの活用に向けて、関係部署の希望を受け、適切な帳票やマスタ設定等を提案することで、記録業務の効率化に寄与しました。

次年度も、職員が希望する研修を受講しやすい環境づくりに努めていきます。

(4) 稼働率の維持・向上にむけて、自法人の認知度向上を図る

法人パンフレットにおいては、掲載内容の見直しを図り、ホームページ上にデジタルパンフレットの掲載を行いました。これにより、郵送もしくは窓口での手渡し以外に、ホームページ上ですぐに閲覧することが可能になりました。

ホームページにおいては、長年の運用により、各種の情報が散在しており、データ管理の複雑化が課題でした。また、ホームページ上への掲載が義務化された項目が増加したことを踏まえ、今年度は、掲載内容の見直しとデータの一括管理に向けた修正作業を行いました。

次年度も法人内外の関係者と協働の上、法令を遵守し、より充実した広報活動に努めていきます。

2 活動報告

(1) 職員教育に資する研修事業の取り組み

福祉サービスの質の向上を図るため、新入職員および現任職員への施設内研修の実施と行政機関や民間事業者からの研修案内を精査し、各職種にわたり、感染対策を図った上での外部研修の受講にも力を入れました。

コロナ禍を経て、現地参加型研修、オンライン研修、ハイブリッド型研修等、様々な研修形態に対応し、職員の研修受講へのサポートを行いました。受講後の研修報告書については他職員が閲覧できるようデータ化を行い、施設内の共有フォルダでの管理体制を図りました。

また、研修のネット配信サービスの導入開始より4年が経過しました。毎月のおすすめ研修についての情報発信を行い、法定研修や資格取得、日頃の業務等に使用されていますが、単発的で効果的な活用には至っていません。活用方法については、再度検討の必要性があります。

- ・別紙「研修関係の開催・参加状況」参照

(2) ボランティア・職場体験の受け入れ状況

今年度のボランティア活動人数（延人数）は、生活支援 104 名、余暇援助 366 名の 470 名と前年度より 165 名増加しました。また、近隣の中学校（1 校）より、職場体験の受け入れを実施しました。

コロナ禍を経て、活動をご希望される団体・個人の皆様、定期的に活動していただける皆様が増加し、施設内において、温かい交流が少しずつ再開しています。

人員の都合等により、全てのご希望に沿って受け入れの対応ができない場合もありますが次年度もご入居者の安全、安心を最優先としながら、更なる余暇活動の楽しみや地域住民の皆様との交流の支援ができるよう取り組んでいきます。

- ・別紙「ボランティア活動実績」参照

- ・別紙「職場体験（中学生）受け入れ実績表」参照

研修関係の開催・参加状況（施設内研修）

研修内容		開催日	参 加 人 数								合計
			経営本部	総務課	介護課	医務係	リハビリ係	生活課	栄養課	地域事業課	
○経営本部主催研修											
階層別 研修	リーダー層	7/8・2/17	2		7	1				1	11
	中堅層	8/19, 10/7 12/16, 2/10		1	4	1					6
	一般職	7/22, 9/9, 11/11 1/20, 3/17			4	1				1	5
新入職 員研修	入職時研修	3/27-4/26			2						2
	1.3.6ヶ月研修	5/22, 8/2 10/4			1						1
エルダー職員意見交換会		6/21	1		3						4
◇法令研修											
食中毒予防研修		5/10-5/24	3	4	78	7	5	3	11	3	114
感染症予防研修	前期	5/15-6/10	3	4	77	6	5	3	12	3	113
	後期	11/13-12/13 訓練 12/10, 12/11	4	4	77	5	5	3	13	3	114
事故防止に関する研 修	前期	6/10-6/25	2	4	76	7	5	2	12	3	111
	後期	11/29-12/31	4	4	77	7	5	2	13	3	115
高齢者虐待防止・身体 拘束等適正化研修	前期	7/10-7/31	2	3	75	7	5	講師	12	3	107
	後期	1/10-1/27	5	4	77	7	5	講師	12	3	113
ハラスメント防止研修		3/3-3/17	3	4	78	7	5	講師	12	3	112
褥瘡予防研修		3/12-3/28			77	7	5			3	92
□その他											
中途入 職者研 修	入職時研修	4/1-3/31		1	2				1		4
	排泄ケア研修	4/3			1						1
	ケアプラン研修	4/18・1/22			5						5
お茶の水ケアサービス学院 (自主学習・部署研修)		4/1-3/31			53		2				55
合 計			22	33	803	78	61	22	78	28	1,127

研修関係の開催・参加状況（施設外研修）

研修内容	開催日	参 加 人 数									
		経営本部	総務課	介護課	医務係	リハビリ係	生活課	栄養課	地域事業課	合計	参加者
◇東京都社会福祉協議会											
栄養士の為の介護報酬改定と新しい栄養評価基準について	7/2-8/2 (WEB 研修)							2		2	岡田 菊野
◇東京都福祉局											
認知症介護実践者研修	5/31-7/12			1						1	小村方
	11/9-12/12			1						1	前田
社会福祉事業従事者人権研修 [1]	8/29			2						2	竹内 田久保
◇総合健康推進財団											
介護支援専門員専門実務研修	12/20-3/14			1						1	山口(佑)
介護支援専門員専門研修Ⅱ	9/29-9/30			1						1	中村
◇羽村市特養施設長会											
羽村市特養職員合同研修 (介護課)	6/6, 11, 27			4						4	西・市川 山口(佑) 関口
◇その他主催											
介護福祉士初任者研修 (ハクビ)	4/6-5/26			1						1	山田
認知症介護基礎研修	5/10			2						2	トウラ フン
	6/4			3						3	ズイー タム バンアイン
Care TEX 東京' 25	2/3, 2/4			6		1				7	山口(佑) 河村(隼) 関口 鈴木 市川 藤永 佐渡谷
合 計				32		1		2		35	

ボランティア活動実績

活動内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
縫物	5	6	4	4		6		3	5		4		37
生活支援	13	14	16										43
ボーイスカウト (敷地内清掃活動)									16				16
傾聴	12	13	16	14	13	19	12	9	15	15	11	12	161
体験ボランティア				3	5								8
行事参加				22					1				23
行事訪問、演芸等	4	4	35	3	12	8	17	4	31	30	19	15	182
(団体数)	(1)	(1)	(4)	(1)	(2)	(2)	(2)	(1)	(4)	(3)	(2)	(3)	(26)
(個人数)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(12)
月別合計	34	37	71	46	30	33	29	16	68	45	21	27	470

職場体験（中学生）受け入れ実績

学校名	受け入れ期間	人数
羽村市立羽村第一中学校	令和 6 年 10 月 21 日～ 10 月 25 日	2 名

介護課 事業報告

1 介護課事業計画目標の総括

(1)「ご入居者の気持ちに寄り添った個別サービスの充実に努める」について

今年度は、「個別ケア推進委員会」と連動し、ご入居者の希望・要望の聴き取りを行い、毎月のブロック会議で協議し、希望の実現に努めました。「毎日コーヒーが飲みたい」等、ささやかな要望を叶えることができました。また、クラブ活動内容も見直しを行い、より専門的な内容にすべく外部講師の募集をかけましたが、残念ながら外部からの応募はありませんでした。行事関係においては、今年度も引き続き感染症の動向を注視しながらの開催となりました。外出援助も再開し、多くのご入居者に喜んでいただくことができました。

今後も、ご入居者の希望や夢の実現に向けて、実現可能な内容から取り組んでいきます。

(2)「業務改善や次世代介護機器等を効果的に活用し、生産性の向上を目指す」について

今年度は、次世代介護機器の活用と記録業務の改善に取り組みました。

自動寝返り支援ベッドについては、作成したマニュアルやルールを基に運用を行いました。夜間帯の体位変換がなくなったことで、職員の身体的な負担軽減と業務の効率化を図ることができました。ご入居者においては、夜間帯の体位変換による中途覚醒が減り、安眠につながりました。眠りスキャンについては、起床検知によるアラームが鳴るとカメラを確認して状況が把握できるため、不要な訪室を回避できるようになりました。また、ご入居者の睡眠状況がデータとして蓄積されるため、起床や排泄等の支援のタイミングに活用することができました。記録業務の改善については、9月から介護日誌のペーパーレス化を行い、電子管理となりました。また、記録支援ソフト（ほのぼのNEXT）の機能を活用し、今まで書面で行っていた周知や個別連絡をPCで行えるようになりました。これらの取り組みにより、手間と時間の短縮となり、生産性の向上につながりました。

今後も、業務改善と記録業務の効率化を推進し、より良いご入居者支援を目指していきます。

(3)「仲間を尊重し、働きやすい職場環境作りを行い、チームワークの向上を図る」について

今年度は、長期休暇取得のモニタリングを行い、多くの職員が長期休暇を取得することができました。業務を円滑に遂行できるように応援の調整やブロックごとに役割分担等を行い、職員同士が助け合い、協力することができました。

また、職員からの相談や困りごとなどは適宜面談の場を設け、解決に向けて取り組みました。

今後も職員一人ひとりが働きやすいと感じる職場環境を目指し、改善を図っていきます。

(4)「多職種連携や自己研鑽に努め、稼働率を意識した行動に努める」について

今年度は、7月から9月にかけて発熱、呼吸器症状での体調不良者や肺炎症状での入院者が増加しました。医務課や関係部署とも相談し、感染症対策や口腔ケアなどのベースケアの見直しを行いました。

また、円滑な新規入居受け入れのため、経営本部の営業課長を主任会議に招き、稼働率確保の現状や福祉業界を取り巻く環境、施設運営の状況等を説明してもらいました。職員にも内容を伝え、理解と協力に努めました。今年度の全体稼働率平均値は98.9%という結果になりました。

今後も、他部署と協力しながら、ご入居者の体調管理と稼働率を意識した部署運営に努めていきます。

2 介護課主要行動施策の総括

(1) 「ご入居者の楽しみや気持ちに寄り添った個別サービスの提供」について

今年度の外出のイベント関係は、上半期はバラや菖蒲など季節のお花見に出かけました。11月からは以前のような外出援助を再開し、外出先をスーパーに限定することで多くのご入居者に久しぶりのお買い物を楽しんでいただくことができました。

行事関係は、感染症動向や気候、気温に留意しながら、実施方法を検討し状況に応じた実施方法で開催を行いました。「敬老会」ではご家族にも参加していただき、ご入居者と一緒に式典や演芸を楽しめました。

クラブ活動は、感染状況に応じて開催方法をフロアごとに分ける等工夫をしながら実施しました。

「個別ケア推進委員会」とも連動し、ご入居者の希望・要望を聞き取り、希望に応じたサービスの提供が実施できるよう努めました。

次年度も、感染状況や気候、気温に柔軟に対応しながら、充実した行事や余暇活動が実施できるよう取り組んでいきます。

(2) 「業務の効率化とご入居者の安全と安心につながる支援の実践」について

次世代介護機器を活用した業務の効率化と記録業務の見直しおよびペーパーレス化を図りました。iPadでのタイムリーな記録入力も定着し、しっかりと活用できています。

ご入居者支援においては、適宜リハビリ職員に相談し、ポジショニングやシーティングの指導を受け、安楽な姿勢を保てるように努めました。排泄支援については、「排泄ケア向上委員会」にて、ご入居者に合わせたアイテム選定や排泄介助が困難な方の事例検討等を行いました。外部アドバイザーの助言も取り入れ、困難事例解消に向けた取り組みを実践しました。

次年度も、継続して業務の効率化を図るとともに、ご入居者へより良いケアを提供できるよう努めていきます。

・排泄ケア向上委員会の定期開催

活動の詳細については別紙「排泄ケア向上委員会」事業報告を参照。

(3) 「職員が安心して長く働きたいと思える環境作りと育成体制の構築」について

今年度は新入職員1名を受け入れ、エルダー制度による育成・指導を行いました。夜勤業務まで習得し、介護課の仲間として尽力しています。

8月にはEPAベトナム人介護福祉士候補者の7期生3名を受け入れ、日本語学習や就労支援を行いました。学習支援では、前年度よりベトナム人の先輩職員を講師に加え、ベトナム語で説明を行うことで理解度の向上につながっています。

現任職員については、還元面談や適宜行う面談において、業務の振り返りと評価を行うとともに、意向の確認や悩み、不安等の聞き取りを行い、職員が安心して意欲的に働ける環境作りに努めました。

また、今年度は「バカンス休暇」と銘打ち長期休暇（7連休）取得のためのモニタリングを実施しました。ルールを設け、職員同士で話し合いや工夫しながら休みを取ることで、長期休暇を取りやすい職場風土の醸成、協力体制の構築、職員のライフワークバランスの充実などにつながりました。

今後も、職員が長く働きたいと思える職場環境を目指し、取り組んでいきます。

(4) 「ご入居者が快適に暮らせる生活環境の提供。事故を未然に防ぐ環境整備の実施」について

今年度も感染症予防対策を継続して、週2回の消毒と常時の換気を徹底しました。職員は、毎日の検温、マスクの着用、手指消毒の徹底をし、予防行動に努めましたが、1月にインフルエンザ、3月には新型コロナウイルスの感染症が発生してしまいました。

また、生活環境については、定期的な清掃や車椅子点検、環境整備を行い、ご入居者の皆様に「安全・安心」を感じていただける環境の提供に努めました。

次年度も、ご入居者の皆様が安心して快適に過ごしていただける環境の提供に努めていきます。

3 活動報告

(1) 事故防止検討委員会の定期開催

各施設単独開催と安全対策担当者での三園合同開催の形式で開催し、事故・ヒヤリハット概要の情報共有や再発防止策の協議等を行いました。

単独開催時には、他職種の職員の専門的な視点からの意見を交えて、事故・ヒヤリハット報告書や転倒・滑落の多い方の事故要因・対策について協議を行いました。今年度からヒヤリハット報告書の作成方法を変更したため、作成において職員の心理的なハードルが以前よりも下がったことで報告件数が大幅に増加しました。重大な事故については、主任会議とも連動し意識喚起を行いました。

合同開催時には、各園の安全対策担当者が集まり、三園で発生した事故や取り組みについて共有しました。内容については、各園の単独開催時に他施設での事故の情報共有や注意喚起を行い、法人全体で課題に向けて取り組みました。

今後も、ご入居者の日頃の様子観察と気持ちに寄り添ったケアを実践し、他部署とも協力しながら事故防止に取り組んでいきます。

別紙「事故防止検討委員会開催状況」を参照。

(2) 主任会議の定期開催

今年度は、ご入居者の支援や事故対策、介護課全体の業務改善とマニュアル作成、感染症動向の情報共有など、様々な議題について協議を行いました。

ご入居者の支援については、9月に発生した虐待事案を受け、日頃のケアにおいて支援困難事例やストレスを感じる場面等の情報共有と改善に努め、認知症への理解と職員間のコミュニケーションの活性化を図るよう意識喚起を行いました。

業務改善については、夜勤責任者の救急搬送時の動きをマニュアル化し、職員が安心して働けるようにしました。また、記録支援ソフト（ほのぼのNEXT）の機能を活用した業務効率化、介護日誌のペーパーレス化を図りました。iPadや眠りスキャンEye、自動寝返り支援ベッドの活用状況についても定期的に確認しながら有効活用にあつめました。

感染症動向については、施設長よりその時々最新の情報発信がなされ、気を引き締めて感染予防対応に取り組むことができました。

会議での決定事項は、職員に周知し、各ブロック・ユニット会議でも説明を行い、職員一人ひとりに内容が伝わるように努めました。

今後もより良いサービスの提供と円滑な部署運営が行えるよう、様々な課題と向き合い、

議題に取り組んでいきます。

別紙「主任会議開催状況表」を参照。

(3) 個別ケア推進委員会の定期開催

活動の詳細については別紙「個別ケア推進委員会」開催状況表を参照。

(4) 排泄ケア向上委員会の定期開催

活動の詳細については別紙「排泄ケア向上委員会」開催状況表を参照。

(5) 余暇活動の支援

前年度は感染症のため、クラブ活動等が中止になってしまうことが多くありましたが、今年度は余暇活動の実施回数は大幅に増えました。レクリエーションの内容は、季節感のある作品制作、手作りおやつ、好きな歌手の DVD 鑑賞等バリエーション豊かな内容の余暇活動を実施しました。

- ・レクリエーション参加状況については、別紙「各ブロックレクリエーション実施状況」を参照。

- ・各クラブ参加状況については、別紙「クラブ実施状況報告」を参照。

(6) 年間行事の企画と実施

行事企画委員会（1 回/月）内で、感染症対策と気温状況に応じた行事の実施方法について協議を行いました。その時々々の感染状況を勘案しながら、三密回避のためブロック・ユニットごとでの開催や二部制開催などの工夫を行いました。今年度は前年度と比較して、ボランティア行事の開催回数が増加したため、参加人数も増え、より多くのご入居者に楽しんでいただくことができました。

今年度の行事参加人数（延人数）は、施設行事・ボランティア行事が 1,664 名、「カフェむさしの」および「BAR むさしの」が 1,006 名で、合計 2,670 名でした。

別紙「令和 6 年度 施設行事・ボランティア行事参加人数実績表」

「令和 6 年度 カフェむさしのおよび BAR むさしのの参加人数実績表」を参照。

(7) 行事アンケートの実施

調査期間を令和 6 年 12 月 19 日～令和 7 年 1 月 2 日、調査対象者を特別養護老人ホーム在籍ご入居者とした「行事についてのアンケート」を実施し、ご入居者のニーズ把握に努めました。本アンケート調査において、ご入居者の皆様からいただいた貴重なご意見を参考に更に充実した行事運営に活かしていくよう努めていきます。

(8) 家族交流の活性化支援

今年度は面会の制限は解除し、自由に対面での面会が可能となりました。感染症拡大時には、面会制限をかけることもあり、ご家族にも感染症拡大防止にご理解とご協力いただきました。

毎月の「カフェむさしの」においては、ご家族参加も可能となり、一緒にお茶を飲みながら笑顔で談笑される姿が見られました。

別紙「介護課全体 面会・外出・外泊表」参照。

(9) 整容支援

理容については、ご本人やご家族の希望時及びチェック表を用いて定期的にご利用いただきました。カット、髭剃り、パーマ、ヘアカラーと要望に応じて、それぞれ好きなヘアスタイルを楽しまれていました。

整容については、起床時や離床時等に身だしなみに配慮し、ご入居者が気持ちよく快適に

過ごしていただけるよう努めました。

別紙「理容利用状況表」参照。

主任会議開催状況表

開催日	議 題 内 容
4 月 3 日	夜勤責任者のルール決めについて 自動寝返り支援ベッドの運用について 他
5 月 1 日	事故について 口腔衛生管理体制について 他
6 月 5 日	夜間帯のマニュアルについて 事故の取り扱いについて 他
7 月 3 日	外出援助の実施方法について クラブ活動について 他
8 月 7 日	外出援助（外出先）について 介護日誌のペーパーレス化及び電子管理について 他
9 月 4 日	排便チェックについて 入院者数増加について 他
10 月 2 日	3C ブロックでの虐待事案について 園盛会 DX プロジェクト A チームより（日誌の電子管理、事務連絡活用） 他
11 月 6 日	ベッド稼働率について 令和 6 年度上半期事業計画総括について 他
12 月 4 日	令和 7 年度のクラブ活動について 園盛会 DX プロジェクト A チームより（事務連絡活用、種別について） 他
1 月 6 日	福祉用具の管理方法について 個別ケア推進員会より 他
2 月 5 日	次年度の事業計画施策、クラブ活動について 夜間帯の離設対応フロー図について 他
3 月 5 日	体位変換表、レクリエーション報告書の電子管理について 眠りスキャン、自動寝返り支援ベッドの活用状況について 他

排泄ケア向上委員会事業報告

1 活動報告

今年度の委員会では、個別事例検討を始め、パッドの適正使用及びコスト削減についての取り組みとして、委員会開催時に、1日の使用パッド総吸収量の推移表の確認や意見交換を行いました。また、TENA用品の2枚使いや夜間交換回数が多い等の対象者リストを基に、各ブロック、ユニットで適正使用等について取り組みました。

今後も、各ご入居者に合わせた排泄用品の選定やコスト削減に向けて取り組んでいきます。

排泄ケア向上委員会実施状況報告

総括		実施責任者	委員
今年度の委員会は、適正使用及びコスト削減を目的とし、1日の使用パッド総吸収量表の確認とTENA使用者の2枚使い等の問題点について取り組みました。 次年度も引き続きコストの削減と個別事例の法人内での共有化を目指し取り組んでいきます。		運営責任者 西 美由紀 進行責任者 小村方 克将	村井、新倉、前田、三浦、山口、横山 オブザーバー：ユニチャームメンリッケ(株)柴田様
開催日	議 題 内 容		
5月28日	1年間の活動予定内容について 個別での事例検討について パッド総吸収量表について 排便状況表について TENA製品選定について パッド発注について		
8月27日	個別での事例検討について パッド総吸収量表について 排便状況表について パッド発注について TENA使用者の2枚使い等の問題点について		
2月25日	個別での事例検討について パッド総吸収量表について TENA使用者についての改善点・取り組みについて 排泄ケア向上委員会振り返りについて 令和7年度事業計画について		

※11月は都合により中止となりました。

令和6年度 施設行事・ボランティア行事参加人数実績表（カフェ・BARむさしのを除く）

開催日	行事名	参加人数
5月	16日・17日 秋留台公園バラ園見学 19名 26日 衣料品販売会 59名	78名
6月	7日・8日 福祉文化祭 10名 フラオーシャン 67名	77名
7月	24日 納涼祭 161名	161名
9月	18日 敬老の会 169名	169名
10月	2日 運動会 147名 17日・18日 秋留台公園バラ園見学 11名 27日 衣料品販売会 64名 30日 スマイルハーモニー 62名	348名
11月	6日 焼き芋の日 165名 27日 餅つき 127名	292名
12月	8日 ハーモニーインミズホクリスマスコンサート 58名 18日 クリスマス会 164名	222名
1月	1日 福生志茂町囃子連 91名 9日・10日 初詣 16名 29日 スマイルハーモニー 57名	164名
2月	2日 節分 152名 23日 羽村特別支援学校音楽部交流会 11名	163名
合 計		1,674名

令和6年度 カフェむさしのおよびBARむさしの 参加人数実績表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
カフェ むさしの	49	110	119	102	99	102	114	50	116	45	49	51	1,006
BAR むさしの	—	—	—	—	26	—	—	—	25	—	—	—	51
（開催数）	（1）	（2）	（2）	（2）	（3）	（2）	（2）	（1）	（3）	（1）	（1）	（1）	（21）

書道クラブ実施状況報告

クラブ活動総括		担当講師名	担当者名
○ 今年度の書道クラブでは、季節に合ったお手本を3種類ほど用意し、各ご入居者に選んでいただき清書をしていただきました。ご入居者の納得する作品をフロアに展示しました。 ○ 今年度も新型コロナウイルス感染症対策のため、各フロアや各ブロックで実施することもありました。		—	菰田大和 外畑敏裕 レティアン 木須建人 ゲンティニョン 山口うちな 関根千春
開催日	実施内容	参加人数	
4月6日	「桜」、「花見」、「山吹」をお題に書いていただきました。他ご入居者と談笑しながら取り組む姿が見られました。	9	
5月4日	「皐月」「若葉」「麦」をお題に書いていただきました。ご自身のペースでゆっくりと作品を完成されました。	10	
6月1日	「梅雨」、「青梅」、「入梅」をお題に書いていただきました。筆を執り熱心に取り組まれる様子が見られました。	10	
7月6日	「七夕」、「大暑」、「納涼」をお題に書いていただきました。皆様熱心に取り組まれる姿が見られました。	7	
8月3日	「花火」「朝顔」「迎火」をお題に書いていただきました。担当職員に出来栄を確認される姿が見られました。	6	
9月7日	「柿」「秋分」「月見」をお題に書いていただきました。お手本を見ながら、集中して清書をされていました。	8	
10月5日	「秋覚」「声秋」「紅葉」をお題に書いていただきました。他ご入居者と談笑されながら穏やかに過ごされていました。	5	
11月2日	「銀杏」「時雨」「落葉」をお題に書いていただきました。集中され取り組む姿が見られました。	7	
12月7日	「銀杏」「時雨」「落葉」をお題に書いていただきました。ゆっくり丁寧に清書に取り組まれていました。	8	
1月4日	「正月」「年賀」「七草」をお題に書いていただきました。お手本を見ながら真剣な様子で取り組まれておりました。	10	
2月1日	「節分」、「如月」、「立春」をお題に書いていただきました。最後まで集中して清書に取り組まれていました。	8	
3月1日	「春分」、「春風」、「弥生」をお題に書いていただきました。感染症対策のため、ユニットのみ実施となりました。	1	
	合 計	89	

華道クラブ実施状況報告

クラブ活動総括		担当講師名	担当者名
○ 今年度の華道クラブでは、季節の花を剣山や花瓶を使い職員が補助しながら、自由にフラワーアレンジメントに取り組んでいただきました。周囲の方とお話をしながら楽しまれていました。 ○ 今年度は、同じ階に集まり開催をしてみてもとは違う雰囲気を感じながら生け花に向き合われていました。		—	鈴木理恵 斎藤司 黒岩亜紀 青山和美 高木健 フンティン 藤永美里
開催日	実施内容	参加人数	
4月20日	カラー、スプレーマム、オンシジウムの花材を使用して実施しました。	11	
5月18日	バラ、カーネーション、マトリカリアの花材を使用して実施しました。	11	
6月15日	スカシユリ、スターチス、吾亦紅、紅花の花材を使用して実施しました。	11	
7月19日	ヘレコニア、スターチス、スカシユリ、リンドウの花材を使用して実施しました。	11	
8月17日	パンパス、千日紅、オミナエシ、デンファレの花材を使用して実施しました。	12	
9月21日	ドラセナ、オンシジウム、バラ、デンファレの花材を使用して実施しました。	12	
10月19日	グロリオサ、ケイトウ、野ケイトウの花材を使用して実施しました。	11	
11月16日	白塗り柳、ケイトウ、チューリップ、ソリダスターの花材を使用して実施しました。	11	
12月28日	松、柳、センリョウ、デンファレ、凧の飾りの花材を使用して実施しました。	11	
1月18日	赤芽柳、チューリップ、バラの花材を使用して実施しました。	12	
2月15日	麦、マドカリア、スターチス、菜の花の花材を使用して実施しました。	11	
3月15日	ミモザ、ストック、デンファレ、ドラセナの花材を使用して実施しました。	11	
合 計			135

茶道クラブ実施状況報告

クラブ活動総括		担当講師名	担当者名
○ 緑茶、ハーブティー等の色々な飲み物を提供しました。 マジカルブルーバタフライピーというハーブティーは色が変わり、とても楽しまれていました。飲み物に合う洋菓子、和菓子をバランスよく提供し、好評を得ることができました。 ○ 今年度も感染症対策の為、各フロアで実施する月がありました。		—	沖山伸子 奈良由香里 細渕秀一 西村司 前場なおみ 宮城克和 村井洸太
開催日	実施内容	参加人数	
4月27日	紅茶となんばんゴールドスイートポテトパイを提供しました。 紅茶は5種類の中から選んで頂き食されました。	14	
5月25日	抹茶とどら焼きを提供しました。どら焼きを見ると、「大きいね。」 「食べれるかしら？」と笑顔で話されていました。	14	
6月22日	埼玉県川越市産の緑茶とスイートポテトを提供しました。職員と川越についてお話をされ、和やかな雰囲気が感じられました。	14	
7月27日	動物の形をしたチョコレートタルトと抹茶を提供しました。可愛いと好評でした。	14	
8月24日	小倉の水羊羹とグリーンレモンティーを提供しました。小倉のあずきを皆さん美味しいと話されていました。	14	
9月28日	人参プリンとマジカルブルーバタフライピーというハーブティーを提供しました。	14	
10月26日	ハロウィンねりきりと黒豆茶を提供しました。「黒豆茶久しぶりに飲んだわ」と笑顔で食されていました。	14	
11月23日	アッサムティーのアップルとルイボスティーの2種類から選んで頂き、お茶菓子はクリームチーズパウンドケーキを提供しました。	14	
12月21日	バウムクーヘンとミニクッキーとはちみつ紅茶を提供しました。「甘くてとても美味しい。」と笑顔で食されていました。	14	
1月25日	川越喜多院の名称が付いた抹茶の焼き菓子と狭山茶を提供しました。「美味しいよ。」と喜んで下さいました。	14	
2月22日	羊羹とレモンジンジャーティーを提供しました。「生姜の辛味が羊羹の甘さで丁度よく緩和されて美味しい」と好評でした。	14	
3月22日	感染症が流行っている為、各階での開催となりました。さくら香るふんわりブッセとはちみつ紅茶を提供しました。	14	
合 計			168

手工芸クラブ実施状況報告

クラブ活動総括		担当講師名	担当者名
○ ご入居者に季節を感じられるような内容としました。仕上がりを見ると、「素敵、綺麗」と嬉しそうに話され、満足そうな表情でご入居者同士や職員と会話される姿が多く見られました。 ○ ご入居者ができる限り楽しんでもらえるように、材料の準備と当日の飾り付けの位置や、難しい所は職員が手伝いました。		—	山下茜 古川可奈 岩田恵利香 川久保果穂 チャンティフォン 関口奈美 粕谷幸代
開催日	実施内容	参加人数	
4月24日	貼り絵を制作しました。チューリップや鯉のぼり、タンポポの絵を選んでいただき、真剣に取り組まれました。	8	
5月22日	蝶々の壁飾りを作成しました。台紙に折り紙で蝶々を貼り付けました。とても春らしい壁掛けが完成しました。	7	
6月26日	うちわを制作しました。季節の花の折り紙を貼り、暑い夏に少しでも涼しくなるように仕上がりました。	7	
7月31日	和紙で風鈴を作成しました。水風船を使用し好みの大きさに和紙を貼り付けて乾かしました。	8	
8月28日	7月で乾燥した和紙を風受けの紙やビーズを選び作成しました。色とりどり風鈴が風で素敵な音色が鳴りました。	8	
9月25日	くまのカップケーキの人形を作成しました。紙コップに耳や鼻、口を選び貼り付け、可愛らしい作品が出来ました。	10	
10月23日	椿のクリップを作成しました。花びらや葉を選び、重ねて貼り付け、素敵な花の髪留めやブローチが完成しました。	11	
12月25日	来年の干支の蛇の置物を作成しました。花紙を貼り付けて乾燥させました。	12	
1月22日	12月で乾燥させた蛇に座布団や毬、リボンを貼りました。色々な形や個性ある彩りの素敵な置物が完成しました。	11	
2月26日	ひな祭りの吊るし飾りを作成しました。フェルトで作成した花やボール、菱餅を貼り、綺麗な作品が完成しました。	11	
3月26日	桜の壁飾りを作成しました。好きな形のレースペーパーを選んでいただき、色を付け、春を感じる作品が出来ました。	7	
合 計			100

※11月は都合により中止となりました。

面会・外出・外泊状況表（従来型特養）

	面 会		外 出		外 泊	
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
4 月	100	269	11	11	0	0
5 月	108	208	8	9	0	0
6 月	101	334	8	9	0	0
7 月	103	301	11	11	0	0
8 月	107	354	9	9	0	0
9 月	102	366	9	9	0	0
10 月	87	313	8	9	0	0
11 月	104	274	11	12	0	0
12 月	111	473	10	11	0	0
1 月	112	348	10	10	0	0
2 月	124	295	6	0	0	0
3 月	109	333	8	8	0	0
合 計	1,268	3,868	109	115	0	0

理容・美容利用状況表

区分 月	理 容						備 考
	カ ット	ひ げ そ り	パ ー マ	毛 染 め	そ の 他	利 用 人 数	
4 月	76	4	1	7	0	79	・カット、髭剃り等の各項目については、当該月の利用回数（1 名につき複数項目利用も含まれる）を表記しています。
5 月	38	2	1	5	0	40	
6 月	56	2	0	4	0	56	
7 月	48	3	0	5	0	51	
8 月	62	5	2	8	0	64	
9 月	60	3	0	5	0	61	
10 月	57	4	1	10	0	59	
11 月	45	2	0	5	0	46	・利用人数については、当該月の実人数を表記しています。
12 月	70	5	0	7	0	70	
1 月	40	3	0	10	0	41	
2 月	48	2	0	3	0	48	
3 月	36	2	1	5	0	38	

介護課（従来部）

2 Aブロック 事業報告

1 活動報告

（1）ブロックの取り組みの総括

- ① 「業務マニュアルを必要な場所に最適な形で用意することで、統一した業務・支援を職員が不安なく行える仕事環境をつくる」について

毎月のブロック会議で、職員に「やり方が統一されていない業務」「不安に感じている業務」「マニュアルを見直した方が良いと思われる業務」についての意見を募りました。各場面で使用する消毒液がはっきりしないという意見があり、「用途別消毒液一覧表」を作成し、共有トイレに貼り出すことで、使用する消毒液（希釈濃度含む）の統一化を図りました。その他、職員からの希望に応じ「月次総括表作成時の留意点」、「レクリエーション実施時（報告書作成含む）の留意点」のマニュアルを作成しました。

職員の不安に感じている業務をマニュアル化し、統一した業務に関しては、仕事上の迷いがなくなり作業効率が上がりました。

次年度も本取り組みを継続していくことを予定しています。

- ② 「ケアプランの内容を職員間で共有することで、ご入居者の目線に立った統一した支援を行う」について

毎月のブロック会議でケアプランの更新（ケアプラン総括作成）を控えたご入居者を取りあげ、居室担当職員を中心に課題・目標の評価及び抽出と情報共有を行いました。

居室担当職員は、事前に対象となるご入居者の情報を収集（意見聴き取りが可能なご入居者には聴き取りを行う）し整理して話し合いを進行することで、担当職員としての役割意識、責任感を向上することができました。他職員についても、普段意識していないケアプランの作成に触れることで、当事者意識を持ち、その結果多角的視点からご入居者の情報を分析することができました。

目標達成には至りませんでしたが、今後もブロック内で本取り組みを継続し、ご入居者支援に役立てていきたいと思えます。

（2）ブロック会議の開催状況について

各職員が前日までに検討用紙に意見や議題を入力することにより、円滑に会議を行う事ができました。会議では、議題の大枠である「重点取り組みについて」「ご入居者の希望・要望について」「ご入居者のADL・支援内容について」「業務の効率化・簡素化に向けた提案」「事故関係」についての話し合いを行いました。別紙「ブロック会議開催状況」を参照。

（3）余暇活動について

今年度は個別でのレクリエーション提供数と比べてグループ単位でのレクリエーション開催が多くありましたが、レクリエーションを通してご入居者一人ひとりの関わりを多く持つことができました。別紙「レクリエーション実施状況」を参照。

（4）ブロックのルーティンワークの総括について

定期的にルーティンワークの見直しを行いました。今後も、合理化や効率化に向けた見直しを行い、ご入居者への関わりを増やせるよう努めていきます。

ブロック会議開催状況

実施日	議 題 内 容
4 月 25 日	重点取り組みについて・ニーズ・苦情について・ADL・支援内容について 他
5 月 23 日	重点取り組みについて・希望・要望について・ADL・支援内容について 他
6 月 27 日	重点取り組みについて・希望・要望について・ADL・支援内容について 他
7 月 11 日	重点取り組みについて・希望・要望について・ADL・支援内容について 他
8 月 26 日	重点取り組みについて・希望・要望について・ADL・支援内容について 他
9 月 30 日	重点取り組みについて・希望・要望について・ADL・支援内容について 他
10 月 31 日	重点取り組みについて・希望・要望について・ADL・支援内容について 他
11 月 13 日	重点取り組みについて・希望・要望について・ADL・支援内容について 他
12 月 9 日	重点取り組みについて・希望・要望について・ADL・支援内容について 他
1 月 27 日	重点取り組みについて・希望・要望について・ADL・支援内容について 他
2 月 12 日	重点取り組みについて・希望・要望について・ADL・支援内容について 他
3 月 27 日	重点取り組みについて・希望・要望について・ADL・支援内容について 他

レクリエーション実施状況

月	実施回数	実施内容	実施利用者数
4 月	20	カルタ・散歩・風船バレー・おやつ作り 等	105
5 月	16	お手玉遊び・パズル・新茶の会・風船バレー 等	130
6 月	13	ハンドマッサージ・パズル・ボーリング・DVD 鑑賞	88
7 月	25	パズル・DVD 鑑賞・散歩・風船バレー・塗り絵 等	132
8 月	25	塗り絵・DVD 鑑賞・パズル・カラオケ・音楽鑑賞 等	138
9 月	18	DVD 鑑賞・散歩・カルタ・塗り絵・パズル 等	92
10 月	23	塗り絵・散歩・音楽療法・誕生日会・DVD 鑑賞 等	116
11 月	25	歌・散歩・散歩・ラジオ体操・折り紙・パズル 等	74
12 月	17	クリスマス飾りつけ・日向ぼっこ・散歩・塗り絵 等	61
1 月	20	DVD 鑑賞・ラジオ体操・いろはかるた・塗り絵 等	70
2 月	15	散歩・ハンドマッサージ・パズル・誕生日会 等	56
3 月	14	雪遊び・音楽鑑賞・塗り絵・DVD 鑑賞・計算遊び	63
合計	231		1, 125

2 Bブロック 事業報告

1 活動報告

(1) ブロックの取り組みの総括

- ① 「ご入居者が安心して安全に生活できる環境づくりと職員の危機管理意識の向上」について

居室担当者を中心に事故発生リスクの高いご入居者をリストアップし、対応策についての協議を行いました。また、毎月のブロック会議にてブロック内で発生した事故の原因と対策についての振り返りと、対応方法の変更の必要性や新たな課題点についても、協議を行いました。事故発生回数は、前年比 10%減を目標に掲げていましたが、同様の事故発生があり、目標を達成することはできませんでした。また、危険予知トレーニングの実施を予定しておりましたが、業務都合により実施ができませんでした。

次年度の課題として、事故発生日に対策を立てられていないことや周知が十分に行えていないことがあったため、個別や会議内で再度の説明と指導を行い、事故発生件数の減少に取り組んでいきます。

- ② 「ケアプランに基づいたケアの統一を図る」について

各ご入居者のケアプラン内容を一覧表にまとめ、職員間で情報共有を行いました。

また、更新期限の近いケアプランについて居室担当を中心にブロック会議内で課題や目標の確認を行い、身体状況の変化等で内容を変更する場合は、担当ケアマネージャーとも情報交換を行いケアプランの作成を実施しました。

次年度の課題として、会議内で全ご入居者のケアプラン内容について協議をすることができなかったため、事前準備を行い、職員間で情報共有が行えるように取り組んでいきます。

(2) ブロック会議の開催状況について

ご入居者のケア方法の統一を図る為、身体状況の確認や発生した事故についての振り返りを行いました。必要時には他部署への相談を行い、ご入居者が安全に安心して生活を送っていただけるよう業務改善やケア方法の検討を行いました。

別紙「ブロック会議開催状況」を参照。

(3) 余暇活動について

今年度も居室担当者を中心にご入居者へ希望の聞き取りを行いました。希望の多かった手作りおやつの実施回数は目標達成ができませんでした。ご入居者同士の交流の場を設けることができ、皆さま喜ばれていました。

参加者や実施職員に偏りがあったため、次年度はバリエーションを増やせるように取り組んでいきます。

別紙「レクリエーション実施状況」を参照。

(4) ブロックのルーティンワークの総括について

定期的にルーティンワークの見直しを行いました。今後も、合理化や効率化に向けた見直しを行い、ご入居者への関りを増やせるよう努めていきます。

ブロック会議開催状況

実施日	議 題 内 容
4 月 19 日	ご入居者の ADL や支援方法について・事故関係・事業計画について
5 月 21 日	ご入居者の ADL や支援方法について・事故関係・各委員会からの周知事項
6 月 26 日	ご入居者の ADL や支援方法について・事故関係・ブロックの環境整備について
7 月 17 日	ご入居者の ADL や支援方法について・事故関係・ケアプラン内容について
8 月 16 日	ご入居者の ADL や支援方法について・事故関係・各委員会からの周知事項
9 月 17 日	ご入居者の ADL や支援方法について・事故関係・各委員会からの周知事項
10 月 30 日	ご入居者の ADL や支援方法について・虐待の芽アンケートについて
11 月 19 日	事故発生リスクの高いご入居者の対応方法について・BCP 研修 他
12 月 20 日	ご入居者の ADL や支援方法について・事故関係・ガウンテクニック研修 他
1 月 15 日	ご入居者の ADL や支援方法について・事故関係・ケアプラン内容の共有 他
2 月 14 日	ご入居者の ADL や支援方法について・事故関係・R7 年度事業計画内容について
3 月 28 日	ご入居者の ADL や支援方法について・事故関係・R7 年度ブロック会議について

レクリエーション実施状況

月	実施回数	実施内容	実施利用者数
4 月	17	歌・お花見・音楽鑑賞・散歩・間違い探し・カラオケ	92
5 月	14	新茶の会・ハンドマッサージ・デザートバイキング 等	104
6 月	4	カラオケ・手遊び・塗り絵・音楽鑑賞	18
7 月	8	日向ぼっこ・塗り絵・音楽鑑賞・アイスの日・パズル	44
8 月	7	カラオケ・アイスの日・ハンドマッサージ・塗り絵 等	52
9 月	4	塗り絵、・ハンドマッサージ	29
10 月	16	ハンドマッサージ・DVD 鑑賞・音楽鑑賞・カラオケ	41
11 月	7	塗り絵・ハンドマッサージ	16
12 月	19	歌・DVD 鑑賞・散歩(屋内)・音楽鑑賞・貼り絵 等	50
1 月	20	音楽鑑賞・ハンドマッサージ・塗り絵、散歩(屋内) 等	63
2 月	8	おやつ作り・ハンドマッサージ・塗り絵・音楽鑑賞 等	44
3 月	11	ハンドマッサージ・音楽鑑賞・間違い探し・塗り絵 等	43
合計	135		596

2 Cブロック 事業報告

1 活動報告

(1) ブロックの取り組みの総括

① 「ご入居者の要望を取り入れた統一した援助を行う」について

居室担当を中心にご入居者、ご家族の希望や要望の聞き取りを行いました。聞き取った内容についてはケース入力し、職員間で共有しました。統一した援助を行う為、ご入居者のポジショニングや移乗方法、食事支援の内容については、居室担当を中心に必要時、他部署と連携を取り協議しました。毎月のブロック会議で、支援方法について要望や聞き取りを踏まえて、問題点や変更点について話し合いを行いました。

24 時間シートの作成については、作成や更新作業が定期的に行えないことがあり、作成状況に時間がかかりました。作成、更新した 24 時間シートについては、随時確認できるようにファイリングし、統一した援助に繋がりました。

② 「危険予知能力向上と事故を未然に防ぐ取り組みを行う」について

毎月のブロック会議で、発生したヒヤリハットや他ブロックで発生した事故について話し合いを行い、主にヒヤリハットについて事故に繋がらないように重点的に協議しました。日々の援助の中で危険と感ずることや気付いたことについて、ブロック会議や都度話し合いを行い、職員間で共有することにより迅速な対応ができ、ご入居者に安全に過ごしていただくことができました。危険予知トレーニングについては、ブロック会議の協議内容が多く、行うことができませんでした。事故発生前年度比 10%減については、同じご入居者の事故が多く発生し、達成することができませんでした。

今年度の課題を踏まえ、次年度も事故を未然に防ぐために他部署と連携し、車椅子や環境整備を行っていきます。

(2) ブロック会議の開催状況について

事前に検討用紙へ意見や議題を入力してもらうことにより、会議前に職員全員が、他の職員の意見や考えを把握して会議に臨むことができたため、会議当日は活発な意見交換のもと、スムーズな会議を行うことができました。主に毎月ご入居者の状態変化に応じた援助方法について居室担当を中心に話し合いを行いました。

また、その月に発生した事故についての話し合いを行い、原因や対策についての検討を行い、事故防止に努めました。

別紙「ブロック会議開催状況」を参照。

(3) 余暇活動の充実について

ご入居者の希望に沿った個別のレクリエーションを多く実施し、ご入居者との関りを深くもつことができました。季節に応じた作品の制作を職員と一緒に行うことで、ご入居者に季節感を感じていただくことができました。

別紙「レクリエーション実施状況」を参照。

(4) ブロックのルーティンワークの総括について

定期的にルーティンワークの見直しを行いました。今後も合理化や効率化に向けた見直しを行い、ご入居者への関わりを増やせるよう努めていきます。

ブロック会議開催状況

実施日	議 題 内 容
4 月 24 日	自動寝返りベットについて・事故について・ご入居者の ADL について 他
5 月 27 日	ご入居者の ADL について・排泄援助について・ブロック費の活用について
6 月 25 日	排泄援助について・事故について・各委員会より報告 他
7 月 19 日	ブロック費の活用について・ご入居者の ADL について・事故について 他
8 月 30 日	各委員会より報告・排泄援助について・ご入居者の ADL について 他
9 月 13 日	ドライ品の扱いについて・事故について・ご入居者の援助について 他
10 月 29 日	ほのぼのの活用について・各委員会より報告・ご入居の援助について 他
11 月 27 日	ブロック費の活用について・排泄支援について・ご家族からの苦情について
12 月 26 日	ブロック業務について・事故について・各委員会より報告 他
1 月 16 日	事故について・食事支援について・ご入居者の ADL について 他
2 月 27 日	ブロック費の活用について・排泄援助について・口腔ケアについて 他
3 月 18 日	排泄援助について・各委員会より報告・ご入居者の ADL について 他

レクリエーション実施状況

月	実施回数	実施内容	実施利用者数
4 月	13	音楽鑑賞、足浴、お花見、散歩、カラオケ 等	60
5 月	21	風船バレー、音楽鑑賞、散歩、塗り絵、折り紙 等	93
6 月	11	貼り絵、散歩、もぐらたたき、折り紙、パズル 等	49
7 月	13	麻雀、塗り絵、音楽鑑賞、風船バレー、オセロ 等	63
8 月	13	折り紙・カラオケ・足浴・ハンドマッサージ 等	62
9 月	12	音楽鑑賞・ハンドマッサージ・魚釣り・足浴 等	34
10 月	14	絵合わせカード・貼り絵・カラオケ・塗り絵 等	31
11 月	11	散歩・音楽鑑賞・パズル・ミニオンズ釣り 等	18
12 月	18	間違い探し・パズル・型はめ・塗り絵 等	44
1 月	12	足浴・漢字ドリル・ハンドマッサージ・散歩 等	35
2 月	9	日向ぼっこ・ハンドマッサージ・音楽鑑賞 等	33
3 月	20	ハンドマッサージ・DVD 鑑賞・ボランティアレク 等	45
合計	167		567

3 Aブロック 事業報告

1 活動報告

(1) ブロックの取り組みの総括

① 「ご入居者一人ひとりのニーズを把握し、個別ケアの提供を行う」について

ご入居者の個別ケアの提供のために、ニーズを把握するためのアンケートの実施や個別ケア実施に向けた24時間シートの勉強会を、ブロック会議を活用し、実施しました。24時間シート実施の対象ご入居者の選出を行いました。作成や活用までには至りませんでした。

今後は、24時間シートに縛られず、ご入居者の個別ケアの提供のために、要望を基にした個別ケアの実現に向けて、職員間で話し合い、取り組んでいきます。

② 「環境面の安全を強化し、事故防止に向けての取り組みを行う」について

毎月のブロック会議開催時に、発生してしまった事故についての原因や対策について振り返り、情報共有することで、対応の統一化や再発防止に努めました。また、環境整備や備や対応方法の見直しについても協議を行いました。定期的にイラストを用いた危険予知トレーニングも実施しました。取り組みの結果、年間の事故発生件数は前年度とほぼ同数でした。

今後は、危険予知トレーニングだけでなく、普段のご入居者の状態等について、事故を未然に防ぐために、職員間での情報共有を強化し、事故防止に取り組んでいきます。

(2) ブロック会議の開催状況について

ブロック会議開催時は、各職員が事前に検討用紙に意見や議題を入力することにより、スムーズな会議の開催を行うことができました。会議では、ご入居者対応について、事故防止策、各委員会についての報告を中心に協議を行いました。また、3月より、ご入居者のケアプランについての協議も始めました。都合により書面開催になってしまった際も、書面を各職員へ配布することで、ご入居者への対応方法の統一化を図り、ご入居者への安心・安全な支援に努めました。

別紙「ブロック会議開催状況」を参照。

(3) 余暇活動について

ご入居者の希望に沿った個別の余暇活動の開催に努め、ご入居者一人ひとりとの関わりを多く持つことができました。ハンドマッサージや塗り絵、散歩等の個別ケアを行い、ご入居者との関わりを増やすことで、ご入居者から喜びの声が聞かれました。

今後も、個別での余暇活動の多様化に努め、ご入居者の要望を取り入れたレクリエーションを行い、よりご入居者に楽しんでいただける余暇活動の開催に努めていきます。

別紙「レクリエーション実施状況」を参照。

(4) ブロックのルーティンワークの総括について

定期的にルーティンワークの見直しを行いました。今後も、合理化や効率化に向けた見直しを行い、ご入居者への関わりを増やせるよう努めていきます。

ブロック会議開催状況

実施日	議 題 内 容
4 月 24 日	ご入居者について・各委員会より・事故について・主任会議より 他
5 月 22 日	ご入居者について・各委員会より・事故について・危険予知トレーニング 他
6 月 20 日	ご入居者について・各委員会より・事故について・ヒヤリハットについて 他
7 月 18 日	ご入居者について・事故について・24 時間シートについて 他（書面開催）
8 月 15 日	ご入居者について・各委員会より・事故について・危険予知トレーニング 他
9 月 11 日	ご入居者について・各委員会より・事故について・主任会議より 他
10 月 11 日	ご入居者について・各委員会より・事故について・職員アンケートについて
11 月 18 日	ご入居者について・各委員会より・自然災害編 BCP 研修 他
12 月 12 日	ご入居者について・各委員会より・主任会議より・感染症訓練 他
1 月 20 日	ご入居者について・各委員会より・事故について 他（書面開催）
2 月 18 日	ご入居者について・24 時間シートについて・虐待の芽チェックリストより
3 月 14 日	ご入居者ケアプランについて・ご入居者支援について・事故について 他

レクリエーション実施状況

月	実施回数	実施内容	実施利用者数
4 月	23	ネイルケア・ハンドマッサージ・お花見・塗り絵	122
5 月	9	DVD 鑑賞・カラオケレク・黒ひげ危機一髪 等	61
6 月	7	DVD 鑑賞・ハンドマッサージ・塗り絵	32
7 月	9	DVD 鑑賞・カラオケレク・塗り絵・計算遊び 等	59
8 月	15	塗り絵・型はめ・パズル・ハンドマッサージ 等	70
9 月	8	DVD 鑑賞・塗り絵・童謡メドレー	34
10 月	26	DVD 鑑賞・オセロ・塗り絵・ハンドマッサージ 等	111
11 月	12	カラオケレク・塗り絵・散歩・ハンドマッサージ	48
12 月	18	塗り絵・風船バレー・パズル・屋外散歩・折り紙	74
1 月	5	塗り絵・貼り絵・カラオケレク	19
2 月	12	DVD 鑑賞・塗り絵・風船バレー・屋内散歩 等	56
3 月	14	音楽鑑賞・風船バレー・屋外散歩・パズル・オセロ	53
合計	158		739

3 Bブロック 事業報告

1 活動報告

(1) ブロックの取り組みの総括

①「個別レクリエーションの充実とご入居者の希望に沿った余暇活動の実施」について

ブロックで行える余暇活動について、各居室担当者がそれぞれのご入居者に意向の聴き取りを行い、生活歴や希望を基にした一覧表を作成しました。一覧表に沿ったレクリエーションを実施するよう心掛けると共に、他ご入居者と一緒に楽しんでいただけるよう声掛けを行いました。カラオケは実施頻度は少なかったものの、開催時に多くのご入居者が参加され、賑やかに行うことができました。また、ご入居者の誕生日には、事前にどのように過ごしたいかを伺い、当日はブロックで意向に沿ったお祝いをすることができました。実施回数においては、10%弱の増加が見られました。

次年度は、季節に合わせた余暇活動を取り入れ、個別のレクリエーションの充実に努めていきます。

②「職員一人ひとりが全ご入居者のケアプランの内容を把握し、ケアの統一を図る」について

毎月、ケアプランの期限や長期・短期目標の一覧表を更新し掲示することで、居室担当以外のご入居者のケアプランを意識して実施できるよう心掛けました。ブロック会議では、居室担当者を中心にケアプランの評価と次回の課題の抽出を行い、それぞれのご入居者の強みとなる部分や、意向を取り入れられるよう職員間で意見交換を行いました。

職員のケアプラン作成時の視点は変化したものの、実施への意識は未だ薄い様子があり、次年度も継続して取り組み、その方に添ったケアプランとなるよう意識を高めると共に、実施頻度を増やしていけるよう努めていきます。

(2) ブロック会議の開催状況について

毎月、ご入居者対応や排泄の見直しを職員間で意見交換を行うと共に、事故やヒヤリハットを振り返り、対策後の評価や再検討を行い、再発防止に努めました。また、定期的に業務改善アンケートを実施し、会議に反映することで、業務の効率化にも繋がりました。

別紙「ブロック会議開催状況」を参照。

(3) 余暇活動について

今年度は、十分な余暇活動の時間の確保が難しく、前年度より参加人数は減少しましたが、都度、ご入居者にやりたいレクリエーションを伺いながら、少人数での余暇活動を中心に実施しました。また、毎月同様の余暇活動にならないよう、様々なレクリエーションの提案を行い、多様な余暇活動を展開する事が出来ました。

次年度は、季節のレクリエーションを取り入れ、更なる個別レクリエーションの充実に努めていきます。

別紙「レクリエーション実施状況」を参照。

(4) ブロックのルーティンワークの総括について

定期的にルーティンワークの見直しを行いました。今後も、合理化や効率化に向けた見直しを行い、ご入居者への関わりを増やせるよう努めていきます。

ブロック会議開催状況

実施日	議 題 内 容
4 月 30 日	ご入居者対応について・ケアプラン検討・事故について・救急搬送について
5 月 27 日	ご入居者対応について・ケアプラン検討・各ブロックの事故について 他
6 月 24 日	ご入居者対応について・ケアプラン検討・業務改善・体位変換について 他
7 月 23 日	ご入居者対応について・事故について・ケアプラン検討・各委員会より 他
8 月 23 日	ご入居者対応について・ケアプラン検討・事故やヒヤリハットについて 他
9 月 17 日	ご入居者対応について・事故について・業務改善について・排泄の取り組み
10 月 29 日	ご入居者対応について・事故について・虐待防止の為の対応の意見交換 他
11 月 29 日	ご入居者対応について・事故について・BCP に係る研修・虐待の芽意見交換
12 月 20 日	ご入居者対応について・ケアプラン検討・業務改善について・感染症対応研修
1 月 24 日	ご入居者対応について・事故について・ケアプラン検討・体位変換表について
2 月 28 日	ご入居者対応について・事故やヒヤリハットについて・虐待の芽振り返り 他
3 月 18 日	ご入居者対応について・事故について・ケアプラン検討・業務改善について

レクリエーション実施状況

月	実施回数	実施内容	実施利用者数
4 月	40	間違い探し・トランプ・ジェンガ・お花見・歌 等	154
5 月	41	散歩・マナー豆・パズル・デザートバイキング 等	123
6 月	45	DVD 鑑賞・漢字ドリル・ハンドマッサージ・貼り絵	129
7 月	43	体操・工作・アイスの日・歌・塗り絵・計算ドリル	150
8 月	52	風船バレー・パズル・散歩・点つなぎ・歌・脳トレ	184
9 月	53	日向ぼっこ・お花作り・スクラッチアート・パズル	189
10 月	28	塗り絵・散歩・間違い探し・カラオケ・漢字ドリル	78
11 月	32	カラオケ・折り紙・計算ドリル・DVD 鑑賞・歌 等	101
12 月	35	散歩・音楽鑑賞・クリスマスの飾りつけ・折り紙	120
1 月	33	ハンドマッサージ・風船バレー・カラオケ 等	108
2 月	29	歌・間違い探し・パズル・塗り絵・漢字ドリル 等	100
3 月	40	工作・桜の飾り作り・お花見・風船バレー・散歩	136
合計	471		1,572

3 Cブロック 事業報告

1 活動報告

(1) ブロックの取り組みの総括

- ① 「ケアプランに沿った援助を全職員が実践するため、ブロック業務の見直しを図る」について

毎月のブロック会議にて、ご入居者のケアプラン更新前月に内容を確認し、変更について協議を行ったうえで、ケアプラン総括や作成を依頼しました。ケアプラン作成後は、ブロック会議で内容の共有とケアプラン内容に沿った援助が実践できるよう業務内に組み込みました。

ADL の変化や入院及び退院等では支援内容の見直しを行いましたが、ご入居者の状態を把握するのに時間が掛かり円滑な作成が行えなかったため、今年度の課題を踏まえ、次年度も継続して取り組んでいきます。

- ② 「移乗方法について見直し、ご入居者だけでなく職員も負担の少ない援助の実施」について

毎月のブロック会議にて皮下出血及び表皮剥離と転倒や滑落の件数を確認しました。ご入居者の状態に応じた移乗方法の実施という目標に対して、必要に応じて他部署に依頼し、環境面の見直しや移乗動作の変更について iPad にて画像で確認を行いました。見直し前と比較し、見直し後には転倒や皮下出血件数を 40%減らすことができました。

今年度は、表皮剥離や転倒の対策立案後の評価に時間が掛かってしまったことが課題として挙げたため、次年度は対策後の評価や対策の再立案について取り組んでいきます。

(2) ブロック会議の開催状況について

ブロック会議開催時は、事故防止対策や各委員会からの報告を中心に協議を行いました。また、毎月業務の見直しについて職員からの意見を確認しながら行いました。事故の対策については、月次総括に対策後の様子の記載を行いました。ケアプラン内容については、定期的に確認を行い、各業務やご入居者対応方法の統一化を図り、ご入居者へ安心・安全な支援ができるよう努めました。

別紙「ブロック会議開催状況」を参照。

(3) 余暇活動について

ご入居者の体調や意思を尊重したうえで様々な余暇活動を実施しました。今年度は少人数で実施するレクリエーションを多く開催しました。ブロック内で感染症が蔓延し対応に苦慮する月がありましたが、実施回数では前年度より 50%多く開催することができました。

今後も、個別での余暇活動の多様化を図り、ご入居者により楽しんでいただける余暇活動の開催に努めていきます。

別紙「レクリエーション実施状況」を参照。

(4) ブロックのルーティンワークの総括について

定期的にルーティンワークの見直しを行いました。今後も、合理化や効率化に向けた見直しを行い、ご入居者への関わりを増やせるよう努めていきます。

ブロック会議開催状況

実施日	議 題 内 容
4 月 29 日	ご入居者対応について・事故について・各委員会より・事業計画について 他
5 月 23 日	ご入居者対応について・事故について・各委員会より・事業計画について 他
6 月 27 日	ご入居者対応について・事故について・各委員会より・事業計画について 他
7 月 22 日	ご入居者対応について・事故について・各委員会より・事業計画について 他
8 月 29 日	ご入居者対応について・事故について・各委員会より・事業計画について 他
9 月 12 日	骨折事故について・職員の動きについて・事業計画について 他
10 月 24 日	ご入居者対応について・事故について・各委員会より・事業計画について 他
11 月 21 日	ご入居者対応について・事故について・各委員会より・事業計画について 他
12 月 19 日	ご入居者対応について・事故について・各委員会より・事業計画について 他
1 月 16 日	ご入居者対応について・事故について・事業計画について・個別ケアについて
2 月 27 日	ご入居者対応について・事故について・各委員会より・事業計画について 他
3 月 20 日	感染症対応に伴い中止

レクリエーション実施状況

月	実施回数	実施内容	実施利用者数
4 月	22	屋外散歩・計算遊び・パズル・塗り絵・DVD 鑑賞	70
5 月	14	風船バレー・塗り絵・オセロ・DVD 鑑賞・折り紙	35
6 月	11	ラジオ体操・DVD 鑑賞・屋内散歩・塗り絵・オセロ	30
7 月	15	オセロ・DVD 観賞・塗り絵・風船バレー・トランプ	48
8 月	13	トランプ・オセロ・茶話会・アイスの日・パズル	22
9 月	12	歌・塗り絵・音楽鑑賞・DVD 鑑賞・折り紙・オセロ	28
10 月	20	黒髭危機一発・ハンドマッサージ・塗り絵・将棋	45
11 月	23	ハンドマッサージ・茶話会・DVD 観賞・オセロ 等	66
12 月	20	風船バレー・DVD 鑑賞・塗り絵・音楽鑑賞・オセロ	62
1 月	20	日向ぼっこ・塗り絵・風船バレー・塗り絵・オセロ	42
2 月	18	屋内散歩・オセロ・ハンドマッサージ・DVD 観賞	35
3 月	14	ハンドマッサージ・DVD 鑑賞 等	18
合計	202		501

地域密着型特養（全室個室・ユニット型）

1ABユニット 事業報告

1 活動報告

（1）ブロックの取り組みの総括

- ① 「ポジショニング及びシーティングについての理解を深め、個別ケアの実践を図る」について

リハビリ職員と連携し、新入職員研修資料を活用して職員研修を実施し、ベッド上でのポジショニングの基礎知識の習得に努めました。

また、ポジショニングやシーティングの見直しの必要性があるご入居者を挙げ、居室担当が中心となり、リハビリ職員のアドバイスのもと、写真や動画を活用した個別の指標を作成しました。職員の理解をより深められるように実際の現場でも対応方法のレクチャーや確認を行いました。

今後も必要性がある際や、定期的に対処方法の見直しと表の更新を行っていきます。

- ② 「ご入居者が快適で安心できる入浴環境の構築を図る」について

ご入居者にも意見を伺いながら、会議にて現状の入浴環境の課題を確認しました。大きな課題としては、ご入居者が浴室内の設備を使用しづらい面や、浴室内の移動がスムーズに行えないことが挙がりました。これを解決するために使用物品の見直しや、浴室内の環境を見直し、動線の確保等を行いました。環境の見直し後はご入居者からも好評をいただき、浴室内の移動もスムーズに行うことができるようになりました。

今年度は1Aユニットの浴室をメインに取り組みを行ったため、今後は1Bユニットの浴室環境の改善にも努めていきます。

（2）ユニット会議の開催状況について

ユニット会議開催時は、各職員が事前に検討用紙に意見や議題を入力することにより、スムーズな会議の開催を行うことができました。会議では、ご入居者対応について、事故防止策、事業計画重点取り組みの進捗報告を中心に協議を行いました。

別紙「ブロック会議開催状況」を参照。

（3）余暇活動について

ご入居者の希望に沿った個別の余暇活動の開催に努め、ご入居者一人ひとりとの関わりを多く持つことができました。集団的な活動としては、歌がお好きなご入居者が比較的多くいらっしゃるため、毎日、歌謡曲を流す時間を作り、皆さんで唄う場面が見られました。

今後も、ご入居者の要望を取り入れたレクリエーションを行い、より楽しんでいただけるに努めていきます。

別紙「レクリエーション実施状況」を参照。

（4）ブロックのルーティンワークの総括について

定期的にルーティンワークの見直しを行いました。今後も、合理化や効率化に向けた見直しを行い、ご入居者への関わりを増やせるよう努めていきます。

ユニット会議開催状況

実施日	議 題 内 容
4 月 30 日	ご入居者対応について・事故対応について・個別ケア推進委員より 他
5 月 20 日	ご入居者対応について・事業計画について・急変時の対応について 他
6 月 24 日	ご入居者対応について・事故対応について・口腔衛生の管理体制について 他
7 月 18 日	ご入居者対応について・事故対応について・職員指導について 他
8 月 16 日	ご入居者対応について・事故対応について・職員指導について 他
9 月 30 日	ご入居者対応について・事故対応について・虐待について 他
10 月 31 日	ご入居者対応について・事故対応について・業務提案について 他
11 月 21 日	ご入居者対応について・事故対応について・虐待の芽チェックについて 他
12 月 27 日	ご入居者対応について・事故対応について・事業計画について 他
1 月 20 日	ご入居者対応について・事故対応について・職員指導について 他
2 月 28 日	ご入居者対応について・事故対応について・口腔ケア研修について 他
3 月 20 日	ご入居者対応について・職員指導について・排泄ケアについて 他

レクリエーション実施状況

月	実施回数	実施内容	実施利用者数
4 月	14	音楽鑑賞・ハンドマッサージ・折り紙・塗り絵 等	55
5 月	7	パズル・ボール投げ・折り紙・塗り絵 等	22
6 月	16	音楽鑑賞・映画鑑賞・折り紙・塗り絵・散歩 等	49
7 月	14	音楽鑑賞・盆踊り・折り紙・塗り絵・カードゲーム	46
8 月	9	音楽鑑賞・アイスの日・折り紙・塗り絵 等	35
9 月	11	音楽鑑賞・カラオケ・折り紙・塗り絵・散歩 等	35
10 月	10	音楽鑑賞・将棋・ボール投げ・折り紙・塗り絵 等	34
11 月	12	音楽鑑賞・ハンドマッサージ・折り紙・塗り絵 等	37
12 月	14	音楽鑑賞・カラオケ・折り紙・塗り絵・散歩 等	32
1 月	8	音楽鑑賞・カラオケ・折り紙・塗り絵・散歩 等	30
2 月	10	音楽鑑賞・カラオケ・折り紙・塗り絵・散歩 等	38
3 月	8	音楽鑑賞・カラオケ・足浴・塗り絵・散歩 等	21
合計	133		434

医務課医務係 事業報告

1 医務課医務係事業計画目標の総括

(1) 他部署と協力し、個別性のあるケアの提供に努める

他部署と情報共有を行い、ご入居者のニーズやその人らしさを把握しながら、個別性のあるケアの提供に努めました。また、日々のミーティングではケア内容や処置方法の見直しを行い、ご入居者の状態に応じた適切なケアが提供できるよう取り組みました。

医療ニーズの高い方に対しては、必要に応じて介護職員等への指導を行い、安全かつ適切に医療的ケアが実施できるよう努めました。

(2) 現行業務の点検と見直しを行い、業務の省力化・効率化を図る

定期的に部署ミーティングを実施し、日常業務における課題や改善点について話し合い、課題の優先度に応じて業務の見直しを進めました。また、書類業務の簡素化や PC を活用した部署内外との情報共有の効率化にも取り組みました。なお、業務改善にあたっては、他部署との調整が必要な業務もあるため、次年度の課題として継続的に取り組んでいきたいと思ひます。

(3) 互いに尊重し、協力し合える職場環境の構築に努める

毎日ミーティングの場を設け、建設的な話し合いを意識し、相談しやすい環境づくりに努めました。日々の業務においても互いに声を掛け合い、忙しい時にはフォローし合いながら業務を進めました。また、他部署とも良好な関係を築き、人員が不足した際や受診が重なった場合などには、他部署の協力を得ながら柔軟に対応することができました。

次年度も引き続き、他部署と連携しながら、より働きやすい職場環境づくりに努めていきたいと思ひます。

(4) 入居者の健康管理と感染管理を適切に行う

介護課と連携し、体調不良者の早期発見に努めるとともに、嘱託医へ速やかに相談を行い、投薬や点滴などの対応を実施し、可能な限り施設内で療養できるように努めました。体調不良者に関する情報は、医務課内で共有し、必要に応じて迅速に受診対応を行うことで、入院の長期化を防ぐよう取り組みました。

感染予防に関しては、職員研修の実施やマニュアルの整備を進め、感染が疑われる場合には、必要な検査や受診を速やかに行い、早期発見に努めました。

しかしながら、1 月にはインフルエンザの発症者が 5 名確認され、3 月には複数の居住棟において新型コロナウイルスの感染が発生しました。新型コロナウイルスの感染者は、合計 29 名にのぼりましたが、各部署が連携し、嘱託医の協力のもと感染対応に取り組みました。施設内療養が可能な方には、安全に療養できる環境を整え、2 名については入院対応を行いました。それ以外の方々は施設内での療養により回復されました。

施設およびご入居者の特性上、感染対応が難しい場面も多くありましたが、状況に応じて可能な限りの対策を講じ、各部署が協力して感染拡大の防止に努めました。感染対応後には振り返りを行い、対応上の課題を共有することで、今後の感染対応に活かせるよう努めました。

2 活動報告

(1) 感染対策委員会の開催

年4回の定期開催では、感染対策に関する情報共有や実施状況の確認を行い、感染対応における課題については解決に向けた協議を行いました。また、8月にはむさしの園版の新型コロナウイルス感染症対応マニュアルが改訂され、現場でより分かりやすくなるよう表タイプのマニュアルも作成し、周知を図りました。

(2) 看取り介護

体調不良や食事摂取量の低下がみられ、回復の見込みがないと判断される場合には、ご本人およびご家族の意向を確認し、希望に沿った看取りの対応を行いました。関係部署と情報を共有し、状態に応じて相談を重ねながら、その方に合った支援方法を検討し、対応しました。ご家族にはこまめに説明を行い、面会の機会も確保しながら、安心と納得のいく看取りケアの提供に努めました。また、ご家族からいただいた感謝の言葉は、職員間で共有し、励みとなるよう心がけました。

次年度も引き続き他部署と連携し、最期のときまで、その人らしく心安らかに過ごしていただけるよう支援していきたいと思えます。

(3) 褥瘡予防対策委員会の開催

3カ月ごとに委員会を開催し、褥瘡ハイリスク者および褥瘡発生者を対象に、予防策および早期改善に向けた支援内容について多職種による協議を行いました。皮膚トラブルの発生が比較的多くみられたことから、原因分析を目的としたアセスメントシートを新たに作成し、発生要因の可視化と各部署間での情報共有に努めました。また対応方法の再検討およびケア内容の向上を図るため、委員会内での検討材料として本シートを活用しました。

(4) インフルエンザ予防接種、新型コロナウイルス予防接種の実施

嘱託医の協力のもと、インフルエンザ予防接種を10月に、新型コロナウイルス予防接種を11月に実施しました。新型コロナウイルスの予防接種については、今年度より秋冬シーズンに1回の定期接種へと変更され、新たな手続き等が必要となりましたが、生活課とも協力し滞りなく実施することができました。

(5) 法定研修の実施

全職員を対象に5月と10月に感染症予防研修を実施しました。研修では、新型コロナウイルス感染対策や高齢者に多い感染症に関する資料を配布するとともに、PPE着脱に関する実技研修を行い、感染予防に関する知識と技術の向上を図りました。また、3月には関係部署を対象に褥瘡予防研修を実施し、褥瘡予防ケアに関する資料を配布しました。これにより、職員の理解を深め、日常的なケアへの実践的な活用を促しました。

(6) ご入居者の健康診断の実施

10月16日に対象のご入居者に対して健康診断を実施しました。検査結果については、嘱託医に確認していただき、必要に応じて投薬や経過観察を行い、その後の健康管理に役立てました。

入居者診療状況（実人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科（園内）	167	168	163	166	163	166	167	165	165	172	170	166
精神科（園内）	9	9	9	9	10	10	10	9	9	11	11	11
内科	4	4	6	4	11	7	2	1	2	3	7	5
外科	3	1	4	2	3	4	4	2	3	2	2	3
整形外科	3	2	3	2	2	3	4	3	2	5	3	9
眼科	0	2	3	3	0	1	0	1	0	0	0	0
皮膚科	2	1	3	2	0	6	2	2	4	3	5	2
泌尿器科	2	2	3	4	3	3	2	3	4	3	5	2
糖尿内科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0
歯科（往診）	91	77	88	93	83	106	107	112	105	110	94	114
耳鼻科	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
循環器科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1
脳神経外科	3	2	4	3	0	1	3	3	0	3	6	3
神経内科	1	2	0	2	1	3	2	1	4	0	2	2
口腔外科	0	1	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0
その他	2	0	1	2	1	0	4	1	0	0	0	1

入居者診療状況（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科（園内）	406	412	376	422	428	387	472	364	416	384	343	365
精神科（園内）	18	18	18	18	19	20	19	18	18	22	22	22
内科	4	5	7	3	12	7	2	1	2	3	7	5
外科	3	1	5	2	3	3	4	2	6	2	2	3
整形外科	3	2	3	2	3	4	4	3	2	5	3	10
眼科	0	2	3	4	0	1	0	1	0	0	0	0
皮膚科	2	1	3	3	0	6	3	3	4	10	8	5
泌尿器科	2	2	3	4	4	3	2	3	6	4	5	2
糖尿内科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0
歯科（往診）	199	122	148	139	119	156	163	166	189	174	181	214
耳鼻科	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
循環器科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1
脳神経外科	3	5	5	3	0	1	3	3	0	3	8	3
神経内科	1	2	0	2	1	3	2	1	4	0	2	2
口腔外科	0	2	0	1	0	0	1	1	3	0	0	0
その他	2	0	1	2	1	0	4	1	0	0	0	1

入院状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
内科	1	3	2	3	6	4	4	1	2	1	2	4
整形外科	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
外科	0	0	3	1	1	1	1	0	2	0	0	0
脳外科	0	1	1	1	0	0	1	2	0	1	0	0
その他	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
合計	2	5	7	5	7	5	6	3	6	2	2	5

園内医療状況（実人数）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
投薬	165	165	162	162	163	164	165	166	163	167	167	164
点滴	1	0	1	0	0	0	2	0	1	0	0	1
インスリン注射	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
採血	19	21	20	23	23	22	0	18	17	21	17	12
血糖検査	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
剥離・褥瘡処置	9	9	8	6	10	9	7	9	10	10	9	7
経管栄養	7	7	5	4	4	4	4	4	8	6	6	5
ストーマ管理	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	2
膀胱留置カテーテル	2	3	2	3	3	3	3	3	3	4	4	4
在宅酸素	6	6	7	7	8	8	9	8	7	8	8	7
ペースメーカー	3	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1

※ 投薬と処置に関しては、毎月 1 日時点での集計結果です。

退所状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
退所	5	5	6	5	5	2	5	5	3	0	4	3
(内死亡者)	3	4	5	4	4	1	4	5	1	0	4	3

医務課リハビリ係 事業報告

1 医務課リハビリ係事業計画目標の総括

(1) 多様なニーズに応え、ADL・QOLの維持・向上に向けたサービスの提供

ご入居者一人ひとりの状態を踏まえ、立位やトイレでの動作、座位保持や歩行等においてのプログラム内容の見直しや追加、変更を行い、個別性ある機能訓練を実施することで、ADL機能の維持・向上を図りました。

また、他部署からの相談対応や、機能訓練時にご入居者の安楽で易動性が得られる姿勢支援に取り組み、褥瘡発生のリスクの高い方や臥床位が不安定な方に対し、ベッド上のポジショニングや車椅子シーティングでの姿勢調整を実施し、褥瘡予防のためのエアーマット・体圧分散マットへの変更等を支援することで、褥瘡予防・拘縮予防に努めました。さらには、適正な福祉用具の使用の選定・評価を行うことで、生活環境の改善とご入居者一人ひとりのQOLの維持・向上に努めました。

作業的療法（アクティビティ）やレクリエーション、生活リハビリとして、趣味や興味・関心のあることに意欲的に取り組み、風船バレー・パズル・塗り絵・計算ドリル・写経・屋外散歩・歌・音楽鑑賞等を継続して実施しました。更には、継続して共同作業作品を作成し、1階フロアに飾ることで季節感を感じてもらい、ご入居者の意欲向上に繋げました。ご入居者の身体機能だけでなく、精神機能の安定にも繋げて、日々の楽しみを増やし活性化を図ることができました。

次年度もADL・QOLの維持・向上に向けた個別性ある機能訓練や作業療法・レクリエーションを取り入れながら、サービスの提供に努めます。

(2) スキルアップを図り、安定したサービスの提供を目指す

機能訓練指導員の評価を実施した後、ご入居者のADL・QOLの維持・向上を目指すプログラムを実施し、残存機能の活用、可動域拡大、訓練方法や注意点の指導や動作確認を行うことで、更なるスキルアップに繋げることができ、統一したサービスの提供を行いました。

2ヶ月に一度のリハビリ会議や毎朝のミーティングを通じ、ご入居者の身体・精神状態に関する意見交換や情報共有を行うことで、リハビリ職員が統一した情報を把握することができ、安定したサービスの提供を図ることができました。

次年度も引き続き、リハビリ会議やミーティングの時間を設け、情報共有や統一したサービスの提供に努めます。

(3) 互いにフォローできる職場環境づくりに努める

他部署からの依頼や相談については、周知ノートを継続して使用し、リハビリ職員が統一した情報を把握することで、他部署との連携をスムーズに行うことができました。医務課からのご入居者の身体状況の情報提供・共有や、介護課から依頼あれば食事介助等の応援を実施し、行事实施時は誘導や見守りの応援対応を実施することで、他部署との協力関係を構築することができました。

また、円滑な業務の遂行に向けて業務の内容を見直すと共に、評価表の見直しや電子化可能な書類は積極的に電子化に移行し、効率的な情報共有や確認が実施できたことにより、業務の負担軽減に繋げることができました。

次年度も引き続き、業務の効率化や働きやすい環境作りに努めます。

(4) ご入居者の安全を第一に考えたケア体制を目指す

ご入居者の日々の身体状況や精神状態の把握に努め、機能訓練時にその日にできる実施内容での訓練への変更や、必要に応じて2人対応での歩行訓練を実施し、機能訓練の実施中に福祉用具の不具合や異音があった際には都度、修理依頼や調整を行って、事故防止に努めました。

また、感染予防対策として職員のマスクの着用・手指衛生・換気を行い、器具や物品等の消毒は1日2回を継続して実施すると共に、ホットパック機器も2週間に一度清掃しました。ご入居者には、リハビリ室の入退室時に手指消毒を継続して協力してもらい、感染症発生防止に努めました。

次年度も引き続き、ご入居者の安全を考え、事故防止や感染対策の実施に努めます。

2 活動報告

(1) 個別機能訓練計画の評価について

個別機能訓練に対して、新規入居時・退院時・継続時(3月以内に1回)に評価を実施し、内容の立案・更新・変更を行い、個別機能訓練計画書・評価表を作成しました。ご家族より同意を得ることができており、個別機能訓練加算を算定しています。また、LIFE運用項目のBarthel IndexおよびVitality Indexの作成・入力を継続しています。

別紙「個別機能訓練加算」従来型・地域密着型を参照

(2) 生活状況の把握

新規入居や退院後、更には状態変化時には、移乗動作やトイレ動作、歩行等の評価を実施し、福祉用具の導入や移乗方法について助言することで、ご入居者や介護職員の負担軽減につなげるとともに、食事環境に関しても食事アセスメントを継続することで、食事時の姿勢、自己摂取能力、嚥下状態、福祉用具の使用を把握し、必要に応じて他部署と報告・連絡・相談を行い、改善を図りました。

(3) 部署会議について

3月に一度の法人内3園の部署会議を持ち回りで実施しました。

新人研修や褥瘡予防研修、広報掲載、業務内容の確認や福祉用具に関する各園の状況、書類や電子化への簡素化への確認ができ、情報の交換と共有、業務の効率化が図れました。

(4) 地域支援について

今年度も中学生職場体験の受け入れを実施しました。高齢者施設への理解を深めてもらうと共に、簡単な業務補助・レクリエーション補助・清掃等を体験してもらいました。ご入居者との関りを通じて思いやりの心を学び、真剣に取り組んでくれました。

今後も、継続して受け入れを行っていきたいと思います。

個別機能訓練加算（従来型）

（人）

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
加算人数	154	157	159	157	156	156	156	156	160	157	159	158	1,885
加算算定 日数(計)	4,367	4,576	4,449	4,477	4,416	4,273	4,261	4,277	4,540	4,621	4,173	4,628	53,058
令和6年度													
加算人数	156	156	158	157	159	160	159	156	153	153	154	155	1,876
加算算定 日数(計)	4,403	4,518	4,267	4,513	4,443	4,377	4,592	4,467	4,499	4,542	4,152	4,520	53,293

個別機能訓練加算（地域密着型）

（人）

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
加算人数	18	18	18	18	18	18	18	17	18	18	18	18	215
加算算定 日数(計)	529	556	523	538	558	540	547	509	518	550	471	503	6,342
令和6年度													
加算人数	18	18	18	18	16	18	18	18	18	18	18	17	213
加算算定 日数(計)	540	537	514	503	496	511	522	494	536	499	476	510	6,138

生活課 事業報告

1 生活課事業計画目標の総括

- (1) 稼働率の向上と安定化へ向けた取り組みについては、従来型特養は年間平均稼働率が98.9%、地域密着型では94.6%となりました。相談員間で日常的にミーティングを行い、共通意識を持ちながら待機者の確保に努めることで、従来型特養では前年度実績を上回ることができました。その一方で地域密着型特養は、入居対象地域が限定されていることから、入居希望者が少なく、稼働率は前年度を下回りました。

また、ショートステイの年間平均稼働率は20.0%と、前年度を下回りました。リピーターのご利用者数名が当園の特養へ入居となったことが、稼働率低下の要因と考えられます。

今後も新規利用者やリピーターを確保するために営業活動などに注力していきたいと思えます。

2 活動報告

- (1) 財務基盤の安定に資する取り組み

協力医療機関連携加算の新規算定に向けて準備を進めました。協力病院の日の出ヶ丘病院と調整を行い、令和7年2月から協力医療機関定期連携会議（ZOOMでのオンライン開催）が試験的に開始となりました。2～3月と問題なく実施できたため、令和7年4月から算定を開始する予定です。今後も実現性や継続性を考慮しながら、加算の新規算定を検討したいと考えています。

- (2) サービスの向上に資する取り組み

令和2年から新型コロナウイルス感染対策として、ご家族による外出の原則的な中止を続けていましたが、今年度から外出が再開となりました。自宅に戻られる方や、外食を楽しまれる方もおり、ご入居者やご家族から喜びの声が多く聞かれました。令和5年度から再開した面会の対応（園内で感染者発生があっても、限定的な面会制限にとどめ、面会機会の確保しようとする方針）も含めて、ご入居者やご家族のつながりを大切にした施設環境を求めて、当園に入居申し込みをされる方もあり、施設内外で好評を得ています。

- (3) 法人内相談員連絡会の連携強化

3園の相談員間の共有データを活用して、ベッド稼働率状況等の情報交換を行いました。

また、その時期の検討内容に応じて、オンライン形式・集合形式で連絡会を開催し、効率的な情報共有や連携に努めました。

- (4) 人権尊重・権利擁護への取り組み

高齢者虐待防止・身体拘束適正化のための法定研修を、それぞれ年2回実施しました。

令和6年9月には、当園介護職員による虐待事案が発生しました。これを受け、臨時の「虐待の芽チェックリスト」を全職員で実施し、現環境の自己点検を行うとともに、高齢者虐待防止の意識の再啓発を行いました。今後も再発防止に向けて、ご入居者の権利擁護の意識向上に努めます。

別紙「ベッド稼働状況月間・年間平均集計」「ショートステイ利用状況」「特養入退居状況」「入居者内訳（従来型）」「退居者内訳（従来型）」「入居者内訳（ユニット型）」「退居者内訳

(ユニット型)」「保険者別入居者状況(従来型)」「保険者別入居者状況(ユニット型)」「入居者の日常生活自立度」「入居者性別・年齢別構成状況」「階層別負担者割合一覧(従来型)」「階層別負担者割合一覧(ユニット型)」「要介護度認定結果分布状況(従来型)」「要介護度認定結果分布状況(ユニット型)」を参照

ベッド稼働状況月間・年間平均集計

	A. 特養本体 (%)		B. ショートステイ専用 (%)	備考
	従来型	ユニット型		
令和 6 年 4 月	98.7	100.0	26.7	
5 月	98.8	97.0	22.6	
6 月	96.7	98.1	27.8	
7 月	98.9	90.1	29.0	
8 月	97.5	93.0	23.7	
9 月	100.2	97.0	23.3	
10 月	100.5	94.6	0.0	
11 月	99.4	92.0	2.2	
12 月	98.3	98.0	0.0	
令和 7 年 1 月	99.3	89.4	16.1	
2 月	100.3	94.4	28.6	
3 月	98.6	91.4	40.9	
年間平均	98.9	94.6	20.0	

A ; 従来型は定員 150 床、ユニット型は定員 18 床に対するベッド稼働率

B ; 専用 3 床に対するベッド稼働率

ショートステイ利用状況

年月	実 人 員			延 日 数			1日当り 平均利用人数
	男性	女性	計	男性	女性	計	
令和6年 4月	0名	2名	2名	0名	24名	24名	0.8名
5月	0	2	2	0	21	21	0.6
6月	0	2	2	0	25	25	0.8
7月	1	3	4	2	25	27	0.8
8月	0	3	3	0	24	24	0.7
9月	0	1	1	0	22	22	0.7
10月	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	1	1	0	2	2	0.06
12月	0	0	0	0	0	0	0
令和7年 1月	0	1	1	0	15	15	0.4
2月	0	4	4	0	25	25	0.8
3月	0	3	3	0	21	21	0.6
合 計	1	22	24	2	204	206	0.5

特養入退居状況

年 月	前月末 現 在	本 月 中 入 退 居														本月末 現 在
		入居							退居							
		家庭	介護老人保健施設	病院	有料老人ホーム	サービス付高齢者向け住宅	その他	計	死亡（）内は園内・再掲	長期入院	介護保険施設	他の介護福祉施設	家族引取	系列施設	計	
令和6年 4 月	170	0	1	0	1	0	1	3	3 (3)	1	0	0	0	0	0	169
5 月	169	0	3	2	0	0	2	7	4(4)	2	0	0	0	0	0	170
6 月	170	2	4	0	0	0	1	7	5(3)	1	0	0	0	0	0	171
7 月	171	1	3	1	1	0	0	6	4(3)	1	0	0	0	0	0	172
8 月	172	1	4	1	0	1	1	8	4(4)	1	0	0	0	0	0	175
9 月	175	2	1	1	0	0	0	4	1(1)	1	0	0	0	0	0	177
10 月	177	0	0	1	1	0	0	2	4(3)	1	0	0	0	0	0	174
11 月	174	0	1	0	0	0	0	1	5(4)	0	0	0	0	0	0	170
12 月	170	1	1	0	1	0	0	3	2(2)	1	0	0	0	0	0	170
令和7年 1 月	170	0	1	2	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	172
2 月	172	0	0	0	0	0	1	1	4(1)	0	0	0	0	0	0	169
3 月	169	1	2	0	0	0	0	3	3(3)	0	0	0	0	0	0	169
合計		8	21	8	4	1	6	48	39(31)	10	0	0	0	0	0	

入居者内訳（従来型）

男女比			月間受け入れ数		保険者別		
性別	人数	%	月	人数	保険者	人数	%
男	10	22.7	4 月	3	羽村市	18	41.0
女	34	77.3	5 月	6	青梅市	5	11.4
合計	44	100	6 月	7	瑞穂町	5	11.4
入居時介護度内訳			7 月	6	昭島市	2	4.5
介護度	人数	%	8 月	6	福生市	1	2.3
要介護 1			9 月	3	あきる野市	1	2.3
要介護 2			10 月	2	杉並区	1	2.3
要介護 3	19	43.2	11 月	1	練馬区	1	2.3
要介護 4	19	43.2	12 月	3	港区	1	2.3
要介護 5	6	13.6	1 月	3	日野市	1	2.3
合計	44	100	2 月	1	小平市	3	6.4
入居前施設別			3 月	1	3 月	3	2.3
前所	人数	%	平均	3.6	東村山市	1	2.3
医療機関	7	16.0			市川市	1	2.3
在宅	11	25.0			磐田市	1	2.3
老健	20	45.4			松戸市	1	2.3
有料	3	6.8					
その他	3	6.8					
合計	44	100			合計	44	100

退居者内訳

男女比			退居者在園期間		退居理由内訳		
性別	人数	%	在園期間	人数	退居理由	人数	%
男	11	24.4	10 年以上	3	永眠	36	80.0
女	34	75.6	8～9 年	5	長期療養	9	20.0
合計	45	100	7～8 年	2	ご家族意向		
退居時介護度内訳			6～7 年	4	合計	45	100
介護度	人数	%	5～6 年	2			
要介護 1			4～5 年	8			
要介護 2	4	8.9	3～4 年	2			
要介護 3	8	17.8	2～3 年	4			
要介護 4	20	44.4	1～2 年	6			
要介護 5	13	28.9	1 年未満	9			
合計	45	100	合計	45			

入居者内訳（ユニット型）

男女比			月間受け入れ数		保険者別		
性別	人数	%	月	人数	保険者	人数	%
男	2	50.0	4 月	0	羽村市	4	100
女	2	50.0	5 月	1			
合計	4	100	6 月	0	合計	4	100
入居時介護度内訳			7 月	0			
介護度	人数	%	8 月	2			
要介護 2							
要介護 3	1	25.0	9 月	1			
要介護 4	2	50.0	10 月	0			
要介護 5	1	25.0	11 月	0			
合計	4	100	12 月	0			
入居前施設別			1 月	0			
前所	人数	%	2 月	0			
			3 月	0			
			平均	4			
医療機関	1	25.0					
在宅	1	25.0					
有料							
老健	1	25.0					
その他	1	25.0					
合計	4	100					

退居者内訳

男女比			退居者在園期間		退居理由内訳		
性別	人数	%	在園期間	人数	退居理由	人数	%
男	3	75.0	10年以上	0	永眠	3	75.0
女	1	25.0	9～10年	0	長期療養	1	25.0
合計	4	100	8～9年	0	ご家族意向		
退居時介護度内訳			7～8年	0	合計	4	100
介護度	人数	%	6～7年	0			
要介護2			5～6年	0			
要介護3	1	25.0	4～5年	0			
要介護4	2	50.0	3～4年	0			
要介護5	1	25.0	2～3年	1			
合計	4	100	1～2年	2			
			1年未満	1			
			合計	4			

保険者別入居者状況（従来型）

令和7年3月31日現在

保 険 者 名	男性	女性	合計	保 険 者 名	男性	女性	合計
世 田 谷 区	0	1	1	立 川 市	1	2	3
澁 谷 区	1	1	2	八 王 子 市	0	1	1
杉 並 区	1	2	3	青 梅 市	6	10	15
北 区	0	1	1	昭 島 市	2	9	11
新 宿 区	0	1	1	小 平 市	1	3	4
練 馬 区	1	2	3	東 村 山 市	1	1	2
港 区	0	1	1	小 金 井 市	2	0	2
江 戸 川 区	0	1	1	福 生 市	3	10	13
				羽 村 市	10	38	48
				瑞 穂 町	1	11	12
				武 蔵 村 山 市	1	4	5
23 区 部 計	3	10	13	東久留米市	0	3	3
埼玉県所沢市	1	1	2	東 大 和 市	0	3	3
埼玉県入間市	1	0	1	府 中 市	0	1	1
静岡県磐田市	0	1	1	あきる野市	0	5	5
山梨県甲府市	0	1	1	日 野 市	1	1	2
福島県双葉郡楢葉町	0	1	1				
千葉県市川市	1	0	1				
千葉県松戸市	0	1	1				
他 県 市 部 計	3	5	8	都内市部計	29	102	131
合 計		男性 35 名	女性 117 名		全体 152 名		

保険者別入居者状況(ユニット型)

令和7年3月31日現在

保 険 者 名	男性	女性	合計
羽 村 市	1	14	15
瑞 穂 町	1	1	2
都内市部計	2	15	17
合 計	男性2名	女性15名	全体17名

入居者の日常生活自立度

令和7年3月31日現在

障害高齢者の日常生活自立度			認知症老人の日常生活自立度		
	従来	ユニット		従来	ユニット
障害なし	0	0	認知症の症状なし	0	0
生活自立 J 1	0	0	I	0	0
生活自立 J 2	0	0	Ⅱ a	4	1
準寝たきり A 1	2	1	Ⅱ b	21	3
準寝たきり A 2	40	7	Ⅲ a	64	4
寝たきり B 1	20	2	Ⅲ b	59	8
寝たきり B 2	79	6	Ⅳ	4	1
寝たきり C 1	5	0	M	0	0
寝たきり C 2	6	1			
合 計	152 名	17 名	合 計	152 名	17 名

入居者性別・年齢別構成状況

令和7年3月31日現在

	男 性	女 性	計
100歳以上	2	4	6
95歳以上 ～ 100歳未満	3	17(3)	20(3)
90歳以上 ～ 95歳未満	7	30(4)	37(4)
85歳以上 ～ 90歳未満	9	30(4)	39(4)
80歳以上 ～ 85歳未満	4	23(3)	27(3)
75歳以上 ～ 80歳未満	6(1)	7	13(1)
70歳以上 ～ 75歳未満	2(1)	5	7(1)
65歳以上 ～ 70歳未満	1	1	2
60歳以上 ～ 65歳未満	1	0(1)	1(1)
55歳以上 ～ 60歳未満	0	0	0
計	35(2)	117(15)	152(17)
最 高 年 齢	101 歳	102.5 歳	
最 少 年 齢	57.2 歳	64.6 歳	
男 性 平 均 年 齢	84.9 歳		
女 性 平 均 年 齢	88.4 歳		
全 体 平 均 年 齢	87.6 歳		

ユニット入居者は（ ）で記載

階層別負担者割合一覧（従来型）

令和 7 年 3 月 31 日現在

	第 1 段階		第 2 段階		第 3 段階①		第 3 段階②		第 4 段階	
食費	300 円		390 円		650 円		1,360 円		食費 1,500 円	
居住費（個/多）	380/0 円		480 円/430 円		880 円/430 円		880 円/430 円		1,231 円/915 円	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
要 介 護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要 介 護 2	0	0	1	0	1	0	2	0	0	5
要 介 護 3	0	5	1	3	1	9	1	9	8	15
要 介 護 4	1	2	2	6	0	9	6	7	9	21
要 介 護 5	0	2	0	4	0	3	0	5	2	12
合 計	1	9	4	13	2	21	9	21	19	53
各階層 比 率	6.5%		11.1%		15.1%		20.0%		47.3%	

国が示す「基準となる費用額」は、食費は日額 1,445 円、居住費は、従来型個室が日額 1,171 円。多床室が日額 320 円であり、第 1 段階から第 3 段階までの方は、補足給付がある。

階層別負担者割合一覧（ユニット型）

令和 7 年 3 月 31 日現在

	第 1 段階		第 2 段階		第 3 段階①		第 3 段階②		第 4 段階	
食費	300 円		390 円		650 円		1,360 円		1,500 円	
居住費	880 円		880 円		1,370 円		1,370 円		2,066 円	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
要介護 3	0	0	0	1	0	0	0	2	1	5
要介護 4	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1
要介護 5	0	0	0	2	0	0	0	1	0	1
合 計	0	0	1	3	0	0	0	5	1	7
各階層 比 率	0%		24.0%		0%		29.0%		47.0%	

要介護度認定結果分布状況（従来型）

令和 7 年 3 月 31 日現在

	要介護 1			要介護 2			要介護 3			要介護 4			要介護 5		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
契約入居者	0	0	0	4	5	9	11	41	52	18	45	63	2	26	28
旧被措置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	4	5	9	11	41	52	18	45	63	2	26	28
各 要 介 護 度 比 率	0%			5.9%			34.2%			41.5%			18.4%		
従来型平均要介護度	3.7														
全体平均要介護度	平均要介護度 3.7														
居 住 棟 別	2A : 3.8 2B : 3.6 2C : 3.7 3A : 3.7 3B: 3.5 3C : 4.0														

要介護度認定結果分布状況（ユニット型）

令和 7 年 3 月 31 日現在

	要介護 1			要介護 2			要介護 3			要介護 4			要介護 5		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
契約入居者	0	0	0	1	0	1	1	8	9	0	3	3	0	4	4
旧被措置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	1	0	1	1	8	9	0	3	3	0	4	0
各 要 介 護 度 比 率	0%			5.9%			53.0%			17.6%			23.5%		
ユニット平均介護度	3.4														
全体平均要介護度	平均要介護度 3.4														
居 住 棟 別	1A : 3.6 1B : 3.6														

栄養課 事業報告

1 栄養課事業計画目標の総括

(1) 食生活の充実と満足度の向上を図る

- ① 郷土料理や新メニューを提供した際、ミールラウンドを行い法人内栄養課で情報共有をしました。日々ご入居者から味の感想やご意見を伺い、職員からはご入居者の反応を聞き取り調査しながら1年を振り返り、年末には食事満足度調査を実施しましたが、「覚えていない」「忘れた」などのご意見も多くありました。一方、海外の郷土料理で特にパン食は好評で記憶に残っている方も多くおられました。「松花堂弁当」と「サンドイッチの日」どちらも楽しみですかの問いに、「サンドイッチ」と答える方が多く、物価高騰の折ではありますが食材料費も考慮しつつ、次年度からは献立に「サンドイッチの日」等の導入を検討し、日々ご入居者のご意見を参考に栄養課一同、食事サービスの満足度向上を図っていきます。
- ② 毎月の体重測定や食事摂取状況記録からスクリーニングを行い、低栄養のリスクが高いと判断されたご入居者に関しては、ミールラウンドを行いました。その中で、介護職員等多職種からもご入居者の嗜好や日々の様子を聞き取り、一人ひとりの嗜好やADLに合わせた食事の提供に努めました。

(2) 共通献立の安定供給に努めることにより、業務の再効率化を図る

- ① センター（むさしの園）から、サテライト（けやき園・もみの樹園）に計画生産品の品質についてアンケートを実施し、品質の安定と向上に努めました。
サテライトで味の調整の有無や頻度、食材の硬さ（大きさ）等のアンケートを実施し、概ね問題無いとの回答を得られました。各園の使用している機械やタイムスケジュールの若干の違いにより、加熱温度や時間に差があっても安定した計画生産品の提供が行われていたという結果となりました。引き続き、各園での情報共有を行い安定した食事の提供に努めます。
- ② 完全調理済食品取扱業者導入のシミュレーションを作成しました。
今後主力職員の定年退職などによる人材不足や、現在長期化しているサテライト（もみの樹園）と、センター（むさしの園）での人員不足も重なり、安定した3食の食事提供がいつ脅かされるか遠い未来ではないことは予想されます。
現状の人員配置と給食単価・光熱費などと比較検討した結果、法人への給食に係る経費の圧迫が懸念され、断念する事となりました。その後、米不足によるお米の高騰などにより給食単価の急激な上昇もあり、今後も完全調理済食品導入を視野に入れながら、地道にコストの見直しと3食の安定供給のための施策に取り組んでいきます。

(3) 法人内栄養課の職場環境の安定を図る

- ① 人員不足による職場環境の悪化を少しでも改善できる様、法人内栄養課で互いに調理職員を派遣し合い、職場環境の改善に努めました。職員確保が安定したのちは、ムリ・ムダ・ムラの提案を行い、タイムスケジュールの見直しと適正人員配置の構築に努めていきます。また、引き続き人員不足を補うための調理職員の派遣はもちろん、就業規則の改正事項内特別休暇の取得の為などでも職員の派遣を行い、職場環境の改善と職員満足度の向上に努めていきます。
- ② ICT化推進のために、第6次中期経営計画DXプロジェクトメンバーと食事サービス

委員会とで協議を重ね、食事アセスメント表Ⅰ・Ⅱのデータ管理に移行する取り組みを行いました。先行して、むさしの園食事サービス委員会で協議し、実施・モニタリング、マニュアルの変更等行いました。これまで紙ベースで作成・保管していた食事アセスメントシートⅠ・Ⅱを介護ソフト内のデータ入力・保管に切り替えました。これにより、食事アセスメントに係る労力の縮小が実現となり、いつでもデータを閲覧し、ご入居者食事アセスメント情報を他部署と共有することができるようになりました。また、園盛会スタンダードマニュアル栄養課添付資料（栄 2-3-1 資料）の変更も行いました。

今後は、けやき園・もみの樹園での実施・モニタリングを行ったのち、栄養課の園盛会スタンダードマニュアルの変更に着手していく予定です。

（４） ベッド稼働率に合わせた食数・食材の管理を行う

- ① ベッド稼働率の影響もあり、職員食数の増減による予定食数との乖離が大きい月もありましたが、小まめに食数変動の調整を行うことで予定食数と実施食数の乖離を抑えるよう取り組みました。また、可能な限り当月購入食材は当月内で処理を行い、月末在庫の削減に努めました。引き続き食材管理の徹底を図っていきたいと思います。
- ② 近年夏季の高温や集中豪雨など地域格差が激しく、異常気象により新米の確保が困難となり、全国的な米不足となりました。9月頃から米の価格上昇があり、園盛会でも11月中旬より価格が1.5倍に値上がりがありました。その他の食材も人件費や材料コストの上昇、鳥インフルエンザの流行による鶏卵の高騰は今でも続いており、安価な食材に切り替えても給食単価の適正価格を維持するのは難しくなってきました。特に正月商品の値上がりが顕著であり、1月の給食単価は10.7%の上昇がみられました。そのような厳しい状況下でも、可能な商品は少しでも安価な物へ切り替え、栄養目標量を満たしながら食糧構成を見直し、食材料費10～50%の価格上昇もありましたが、前年比給食材料費を0.8%増に止めることができました。

今後も継続的な物価高の影響が考えられるため、引き続き食材の見直しを随時行いながら、給食単価適正価格の安定と、行事食の食材料費も検討していかなければならないと考えています。

2 活動報告

（１） 栄養ケアマネジメントの実施

6月・9月・12月・3月の年4回実施しました。各部署との連携を図り、ご入居者の身体計測・臨床検査等の情報をオンラインで収集し、食事摂取状況を比較しながら栄養状態のスクリーニングを行い、そのデータを参考に嘱託医による低栄養のリスクレベル判定を実施しました。

このスクリーニングと各部署からのご入居者の一人ひとりの情報をもとにアセスメントを実施し、栄養ケア計画書の作成を行いました。モニタリングは高リスクについては2週間ごと、低・中リスクは月に一度行い、体重測定の後には実施しました。

表ー1 「スクリーニング実施状況表」 参照

表ー1 「スクリーニング実施状況表」

頻度 リスク別	70 回目 6 月	71 回目 9 月	72 回目 12 月	73 回目 3 月
低リスク	122 名	133 名	126 名	123 名
中リスク	29 名	37 名	36 名	38 名
高リスク	5 名	2 名	4 名	4 名

※リスクとは、低栄養の状態が低い、高いかで、高リスクとは低栄養のリスクが高い事を示します。

(2) 食事サービスの向上のための会議実施

① 食事サービス委員会

偶数月第1水曜日の14:00～14:30の時間帯で開催しました。

書面開催を中心に必要に応じ招集もありました。

会議開催時は管理栄養士が司会進行を行い、議事録作成は各部署で持ち回りにて行いました。介護課の各ブロック・ユニット及び各部署の食事サービス委員が出席し、より良い食事サービス提供を目的として話し合い、食事サービスの向上につながるよう努めました。

③ 厨房会議

毎月第1木曜日14:00～14:45の時間帯で開催しました（行事のある月は行事の日で開催）。

栄養士と調理職員が出席して、より良い食事サービス提供を行い、食事サービスの向上につながるよう努めました。

(3) 非常食の管理

非常食用食材の管理と賞味期限の維持に努めました。

賞味期限が切れる商品から順次、新メニューへの商品と切り替えていきました。次年度も継続して行っていきたいと思います。

(4) 年間行事食の実施

年4回、季節の旬の食材を使用した松花堂弁当の提供と、3施設で郷土料理の月を同じ地域にし、園盛会共通のサービスの提供を実施しました。

表ー2 「令和6年度 むさしの園栄養課行事食実施表」 参照

表ー2 「令和6年度 むさしの園栄養課行事食実施表」

月	郷土料理実施地域	松花堂テーマ
4 月	アメリカ合衆国	桜花
5 月	佐賀県	
6 月	イギリス	
7 月	山口県	七夕
8 月	スペイン王国	
9 月	宮崎県	

10月	東京都	清秋
11月	宮城県	
12月	岡山県	
1月	秋田県	
2月	北海道	立春
3月	福井県	

(5) デザートバイキング

5月の第3水曜日14:00～15:00の時間帯で実施いたしました。

(6) アイスcreamバイキングの実施

7月と8月に手作りおやつ代わりに実施しました。アイスクリームの種類とトッピングはご入居者に選んでいただき、目の前で盛り付け提供しました。盛り付け台には装飾を施し、雰囲気も一緒に味わっていただきました。

(7) 選択食の提供

毎週金曜日を原則として、2種類の主菜からご入居者に選んでいただき、選ぶ楽しさを感じていただき、より一層楽しい食生活の充実を図りました。また、主菜に限らずデザートなども実施しました。

(8) 嗜好調査・食事満足度調査の実施

① 嗜好調査

食事摂取状況や選択食のアンケート集計により、ご入居者の嗜好の把握に努めました。

② 食事満足度調査

食事満足度調査期間：令和6年12月4日（水）～令和6年12月15日（日）

（ショートステイを除く）

ご入居者へ毎日の食事や、国外を対象とした行事食についての感想やご意見等をアンケート調査しました。今後の食事サービスの向上につなげていきたいと思ひます。

(9) 衛生管理

以下の衛生管理項目について、その確実な実施に努めました。

- ・毎朝・夕残留塩素の測定の実施（記録あり）
- ・寿司の日に実施する年3回の大掃除と掃除当番表の活用
- ・毎日終業時、手の触れる部分の次亜塩素酸消毒
- ・衛生管理マニュアルに沿った衛生管理の徹底
- ・健康管理に留意（チェックリスト記録）
- ・毎月の検便検査
- ・食器消毒保管庫による食器の温度消毒の実施（90度以上・30分以上）
- ・中心温度の測定（加熱食品の中心温度85度以上・1分）

Ⅲ デイサービスセンター多摩の里むさしの園 事業報告

1 事業計画目標の総括

(1) 「個別のニーズに沿ったサービスを提供する」について

新規登録前のケアマネージャーからの紹介時や見学時の段階から、アセスメントを行い、ご利用者の情報収集を出来る限り行いました。生活歴、既往歴、身体状況等から、その方に適した機能訓練の提供等が行える様に努めました。ご利用者皆様の共通点としては、日々の在宅生活が継続出来る為の機能訓練を行う必要があり、その中でも下肢筋力低下防止は必須となる事が多いです。営業日は毎日、上下肢運動は欠かさず実施しました。その中で集団だと言う事が難しい方は、個別での歩行器を使用した室内歩行訓練や園庭散歩を兼ねた歩行訓練等を行いました。

(2) 「効率の良い業務遂行を図る」について

ご利用開始の動機として入浴を目的としたケースが少なくありませんでした。ご利用者の身体的な重度化、認知症自立度の重度化等の理由によりご自宅での入浴が難しく、ご利用時の入浴希望が増えています。午前中の限られた時間内に入浴対応を予定通りに行わなければなりません。デイ会議等で話し合い、朝の送迎前に出来る業務を行ったり、送迎の迎え後に入浴を早くスタート出来る様に調整を行いました。入浴時の誘導のタイミングや男女の兼ね合い等も考慮して、スムーズで快適な入浴援助を提供出来たと思います。

(3) 「働きやすい職場環境を整える」について

日常業務の中で、些細な事でも職員間で声を掛け合う意識を促し、雰囲気づくりに努めました。毎朝の送迎前のミーティング時や定期的なデイ会議等でも、個々の職員が平等に意見を挙げられる様な配慮を行いました。小さな事でも意見交換する事で、誤解や勘違いを防ぐ事が出来たのではないかと思います。職員それぞれがストレスを少なく毎日の業務に励める事で、ご利用者へ余裕を持った対応が行えたのではと考えます。

(4) 「安定した稼働率を確保する」について

コロナ感染症のご利用を未然に防ぐ事を常々意識しました。送迎時の迎えの検温の他、咳や鼻汁等の症状の確認を行いましたが、コロナ感染症に関わる休業日が5日間あり、延べ7名が感染症により欠席となりました。営業活動では、羽村市内の居宅介護支援事業所への他、瑞穂町、福生市の事業所へは本部営業担当者と協同して実施しました。パンフレットをコンパクトで見やすい物へ変更しました。反省点として営業の機会をもう少し増やせたのではないかと思います。

次年度は営業担当者と事前の打ち合わせを密に行い、効率良い営業活動を展開していきたいと考えております。

新規登録者数は11名と昨年度を上回ったものの目標値には届きませんでした。年間稼働率は49.2%と前年度比-5.8%という結果になってしまいました。主な原因としては、ショートステイ利用を併用されているご利用者が多く、デイのご利用を欠席されるケースが目立ちました。月間登録者平均数が16.2名と低い数値が稼働率に大きく影響していた事は明白です。新規登録者数の獲得が必須条件となります。今後の当事業所の存続の危機を部署全体として捉え、次年度は巻き返しを図っていききたいと思います。

別紙「令和6年度月別通所利用実績表」を参照

2 活動報告

(1) 下肢筋力低下防止運動

年間を通してほぼ毎日午後の時間を中心に上下肢運動を実施しました。在宅生活に欠かす事の出来ない上下肢筋力を維持する事や転倒防止を目的としました。春季、秋季等の良い季節は園庭で歩行訓練を兼ねた散歩を行いました。桜の咲く春、新緑の初夏、紅葉の秋等、季節感を感じながら花や植物を楽しみ、リラックス効果も得られ、ご利用者の気分転換に繋がりました。冬季や雨天時等は、室内で自転車漕ぎ等の器具を新たに購入して、認知症のご利用者でも手軽に出来る上下肢運動を行いました。

(2) 生活に根付いた取り組み

ご利用者の生活の中で馴染みのある風習を取り入れた取り組みを実施しました。例年行っている季節の植物や野菜の栽培も行なう他、「ふきやタケノコの皮むき」「らっきょう漬け」等、昔を思い出しながら取り組むご様子は、ご利用者が生き活きとされる瞬間で活性化にも繋がりました。食べ物に関しての取り組みは、調理をする習慣のない男性も興味を示され、食べる事を楽しみにされているご様子が伝わってきました。

別紙「デイサービス令和6年度行事・祭事・主な活動実施状況」を参照

令和6年度月別通所利用実績表

令和6年4月～令和7年3月

月別 項目別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比
通 所	月初 登録者数	17	15	15	16	17	16	15	16	16	16	17	18		
	通所者数	98	101	96	125	130	82	136	130	149	141	143	163	1,494	89.6%
	稼動日数	22	22	21	23	22	16	23	21	22	20	20	22	254	100.0%
	昼食	98	101	96	125	130	82	136	130	149	141	143	163	1,494	89.6%
	健康 チェック	98	101	96	125	130	82	136	130	149	141	143	163	1,494	89.6%
	入浴者数	62	68	64	83	87	56	87	82	92	72	78	92	923	101.0%
	1日平均 利用者	4.5	4.8	4.6	5.4	5.9	5.1	5.9	6.2	6.8	7.1	7.2	7.4	5.9	89.3%
新 登 録	新規	0	0	1	3	1	0	1	1	2	1	1	0	11	157.1%
抹 消	死亡	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
	他施設 入所	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	長期入院	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
	当園入所	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
	その他	0	0	0	2	0	0	0	1	2	0	0	0	5	
	月末 登録者数	15	15	16	17	16	15	16	16	16	17	18	18	195	

デイサービス令和6年度 行事・祭事、主な活動実施状況

実施月	活動内容
4月	桜の花見 根がらみ前水田チューリップ見学 ボランティア「KEM バンド演奏会」 オンライン音楽レク オンライン体操レク ボランティア「カラオケ」
5月	よもぎ団子作り 秋留台公園バラ見学 バラのポプリ作り オンラインレク ボランティア「カラオケ」 らっきょう漬け かぼちゃ、スイカ苗植え ふき、たけのこの皮むき
6月	オンラインレク 梅干し作り 福祉文化際見学 ボランティア「劇団よしよし」 ボランティア「KEM バンド演奏会」 夏越の祓 ボランティア「にっこり二胡教室」 ボランティア「フラオーシャン」
7月	七夕飾り作り オンライン音楽レク 納涼祭（施設行事）
8月	ボランティア「KEM バンド演奏会」 オンライン体操レク お楽しみ会 スイカの収穫 ボランティア「カラオケ」
9月	非常食体験会 デイ敬老の会 敬老の会（施設行事） オンライン音楽レク
10月	運動会（施設行事） オンライン音楽レク 青梅方面ドライブ ボランティア「カラオケ」 ボランティア「スマイルハーモニー」 芋がらの皮むき
11月	オンラインツアー 餅つき（施設行事） ボランティア「カラオケ」 オンラインコンサート 焼き芋の日（施設行事） ボランティア 「KEM バンド演奏会」
12月	デイクリスマス会 クリスマス会（施設行事） オンラインレク オンラインツアー ボランティア「KEM バンド」 演奏会 だるま作り 紅葉狩り 青梅御岳 ボランティア「劇団よしよし」
1月	書初め 初詣、青梅新町御嶽神社 オンライン音楽レク ボランティア「KEM バンド」 演奏会 ボランティア「カラオケ」 ボランティア「スマイルハーモニー」
2月	節分豆まき ボランティア「KEM バンド」 ボランティア「カラオケ」 ひな人形作り オンラインレク
3月	お彼岸ぼた餅作り オンラインレク ボランティア「ひな祭り会」 ボランティア「KEM ケムバンド」 演奏会 ボランティア「劇団よしよし」
通年	歩行訓練 散歩 体操 上下肢運動 足温浴
毎月	カレンダー作り 誕生日会

IV 特別養護老人ホーム 多摩の里けやき園

施設の概要

1 利用定員 特別養護老人ホーム 多摩の里けやき園 (ユニット型) 111 名
 老人短期入所事業(ショートステイ多摩の里けやき園) 併設 3 名
 空床利用 9 名

2 事業開始 平成 17 年 4 月 1 日

3 所在地 〒203-0034 東京都東久留米市弥生 2 丁目 1 番 18 号
 T E L 042-460-8151 F A X 042-460-8152

4 職員体制

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

部 署	職 名	常 勤	非常勤	合 計	備 考
管理者	施設長	1		1	
総務課	事務長	1		1	
	事務員	1	1	2	
	営繕		1	1	
	宿直員		3	3	
介護課	介護職員	40	16	56	3 名は介護支援専門員兼務
医務課	嘱託医師(内科・精神科)		3	3	委託契約
	看護職員	2	3	5	
	理学療法士		1	1	
	柔道整復師	1		1	
栄養課	管理栄養士	1		1	
	調理師	6		6	
生活課	生活相談員	1		1	
経営企画室	教育企画担当				
介護支援専門員		1(兼務 3)		1(兼務 3)	3 名は介護職員兼務
合 計		55	28	83	

他 産業医 (1 名) 委託契約

多摩の里けやき園 事業報告

(1) 施設全体での取り組みの総括

7月に施設長が交代しましたが、施設の継続課題となっています介護職員の離職防止・定着にむけた取り組みと感染症予防対応の徹底を行うことで、施設運営の安定に努めました。

介護職員に対しての取り組みについては、4月から6月までの間に8名の退職が決まっている厳しい状況での年間取り組みとなりましたが、採用担当と連携をとりながら、職員数の回復と現任の外国人職員の業務指導を強化したことで、介護現場の負荷を最小限に留めることができました。

離職防止・定着に向けては、適宜相談できる環境の整備の他に、12月には副主任2名を新たに選任し、相談窓口を増やすことによって、不安なく働ける環境の整備を行いました。

また、業務を行う上で支障が出ている事柄や疑問・質問にスピーディーに応える体制を整えました。

そのひとつとして、ご入居者のおやつ購入が円滑に行えていなかった現状を改善するために、10月より通信販売の業者と契約し、利用を開始したことで、ご入居者の生活と職員の不安が一つ解消されました。また、開設以来、故障が頻発しながらも、都度修理して使用していました機械浴槽についても、3月に2台、新規リースにて設置しました。これにより今後、より快適な入浴時間の提供と職員の業務負担軽減が期待できます。

施設内のさまざまな課題に少しでも迅速に対応することは、働く職員の不安軽減やモチベーションの維持・向上、業務負担の軽減、さらにはサービスの質の向上にまで大きくつながっていると考えます。施設運営の要である介護職員をはじめ、けやき園で働く職員全員が不安なく、そして、やりがいを持って仕事に取り組めるよう職員間のコミュニケーションを大切にしながら、さらなる良好な環境の構築に取り組んでいきます。

感染症については、年間をとおして消毒・換気等の感染予防対応を行いました。しかしながら、新型コロナウイルスは二度の施設内での発生があり、まん延防止対応を余儀なくされました。感染者は、ご入居者が延べ40名、職員が18名でした。インフルエンザについては一度、施設内で発生し、ご入居者9名、職員9名の感染がありました。

(2) ご家族面会等について

前年度から行っていました週ごと2ユニットでの居室面会については、8月より時間と面会可能エリアを拡大しました。さらに、令和7年1月より面会・外出・外泊の制限を撤廃しました。

(3) 地域との関わりについて

例年同様、地域住民の皆さまに地域交流スペースの貸し出しを行い、地域活動に活用していただきました。また、10月には地域住民と合同の防災訓練の実施や、12月の地域有志主催のお祭りでは、事前の設営準備から当日の手伝い、さらには片付けまでをサポートし、地域住民との関係構築に努めました。

今後も地域の社会資源として、皆さまの一助となれるよう連携を図りながら、関わってきたいと思います。

総務課 事業報告

1 総務課事業計画目標の総括

- (1) ご入居者、ご家族に安心した生活を送っていただけるよう、施設との連絡がスムーズに行えるシステムとして HitomeQ コネクトを導入し、9 月に施設でコロナが発生した際もご家族及び職員への連絡に活用し、速やかな対応を行いました。
- (2) けやき園は開設以来 20 年が経過し、建物、機械・電気設備に老朽化が目立ってきました。特に、機械浴槽が経年劣化で故障しましたが、メーカーに交換部品が無く新規購入せざるを得ないケースも発生してきています。今後も他の設備で同様の事態が予想され、ご入居者へのサービス・保安を低下させないような注意が必要となります。
- (3) 11 月の東京都による実地検査において、保険請求の加算要件の不備を指摘され、1 名のご入居者の 1 ヶ月分の過誤再請求を行いました。今後このようなことが無いよう、請求要件の精査を徹底します。

2 活動報告

- (1) ご入居者、ご家族に安心していただけるような接遇を行う。
ご入居者・ご家族とのコミュニケーションツールとして HitomeQ コネクトを新規導入・活用し、連絡頻度が増加したことにより安心感を持っていただけました。
- (2) ルーティンワークの見直しにより、改善点の洗い出しを行う。
個々の業務の必要性を確認し、不要な作業を改善して業務の簡素化を図りました。また、HitomeQ コネクトの機能を職員への連絡手段としても活用し、業務の効率化に努めました。
- (3) 職員の意見等を取り入れ業務環境の改善につなげる。
安全衛生委員会では、報告やレクチャーばかりでなく職場環境に関する意見を収集し、必要に応じ改善を行いました。
- (4) ご入居者につながる情報の収集、他部署への周知により稼働率に寄与する。
LIFULL 介護からの入所希望の問合せ等の的確な対応の実施により、稼働率につながる情報の適切な取扱いに努めました。
- (5) 今年度、けやき園からは自衛消防審査会に参加出来ませんでしたが、万一の災害時には速やかに対応出来るよう定期的に自衛消防訓練を実施し、施設の安心・安全な環境を維持するよう努めました。
この自衛消防隊の消防訓練への取組みが評価され、防災業務関係で後述しますが、けやき園の自衛消防隊に東京消防庁予防部長より表彰状が授与されました。
- (6) 事業継続計画(BCP)については、全職員がオンラインを利用した BCP の研修を行い、事業継続計画の確認と、災害発生時の速やかな対応の重要性を理解するよう指導しました。
今後は、定期的な訓練の実施を通じ、災害発生時に速やかに行動できるように努めます。

《安全衛生関係》

(1) 今年度は、全職員を対象にした定期健康診断を 4 月 11 日に実施し、特定業務従事者の健康診断とインフルエンザワクチン接種を 11 月 1 日同時に実施しました。健康診断結果については、報告書を作成し管轄の三鷹労働基準監督署に提出しています。

産業医による健康診断結果の精査を行い、必要な職員には産業医との面談を実施しました。

(2) ストレスチェックの実施については、対象職員 71 名中 46 名から得た回答をまとめた報告書を作成し、三鷹労働基準監督署に提出しました。

(3) 毎月開催する安全衛生委員会では、感染症の動向資料を基に職員への注意喚起を行い、職員の感染症への注意意識の維持に努めました。

また、産業医による職場巡視・指導及び健康診断結果から必要な職員との面談を通じ、職場環境・個々の健康維持への意識を高めるよう指導しました。

(4) 環境衛生については、後ページの「主な消毒・清掃実施状況」及び「主な点検・検査実施状況」を参照。

安全衛生会議開催状況

開催日	議題
令和 6 年 4 月 18 日	①産業医巡視報告(3 月 16 日実施) ②感染症の動向について ③V D T 作業と健康障害について ④頭痛のタイプと対策について ⑤職場環境・衛生について意見交換
令和 6 年 5 月 16 日	①産業医巡視報告(4 月 26 日実施) ②食生活への取り組みについて ③熱中症予防について(熱中症アラート) ④感染症について ⑤職場環境・衛生について意見交換
令和 6 年 6 月 20 日	①産業医巡視報告(5 月 24 日実施) ②口腔ケアについて ③タンパク質のあれこれ ④感染症について ⑤職場環境・衛生について意見交換
令和 6 年 7 月 18 日	①産業医巡視報告(6 月 28 日実施) ②夏の健康 ③特定保健指導 ④感染症について ⑤職場環境・衛生について意見交換

開催日	議題
令和 6 年 8 月 15 日	①産業医巡視報告(7 月 26 日実施) ②肝臓の健康について ③感染症について ④職場環境・衛生について意見交換
令和 6 年 9 月 19 日	①産業医巡視は 8 月 16 を予定していましたが、台風 7 号により中止 ②秋の健康管理 ③メンタルヘルスケアについて ④感染症について ⑤職場環境・衛生について意見交換
令和 6 年 10 月 17 日	①産業医巡視報告(9 月 27 日実施) ②防災対策できていますか ③感染症について ④職場環境・衛生について意見交換
令和 6 年 11 月 21 日	①産業医巡視報告(11 月 15 日実施) ②「健康食品」・サプリメントについて ③感染症について ④職場環境・衛生について意見交換
令和 6 年 12 月 19 日	①産業医の巡視は有りませんでした ②腸内細菌と免疫 ③感染症について ④職場環境・衛生について意見交換
令和 7 年 1 月 23 日	①産業医巡視報告(1 月 17 日実施) ②花粉症の話 2025 ③コロナと・インフルエンザ感染情報 ④職場環境・衛生について意見交換
令和 7 年 2 月 20 日	①産業医の巡視は有りませんでした ②花粉症について ③コロナとインフルエンザ感染情報 ④職場環境・衛生について意見交換
令和 7 年 3 月 20 日	①産業医巡視報告(2 月 28 日実施) ②貧血の話 ③コロナとインフルエンザ感染情報 ④ 職場環境・衛生について意見交換

職員健康診断実施状況

実施日	実施機関	対象者	受診者数
令和 6年 4月 11日	医)和風会 所沢中央病院	全職員	79名
令和 6年11月 1日	医)和風会 所沢中央病院	介護従事職員・夜勤従事職員	62名

産業医巡視報告

実施頻度	担当医	内容	実施日
毎月1回	八十川医師	職場環境巡視・職員保健指導	4月26日、5月24日、6月28日、7月26日、 9月27日、11月15日、12月27日、1月17日、 2月28日、3月29日

主な消毒・清掃実施状況

実施頻度	業者名	内容	実施日
年4回	サンキ(株)	グリストラップ清掃	6月11日、9月17日、12月17日、3月28日
年2回	サンキ(株)	排水管清掃(超高压ジェットによる洗浄)	6月11日、12月17日
年1回	サンキ(株)	汚水槽雑排槽清掃	9月17日
年1回	(有)ザ・クリーン	貯湯槽清掃	10月12日
年1回	サンキ(株)	貯水槽(受水槽)清掃点検	3月4日
週5日	サクセスプランニング(株) (有)ザ・クリーン	日常清掃	清掃員2名で週5日居住棟共有部清掃
年3回	サクセスプランニング(株) (有)ザ・クリーン	定期清掃 (ワックス清掃・ガラス壁面清掃)	ワックス清掃 6月11日・24日、7月17日、 10月16日・25日・28日、2月13日・15日・ 3月6日 ガラス清掃 7月24日、1月30日
年1回	(株)トーヨー	害虫駆除(残留処理、毒餌処理、 捕獲処理)	全館(厨房含む):5月21日 厨房:7月23日、10月16日、3月19日

主な点検・検査実施状況

実施頻度	業者名	内容	実施日
毎月1回	(株)エムビックらいふ	細菌検査(調理従事職員)	
年6回	関東電気保安協会	自家用電気工作物定期点検	4月16日、6月10日、8月19日、 10月17日、12月17日、2月18日
毎月1回	(株)日立ビルシステム	エレベータ定期点検	毎月の定例点検保守
年1回の法令点検報告	(株)日立ビルシステム	エレベータ定期検査	2月7日
年6回	(株)マリフトコーポレーション	小荷物専用昇降機(ダムウエータ)点検	4月16日、6月26日、8月29日、 10月23日、12月16日、2月10日
年1回の法令点検報告	(株)マリフトコーポレーション	同上定期検査	7月18日
年1回の定例検査	(株)日本分析	水質検査	3月4日
年1回の法令点検報告	社)東京都食品衛生協会	簡易専用水道検査	4月18日
年1回の定例検査	(株)エムビックらいふ	レジオネラ属菌検査(浴槽水質検査)	3月6日
年2回	テクノ矢崎(株)	空調冷温水機冷房(暖房)切替点検	5月14日、10月25日
年4回	日本デオドール(株)	消臭器保守点検	4月3日、7月22日、10月2日、1月8日

《防災業務関係》

(1) 日常防災管理の適切な実施

防火・防災の管理については、全職員が予防意識を持ち、消防計画に定めた予防区域ごとの「日常点検チェック表」を使用して確認を行うとともに、防火管理者による建物及び防火施設、設備の定期的な点検も確実に実施しました。各部署の火元責任者が、毎日の確認を適切に実施し、「自主検査チェック表」に記録しました。

(2) 防災訓練の実施

今年度は、8月2日に東久留米消防署による応急救護講習を実施、令和7年2月7日～21日の間に東京消防庁電子学習室による夜間の火災想定消防訓練を実施、3月11日に東日本大震災の記憶を風化させないようシェイクアウト訓練を実施、その際、全職員へのHitomeQコネクト一斉送信及び返信により安否確認を行う事業継続計画(BCP)の訓練も行い、災害への対応強化を図りました。

(3) 防災管理委員会は、第1回を4月18日、第2回を8月15日、第3回を11月21日、第4回を令和7年2月15日に開催し、自衛消防隊組織編成の確認と全職員の役割の再認識による防災意識の向上を図りました。また、高齢者施設におけるご入居者のケアの継続を目的に事業継続計画(BCP)の重要性を周知し、計画の見直しも行いました。

別紙「防災管理委員会開催状況」を参照

(4) 消防用設備の適正な保守管理

消防用設備の保守管理は、消防設備士を有する設備業者により4月3日及び10月2日に点検を行い、消防法の規定に基づき、東京消防庁東久留米消防署に「消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書」を提出しました。

(5) 東京消防庁よりの表彰

今年度は、けやき園が自衛消防隊の重要性を深く認識し積極的に訓練に励み災害の防止に寄与したとして、東京消防庁予防部長よりけやき園自衛消防隊に表彰状が授与されました。

防災訓練実施状況

実施日	訓練種別	訓練内容	参加人数
令和6年8月2日	応急救護訓練	園盛会新入職員3名及びけやき園中途入職者8名が参加し、東久留米消防署による応急救護の基礎知識及び技術の講習を受けました。	職員 11名
令和7年2月7日 ～ 令和7年2月21日	総合訓練 (夜間火災想定)	東京消防庁の電子学習室を活用し、高齢者施設での夜間勤務体制を想定した火災の自衛消防活動要領を学習しました。	職員 75名
令和7年3月11日	総合訓練 (避難訓練)	東日本大震災の教訓を忘れないためにだれでも参加できる、その場で自身の安全を守る行動を取る訓練を、実施しました。(シェイクアウト訓練)	入居者 105名 職員 43名

防災管理委員会開催状況

回	開催日	議 題
1	令和 6 年 4 月 18 日	(1) 令和 6 年度防火管理について (2) 自衛消防隊組織編成の改定について (3) 自衛消防審査会について (4) 自衛消防訓練について (5) 事業継続計画 (BCP) の訓練について
2	令和 6 年 8 月 15 日	(1) 自衛消防審査会について (2) 事業継続計画 (BCP) 訓練の実施について (3) 大規模災害における地域住民との協力関係について (4) 自然災害への備えについて (5) 自衛消防隊組織編成の見直しについて
3	令和 6 年 11 月 21 日	(1) 東久留米消防署管内の災害発生状況について (2) 自衛消防訓練について (3) 事業継続計画 (BCP) について (4) 自衛消防隊組織編成表の改定について
4	令和 7 年 2 月 20 日	(1) 自衛消防訓練について (2) 事業継続計画 (BCP) について

【地域貢献】

- (1) 感染症予防を徹底しつつ、地域交流スペースを貸し出し、地域との交流に貢献しました。
主に、社会福祉協議会・地域の自治会、市民への貸し出しを実施しました。
下記「地域還元における施設設備の貸出（地域交流スペース）」を参照

地域還元における施設設備の貸出（地域交流スペース）

主催者名 (講座名・使用目的)	開催日 (参加人数)			参加総数
柳自治会 (定例会)	4 月 7 日 (43 名) 4 月 21 日 (5 名) 5 月 19 日 (5 名)	6 月 16 日 (6 名) 9 月 15 日 (7 名) 1 月 19 日 (6 名)	2 月 23 日 (5 名) 3 月 30 日 (7 名)	84 名
新弥生自治会	3 月 16 日 (13 名)			13 名
東久留米市社会福祉協議会 (住みまち弥生・弥生まつり)	4 月 14 日 (12 名) 6 月 9 日 (14 名)	8 月 11 日 (8 名) 10 月 13 日 (10 名)	11 月 10 日 (6 名) 12 月 8 日 (14 名)	64 名

主催者名 (講座名・使用目的)	開催日(参加人数)			参加総数
東久留米市 弥生台自治会 (健笑会、健康体操)	4月13日(24名) 4月27日(22名) 5月11日(21名) 5月25日(23名) 6月8日(21名) 6月22日(23名) 6月29日(21名) 7月13日(24名) 7月27日(13名)	8月10日(14名) 8月24日(19名) 9月14日(17名) 9月28日(14名) 10月12日(13名) 10月26日(19名) 11月9日(22名) 11月23日(19名) 11月30日(18名)	12月14日(23名) 12月28日(19名) 1月11日(18名) 1月25日(24名) 2月8日(15名) 2月22日(18名) 3月8日(20名) 3月22日(17名) 3月29日(15名)	516名
地域交流イベント (歌おう会)	4月23日(11名) 5月28日(10名) 6月25日(7名) 7月23日(10名)	8月27日(11名) 10月22日(6名) 11月26日(9名) 12月24日(6名)	2月25日(10名) 3月25日(8名)	88名
地域交流イベント (サロンやよい)	4月11日(19名) 5月10日(22名) 6月13日(20名) 7月11日(29名)	8月8日(23名) 9月12日(23名) 10月10日(18名) 11月14日(20名)	12月12日(21名) 1月9日(21名) 2月13日(24名) 3月13日(24名)	264名
地域交流イベント (健康年令をのぼそう会)	4月24日(2名) 5月29日(2名) 6月16日(2名) 7月31日(2名)	8月28日(2名) 10月30日(2名) 11月27日(2名) 12月11日(2名)	1月22日(2名) 3月26日(2名)	20名
合 計				1,049名

(2) 地域の避難所としての機能強化

けやき園と東久留米市とは、協定を結び大規模災害時の二次避難所としての機能強化を継続しています。

10月13日には、施設近隣の東久留米市柳自治会との災害時における避難所開設に関する協定に基づき、避難所への入場時の避難者カード記入、各ブロック単位の避難ブースの確認、避難所での運営は、避難者から代表者を選出しルールを決めて自主的に運営することの確認等の訓練を実施しました。

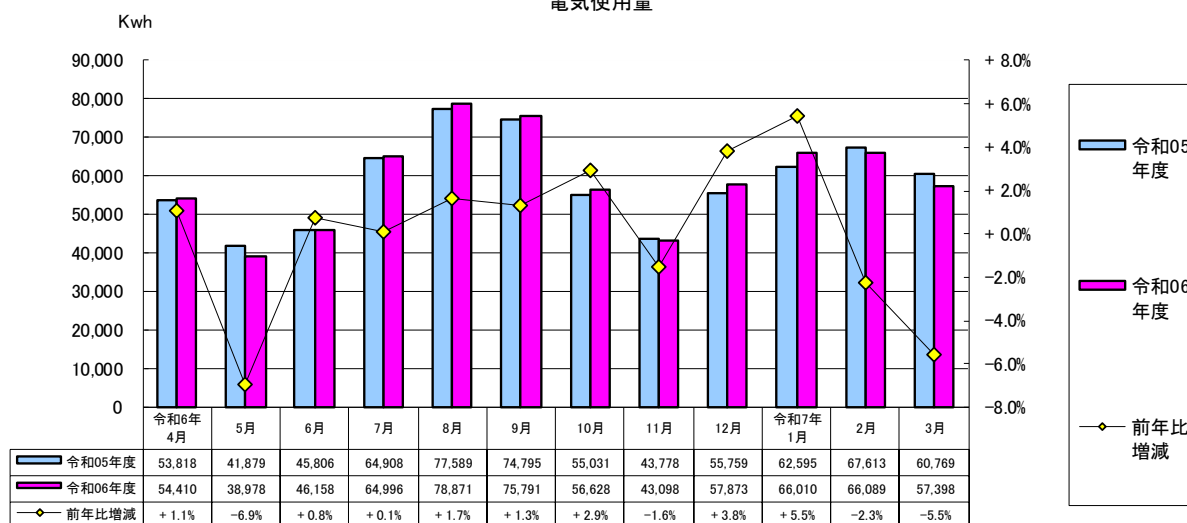
《福祉サービス第三者評価の受審と公表》

評価機関は経営創研㈱を選択し、契約締結のうえで次のとおり福祉サービス第三者評価の過程を踏まえ、令和7年4月に「とうきょう福祉ナビゲーション」に公表されます。

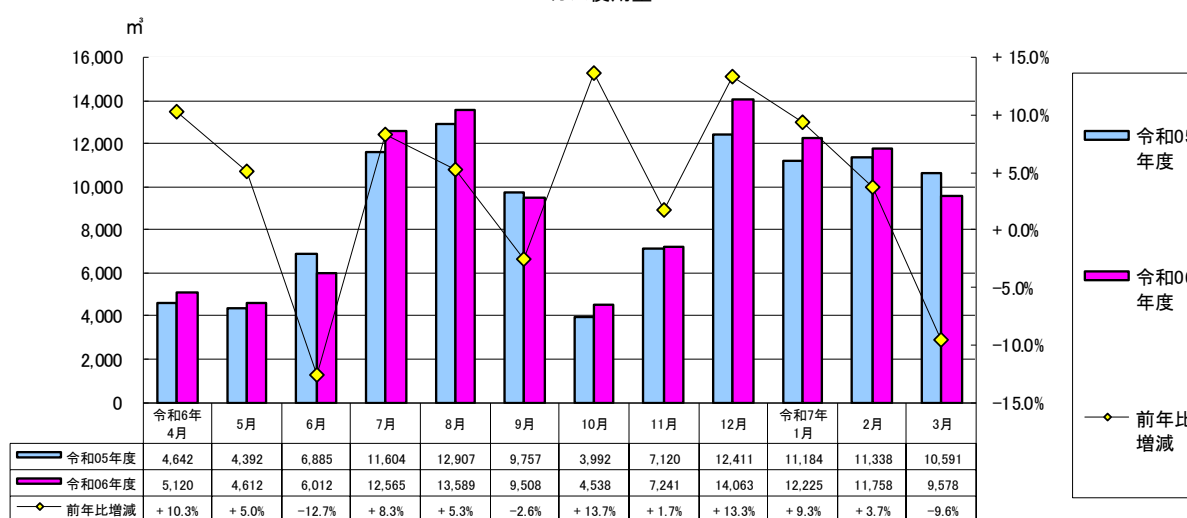
評価過程	実施日	対象人数
契約日	令和 6 年 7 月 29 日	—
利用者調査（面接聴き取り）	令和 6 年 12 月 4 日	15 人
利用者調査結果報告日	令和 7 年 2 月 4 日	—
職員自己評価結果報告日	令和 7 年 2 月 4 日	43 人
訪問調査日	令和 7 年 2 月 7 日	—
評価合議日	令和 7 年 2 月 28 日	—

令和6年度 けやき園 光熱水使用量

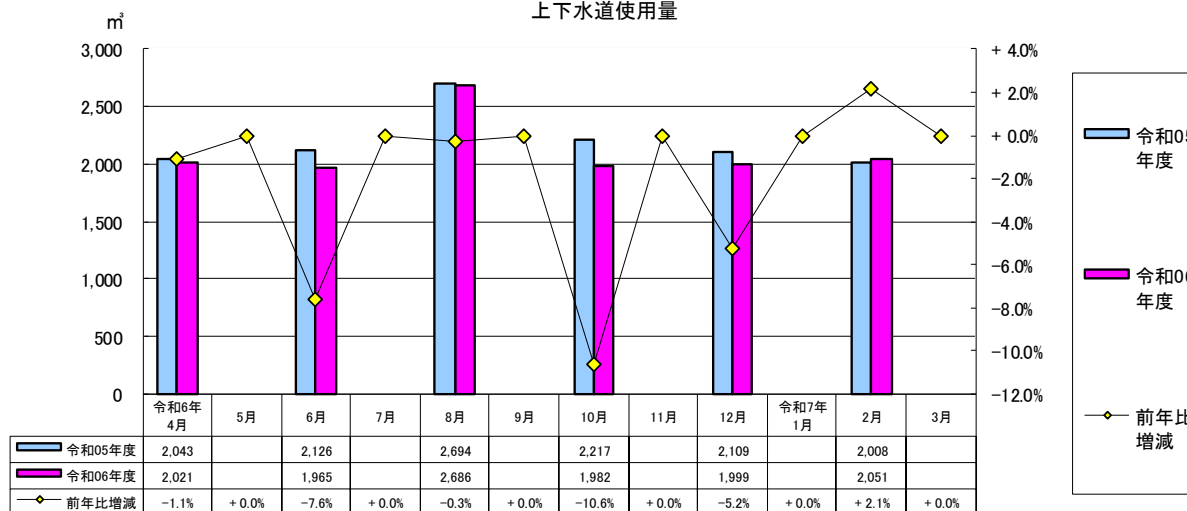
電気使用量



ガス使用量



上下水道使用量



経営企画室 教育・企画担当 事業報告

1 経営企画室 教育・企画担当 事業計画目標の総括

(1) インフォーマル・サポート（ボランティア・NPO 団体・地域住民等）による良質なサービスの提供を図る

ご入居者の皆様や各部署等より声を聴く機会を継続的に図り、施設ニーズを把握した上で、インフォーマル・サポートの皆様との調整を行いました。

施設内にて感染症が発生した際は、施設内外の関係者と情報共有を行いながら、安心して受け入れ、活動していただける方法を柔軟に検討しました。

今年度も各部署の協力のもと、多くのインフォーマル・サポートの皆様によるご支援をいただき、ご入居者への良質な個別サービスの提供に繋がりました。次年度もご入居者の個性へ配慮を行い、更なるサービスの質の向上を目指していきます。

(2) 担当業務の省力化・効率化を目指す

記録に係る担当業務においては、園盛会 DX プロジェクト A チームと連携を図りながら研修受講時の書類について、印鑑欄の削除や修正を図り、回覧時の手間を削減しました。

また、担当業務の経過記録の管理を表計算ソフトから、介護記録ソフトに切り替えることで、各部署が必要時に確認できる体制を整備しました。

広報委員会（3 園合同開催）においては、運営方法の見直しを図りました。結果、開催時間がこれまでの半分に短縮し、各園にて、その時間の有効活用を図っています。

次年度も各業務において、効率化のメリットやデメリットを踏まえながら、継続的に取り組んでいきます。

(3) 就労環境・研修内容の改善を図り、職員の定着率向上を目指す

年間の経営企画室『人材育成計画表』、『職員研修・OJT 年間計画表』に沿って、滞りなく実施しました。特に、義務化された研修や資格取得希望に係る研修の対応時には、確実な受講申請や準備等を行い、職員の研修受講や資格取得をサポートしました。

また、就労環境においては、介護記録ソフトの活用に向けて、関係部署の希望を受け、適切な帳票やマスタ設定等を提案することで、記録業務の効率化に寄与しました。

次年度も、職員が希望する研修を受講しやすい環境づくりに努めていきます。

(4) 稼働率の維持・向上にむけて、自法人の認知度向上を図る

法人パンフレットにおいては、掲載内容の見直しを図り、ホームページ上にデジタルパンフレットの掲載を行いました。これにより、郵送もしくは窓口での手渡し以外に、ホームページ上ですぐ閲覧することが可能になりました。

ホームページにおいては、長年の運用により、各種の情報が散在しており、データ管理の複雑化が課題でした。また、ホームページ上への掲載が義務化された項目が増加したことを踏まえ、今年度は、掲載内容の見直しとデータの一括管理に向けた修正作業を行いました。

次年度も法人内外の関係者と協働の上、法令を遵守し、より充実した広報活動に努めていきます。

2 活動報告

(1) 職員教育に資する研修事業の取り組み

福祉サービスの質の向上を図るため、新入職員および現任職員への施設内研修の実施と行政機関や民間事業者からの研修案内を精査し、各職種にわたり、感染対策を図った上での外部研修の受講にも力を入れました。

・別紙「研修関係の開催・参加状況」参照

(2) EPA 介護福祉士候補者の受入れについて

法人本部、3 園担当者と連絡調整や情報交換を行いながら、生活支援（在留手続き、住環境整備）、学習支援（事業団テキストの学習補助、日本語講師による日本語学習）、精神面の支援（ストレスチェック、生活相談）等、様々な場面での支援を行いました。

また、介護職員として現場で活躍できるよう介護課とともに育成に努め、義務化となった認知症ケア基礎研修の受講を支援しました。

・別紙『EPA 介護福祉士候補生の支援・育成の実施内容』参照

(3) ボランティアの活動状況・受け入れ

新型コロナウイルスによる感染症の影響も弱まり、今年度のボランティア活動人数（延人数）は 151 名となり、前年度からは 68 名と大幅に増加しました。感染症対策の緩和により、ボランティアの皆さんの活動再開や頻度が増え、ご入居者との交流が活発化しております。

関係機関とは、東久留米市、小平市の社会福祉協議会との連携も継続的に図り、連絡会の出席や書面開催時のアンケート回答を行いました。

また、近隣住民のボランティアグループの作品の寄贈も定期的に受け入れ、施設内に展示することで、地域住民とご入居者の橋渡しを行うことができました。

次年度も、ご入居者の要望に応じた余暇活動の楽しみの提供や地域住民との交流の支援ができるよう取り組んでいきます。

・別紙『ボランティア活動実績』参照

研修関係の開催・参加状況（施設内研修）

研修内容		開催日	参 加 人 数									
			管理者	総務課	教育企画	生活課	医務係	リハビリ係	栄養課	介護課	合計	
○経営本部主催研修												
階層別 研修	人事考課者	7/8. 2/17	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
	中堅職員	8/9. 10/7. 12/16. 2/10	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
新入職員 研修	入職時研修	3/25-29. 4/1-3	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
	1. 3. 6 ヶ月研修	5/26, 8/2, 10/4	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
エルダー職員意見交換会		6/21	0	0	0	0	0	0	0	2	2	
◇法令研修												
食中毒予防研修		5/10～5/25	1	4	0	2	6	2	6	53	74	
感染症予防研修	前期 5/13-6/10	1	3	0	2	講師	2	7	48	63		
	後期 11/1-11/25	0	3	0	1	0	2	7	49	62		
	訓練 11/5. 12. 15. 18	0	1	0	0	0	2	7	16	26		
高齢者虐待防止・身体拘束 適正化に関する研修	前期 7/16-31	0	2	0	講師	5	2	7	45	61		
	後期 1/15-31	0	1	0	講師	4	2	1	56	64		
事故防止に関する研修	前期 6/13-6/26	1	2	0	2	6	2	7	51	71		
	後期 12/11-1/5	2	0	0	1	3	2	1	54	63		
褥瘡予防研修		3/10-28	0	0	0	0	講師	1	7	53	61	
ハラスメント防止研修		3/18-31	0	3	0	講師	5	2	7	54	71	
□その他												
中途入職者入職時研修		4/1～3/31	0	0	0	0	1	0	0	4	5	
看取り介護研修	前期 8/3-8/25	0	0	0	0	講師	2	7	46	55		
	後期 2/15-3/5	0	0	0	講師	4	2	1	50	57		
合 計			5	19	0	8	35	23	65	584	739	

研修関係の開催・参加状況（施設外研修）

研修内容		開催日	参 加 人 数								者 参 加
			管 理 者	総 務 課	教 育 企 画	生 活 課	医 務 課	栄 養 課	介 護 課	合 計	
◇東京都											
ユニットリーダー研修(オンライン)		8/6-8/7							1	1	村越
ユニットリーダー研修(実地研修)		10/8-11									
ユニットケア施設管理者研修		9/26-9/27	1							1	宮本
◇東京都社会福祉協議会											
栄養士の為の介護報酬改定と新しい栄養評価基準について		7/2-8/2						1		1	森本
生活相談員リスクマネジメント研修会		1/27				1				1	瀧澤
◇東京都福祉局											
認知症介護実践者研修(e ラーニング)		8/7-8/28							1	1	長浜
認知症介護実践者研修 (講義+実習 2 週間)		9/4、11/12 11/13、12/3									
◇その他主催											
認知症介護基礎研修（オンライン）		4/1-6/30							8	9	EPA4 名 笠原、シュエ ヤイ ニン デイン ティ ンザー、ナン ダー アウン
		7/1-8/1					1				工藤
介護支援専門員専門研修Ⅰ		7/17、26、8/8、20				1				1	小森
介護支援専門員専門研修Ⅱ		11/25、12/2				1				1	瀧澤
CareTEX' 25 介護現場の生産性向上に向けた改善活動の取り組み方		2/5		1						1	高野
東久留米市内高齢者 施設職員意見交換会 (市内 6 施設参加)	ケアマネ	3/12							1	1	小森
	介護職	3/6							1	1	金子
	リハビリ	3/5					1			1	工藤
	看護師	3/13					1			1	松崎
	相談員	3/24				1				1	瀧澤
合 計			1	1	0	4	3	1	12	22	

EPA 介護福祉士候補生の支援・育成の実施内容

実施内容	主催者・対応部署	2022年度	2023年度	2024年度	実施日	対応・参加者	
						職員	候補生
日本語講師の学習（通信）	Bima CONC 島田様	○	○	○	毎週月曜日	—	7名
日本語ボランティア教室	国際友好クラブ	—	○	○	毎週木曜日	—	6名
健康診断	所沢中央病院	○	○	○	4/11、11/1	—	7名
在留期間更新申請	総務課		○	—	4/19	1名	3名
巡回訪問	JICWELS	○	○	○	6/26	4名	7名
国際厚生事業団への定期報告	経営企画室・総務課・介護課	○	○	○	1月	3名	7名
					延べ人数	8名	37名

ボランティア活動実績

活動内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
クラブ活動	3	3	3	2	3	2	3	3	3	3	3	3	34
ギターハーモニカ	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	11
大正琴	3	—	4	—	中止	—	4	—	4	—	4	—	19
紙芝居	2	—	2	—	2	—	2	—	2	—	2	—	12
傾聴ボランティア	4	6	3	4	4	2	5	3	3	4	4	4	46
カラオケ	—	1	—	1	—	中止	—	1	—	1	—	1	5
音楽療法	1	1	1	1	—	1	1	—	1	1	1	1	10
アクティブハート	—	—	—	—	—	—	13	—	—	—	—	—	13
（団体数）	（3）	（1）	（3）	（1）	（2）	（1）	（4）	（0）	（3）	（1）	（3）	（1）	（23）
（個人）	（5）	（7）	（5）	（7）	（5）	（3）	（6）	（6）	（4）	（6）	（5）	（6）	（65）
月別合計	14	12	14	9	10	5	29	8	14	10	15	10	150

社会福祉協議会ボランティア担当者会議開催数（書面開催含む）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
東久留米市主催	－	0	－	0	－	－	－	－	－	0	－	－	0
小平市主催	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	1

社会福祉協議会・地域会議への職員派遣

主催者名	会 議・講 座 名	開 催 日	延べ 人数
東京都高齢者福祉施設協議会	ケアマネージャー研修会 アクティブ福祉	4/15、7/8	2 名
東久留米市	介護保険運営協議会	5/23	1 名
	在宅医療・介護連携推進協議会	5/29	1 名
	民生委員推薦会	5/21	1 名
住みよいまち弥生 （地域住民会議）	定例会議・催し	4/14、6/9、8/11、10/11 12/8、2/9	6 名

介護課 事業報告

1 介護課事業計画目標の総括

(1) 生活の質の向上を目指し、ご入居者の個別性を重視した質の高いサービスを目指す。

ご入居者の個別性を重視したサービスを提供するために、支援内容や方法についての協議を行い、さらには、外部研修にも目を向けて知識・技術の向上に努め、職員全体のレベルアップを図ることで、ご入居者の希望や要望の実現に向けた取り組みを実施しました。

また、ケアプランにもご入居者の意向を反映させ個別性を重視したケアプランの作成を行い、サービスの向上に努めました。

その結果、ご入居者の希望に沿ったサービスや多様化するニーズにも応えることができました。

次年度も引き続き、ご入居者の希望の実現に向けた個別ニーズを引き出し、個別援助の実施やケアプランに沿ったサービスの提供に努めていきます。

(2) 定期的な見直し及び、不必要な業務を洗い出し、介護業務の効率化を図る。

役職者を中心に業務の洗い出しを行い、不必要だと思われる業務の見直しや改善を図りました。特に記録については、介護日誌の省略化や各種書類（月次総括）などを簡素化したことにより、職員一人ひとりが、ご入居者と関わる時間が増え、余暇活動の充実が図れました。

また、ICT 機器については、眠りスキャンの活用をはじめ、ご入居者の重度化や職員の腰痛が大きな問題となっている為、職員の腰痛予防及びご入居者にも安心して移乗介助が行えるように床走行リフトを導入しました。

その他、使用物品や備品の管理と点検、物品が適正に使用されているかの見直しを定期的に行い、無駄な使用を控えることに努めました。排泄ケア用品に関しては、排泄ケア向上委員会の委員を中心にフロア全体に働きかけて適正管理を行い、コスト削減に努めました。

次年度も引き続き、介護業務の効率化を図り、業務負担を軽減できればと考えています。

(3) 職員が働きやすく、やりがいを持てる職場環境の整備や改善を図り、職員の定着率の向上に努める。

職員一人ひとりが、目標に向かって前向きに取り組める環境を構築し、職員が働きやすく、やりがいを持てる職場環境の整備や改善を図りました。職場環境の改善に向けては、年2回の還元面談を行うことにより、職員一人ひとりの思いや考えをお互いに知る機会にする事ができ、職員個々の目標の進捗状況の確認をするだけでなく、更に今後の目標や希望について深く考える機会となりました。

また、フロア会議の定期開催を行い、職員同士の意見交換やコミュニケーションが活発に行われる大切な場として位置付けました。これにより、チームケアの浸透と働きやすい環境を作ると共に、業務内容の見直しや職員と意思統一を図り、定着率の向上に努めました。

(4) 稼働率の向上を職員が常に意識し、ご入居者の体調管理と円滑な受け入れを整える。

生活課と連携を図り、介護課として稼働率の向上を常に意識し、空床状況の把握やご入居者の体調面の把握及び新規入居者などの情報は、各階役職者を中心に他部署と情報共有及び連携を図り、円滑な受け入れ態勢を整えました。

また、ご入居者の日々の健康状態を観察し、密に連携を図りながら対応したことにより、ご入居者の体調変化を早期に発見することができました。

また、稼働率の向上に向けて介護課として取り組んできましたが、施設が目指す稼働率の達成には至りませんでした。

次年度は稼働率向上に一層力を入れ、稼働率目標の達成に向けて、日々努力していきます。

2 活動報告

(1) 役職者会議の定期開催

今年度の役職者会議は、介護課全体の運営と円滑にサービス提供ができるように、各階で発生している課題や業務の見直しについて協議を重ね、解決に向けての情報共有や取り組みを実施しました。

また、8月より施設長・係長・各階フロア副主任で会議を開催し、施設長にも実際に会議に参加してもらえたことにより、介護課の問題点や課題点について、その解決策及び部署としての意思決定を速やかに行えるようになりました。

12月からは、役職者の業務負担軽減や各フロア及び他部署との連携を今以上に図り、介護課全体のレベルアップを目的として、係長及び副主任5名の役職者体制となり、「各フロア間の協力体制」や「ケアの充実」につなげることが少なからずできたかと思います。

次年度に向けては、役職者・ユニットリーダーを中心に後進の指導や育成にも力を入れ、ご入居者に安心・安全な施設生活を送っていただけるサービスの提供を心掛けたいと思います。

別紙「介護課役職者会議開催状況」を参照。

(2) 事故防止検討委員会の定期開催

今年度の委員会は、毎月の単独開催と、3か月に1回各園の安全対策担当者による合同会議を開催しました。

単独開催時は、施設内で発生してしまった事故や各フロアにて対応に苦慮しているご入居者を中心に、再発防止策の検討や、多職種の視点からの意見も交えて、事故の分析やフロアにて再発防止策を実施し、翌月の会議で実際に振り返りを行い、同じ事故が再度起きないように取り組みました。

また、3園合同会議では、他施設で発生した事案について意見交換を行うことで、相互の情報の共有が図れ、毎月行われる単独会議で報告を行う事により、他施設で起きてしまった事案についても共有することができました。

今後も、入居者が安全に生活できる環境を構築できるように取り組んでいきます。

活動の詳細については、別紙「事故防止検討委員会開催状況表」を参照。

(3) 排泄ケア向上委員会の定期開催

今年度の委員会のテーマとして、フロアごとに目標を設定し、目標の達成に向けてアドバイザーの助言を基にフロアにて取り組みを行いました。

また、目標達成に向けてご入居者の事例検討や、排泄支援に課題があるご入居者に対しては他部署職員にも委員会に参加してもらい、他部署の視点や排泄アイテムメーカーのアドバイザーからの助言も取り入れることにより、活発な意見交換ができ、新たな気づきや学びも生まれ、知識を深める事ができました。

次年度は、法人全体で排泄に関わる取り組みも実施されます。役職者及び排泄委員を中心に、少しでも目標の達成に向けて努力し取り組んでいきます。

委員会の活動状況については、別紙「排泄ケア向上委員会開催状況」を参照。

(4) 余暇活動の支援

今年度は、フロアごとに独自のレクリエーションの企画・運営をはじめ、年間を通してレクリエーションに力を入れ実施しました。

流しそうめん、綿あめ作り、フロア喫茶店など多数で行う余暇活動から、個別でも楽しめるレクリエーションまで幅広く実施することで、ご入居者と職員の交流も深まり、楽しめました。フロア職員が企画、運営を行うことにより、レクリエーションの意識も高まり創意工夫して取り組みを行いました。

また、クラブ活動については、参加された皆さんが熱心に活動され、ボランティアの先生の協力もあり、完成した作品は居室や多目的ホールなどに展示し、ご入居者の目に触れる機会を多く設けました。

次年度もご入居者の皆さんに楽しんでいただく工夫をし、さらにレクリエーションの幅も増やしながら取り組んでいきたいと思ひます。

各クラブ参加状況については、別紙「クラブ（フラワーアレンジメント・書道・絵手紙）実施状況」を参照。

レクリエーション参加状況については、各階事業報告の「レクリエーション実施状況」を参照。

(5) 行事の実施

前年度同様に、他部署の協力を仰ぎながら各種の行事を滞りなく実施することができました。毎月の行事企画委員会では、ご入居者の皆さんに楽しんでいただく工夫を行い、実施しました。

また、感染症発生以前に実施していた外出援助（近隣のショッピングモール）を今年度は新たに追加し、今まで外出ができなかったご入居者の皆さんも外の空気に触れ、外出先での買い物など、普段と違った雰囲気を味わっていただくことができました。

次年度も引き続き、感染拡大防止を図ると共に、新たな行事の企画・立案に向けて、ご入居者の希望や、以前に実施していた外出援助（日帰り旅行）などの実現に向けて取り組んでいきます。

(6) 家族交流の活性化への支援

ここ数年、ご家族については面会の制限を実施していましたが、今年度、面会だけでなく、外出、外泊も制限が解除され、多くの面会者をお迎えする事が出来ました。ご家族来園時は居室担当職員が中心となり、積極的に面会のご家族に声掛けをして、ご入居者の近況や様子をお伝えする事で、信頼関係の構築に努めました。

次年度も、ご家族からの安心と信頼を得られるように職員一同努力していきます。

別紙「面会・外出・外泊状況表」を参照。

(7) 整容支援

整容については、ご入居者が毎日気持ちよく生活出来るように、起床時や食事前、入浴時などに身だしなみを整え、ご入居者の生活歴にも留意しながら支援を行いました。

また、医務課と連携を図りながら定期的な爪切りや耳掃除等を行う事で、ご入居者が快適に気持ちよく生活してもらえるように努めました。

理美容についてはご入居者・ご家族の要望や希望を募り、ご入居者一人ひとりに合わせたヘアスタイルやヘアカラーなどを実施し、援助を行いました。

別紙「理美容利用状況表」を参照。

役職者会議開催状況

月	議 題 内 容
4 月	令和 6 年度の役職者会議について・令和 5 年度の各フロア事業計画の総括・夜間帯の救急搬送について・各フロアより
5 月	中途職員入職後の指導の仕方について・各フロアより
6 月	口腔の健康状態の評価及び情報共有書について・介護業務日誌について・還元面談について・各フロアより
7 月	施設長より・EPA 候補生について・各フロアの機械浴について・各フロアより
8 月	施設長より・EPA 候補生の情報共有及び研修について・福祉サービス第三者評価について・介護用品、福祉用具について・各フロアより
9 月	介護日誌及びケース記録のフロアでの入力モニタリングについて・車椅子短期レンタルについて・いきいき通販について・各フロアより
10 月	施設長より・介護課内の業務について・各フロアより
11 月	施設長より・実地指導について・園盛会 D X（A チームより）について・職員関係について・各フロアより
12 月	施設長より・月次総括について・E P A 候補生の現状報告・園盛会 D X（A チームより）について・各フロアより・副主任より
1 月	施設長より・実地指導の振り返り・施設ケアマネについて・介護課内の業務について・各フロアより
2 月	施設長より・園盛会 D X（A チームより）について・むさしの園介護課主任との意見交換・来年度の委員会、クラブ活動について・T E N A マイスターについて・各フロアより
3 月	施設長より・TENA について・各フロアより・園盛会 D X（A チーム）より

排泄ケア向上委員会開催状況

	議 題 内 容
5 月	今年度の排泄員会について・3 月、4 月発注量の確認・今後のオムツの納品について
8 月	各階の取り組み目標について・5 月、6 月、7 月発注量の確認・アドバイザーとの情報共有
11 月	各階の目標の経過報告・各フロアより・8 月、9 月、10 月発注量の確認・アドバイザーとの情報共有
2 月	各階の目標の経過報告・11 月、12 月、1 月発注量の確認・TENA マイスター検定について・次年度の排泄委員会について・排便サポートについて

ホーム喫茶・ギターハーモニカ参加人数実績表

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
ホーム喫茶	83	56	69	51	78	0	75	51	103	43	85	48	742
ギターハーモニカ	17	15	21	19	19	0	20	20	23	23	15	19	211

※9 月ホーム喫茶、ギターハーモニカは感染症対応の為、中止となりました。

令和 6 年度 施設行事・ボランティア行事参加人数実績表
(ホーム喫茶・ギターハーモニカは上記に記載)

開催月	実 施 内 容	参加人数
4 月	1 日 紙芝居 2 日～5 日 お花見 5 日 外出援助 (イオン) 17 日 大正琴 22 日 音楽療法	15 名 12 名 2 名 26 名 17 名 72 名
5 月	10 日 外出援助 (イオン) 10 日 カラオケ 13 日 音楽療法 17 日 衣料品販売会 24 日 寿司の日	2 名 19 名 14 名 67 名 80 名 182 名
6 月	3 日 紙芝居 7 日 運動会 10 日 音楽療法 19 日 大正琴演奏会 21 日 外出援助 (イオン)	13 名 98 名 20 名 24 名 2 名 157 名

開催月	実 施 内 容		参加人数
7 月	8 日 音楽療法	18 名	145 名
	19 日 納涼祭	109 名	
	23 日 カラオケ	18 名	
8 月	5 日 紙芝居	15 名	15 名
9 月	9 日 音楽療法	23 名	132 名
	13 日 敬老会	109 名	
10 月	4 日 外出援助（イオン）	2 名	176 名
	7 日 紙芝居	16 名	
	11 日 アクティブハート	41 名	
	16 日 大正琴	16 名	
	18 日 寿司の日	78 名	
	21 日 音楽療法	23 名	
11 月	1 日 外出援助（イオン）	2 名	163 名
	8 日 カラオケ	18 名	
	8 日 衣料品販売会	58 名	
	29 日 餅つき大会	85 名	
12 月	2 日 紙芝居	12 名	56 名
	9 日 音楽療法	23 名	
	18 日 大正琴	21 名	
1 月	6 日～9 日 初詣	12 名	46 名
	10 日 カラオケ	14 名	
	20 日 音楽療法	20 名	
2 月	2 日 節分	103 名	165 名
	3 日 紙芝居	12 名	
	10 日 音楽療法	19 名	
	26 日 大正琴	31 名	
3 月	4 日 リモート紙芝居	19 名	72 名
	7 日 外出援助（イオン）	2 名	
	11 日 リモート音楽療法	21 名	
	21 日 寿司の日	30 名	
合 計			1,381 名

書道クラブ実施状況報告

クラブ活動総括		担当講師	担当者名
書道クラブは、毎月第1火曜日に開催されており、皆さん、いつも楽しみにされています。お手本を用意し、参加されたご入居者の皆さんは真剣な表情で納得のいくまでご自身の作品を仕上げていました。 完成した作品は、施設1階の入口に展示させていただきました。		柴先生	宍戸 梨沙 花岡 優里弥 堀越 智仁 椎野 遼太
開催日	実 施 内 容	参加人数	
4月2日	「四月」、「桜吹雪」、「昭和の日」	12名	
5月7日	「鯉のぼり」、「初鯉」、「八十八夜」「立夏」	9名	
6月4日	「六月」、「走り梅雨」、「雨蛙」、	12名	
8月6日	「夏祭り」、「精霊流し」、「残暑」	15名	
9月3日	「九月」、「秋の七草」、「秋の七草」	10名	
10月1日	「十月」、「味覚の秋」、「神無月」	8名	
11月5日	「十一月」、「冬支度」、「勤労感謝」	7名	
12月3日	「十二月」、「冬将軍」、「年越しそば」	9名	
1月28日	「節分」、「梅見月」、「立春」、「如月」	12名	
2月4日	「早春」、「草木の芽」、「福豆」、「立春」	11名	
3月4日	「弥生」、「春光」、「桃の節句」、「春分の日」、「土筆」「お水取り」	11名	
合 計			116名

※7月は感染症対応のため、中止となりました。

フラワーアレンジメントクラブ実施状況報告

クラブ活動総括		担当講師	担当者名
フラワーアレンジメントクラブは、毎月第2火曜日に開催されています。ボランティアの先生指導のもと、季節に合った生花を熱心に生けていました。 完成された作品は、ご自分の居室へ持ち帰り鑑賞され楽しまれていました。		柴先生	笹沼 幸江 原崎 留奈 長嶋 益子
開催日	実 施 内 容	参加人数	
4月9日	バラ、スプレーバラ、カーネーション、てまり草、ヒペリカム、デンファレ、サンデリアーナ	15名	
5月14日	ヒペリカム、コット、てまり草、スプレーション、カーネーション	15名	
6月11日	八重咲ゆり、ひまわり、カーネーション、ルスカス、ペリカム、トルコキキョウ	15名	
7月9日	スプレーバラ、バラ、ピンクッション、トルコキキョウ、カーネーション、ゴット	16名	
8月13日	ひまわり、花那須、クルクマ、トルコキキョウ、デンファレ、ゴット	15名	
9月10日	ピンクッション、りんどう、バラ4色、カーネーション、アンスリウム、サンデリアーナ	15名	
10月8日	マリーゴールド、リンドウ、カーネーション、ヒペリカム、スターチス、オンシジューム、モンステラ、ゴット	16名	
11月12日	マリーゴールド、バラ、カーネーション、ヒペリカム、スターチス、オンシジューム、ユーカリ、レザーファン	16名	
12月10日	スカシユリ、デンファレ、カーネーション、ウインターベリー、ヒムロスギ	16名	
1月14日	シンビジューム、カーネーション、てまり草、ゴット、スターチス	16名	
2月10日	シンビジューム、カーネーション、スイトピー、スターチス、ヤツデ	17名	
3月11日	シンビジューム、ガーベラ、スイトピー、サンダーサンア、ルスカス、チューリップ、美女なでしこ	17名	
合 計			189名

絵手紙クラブ実施状況報告

クラブ活動総括		担当講師	担当者名
絵手紙クラブは、毎月1回第3火曜日に開催されており、ご入居者の皆さんは毎月楽しみにされています。 毎月、担当講師や職員が用意した季節の花や装飾を題材にハガキに絵を描きました。 講師のアドバイスにより毎回素敵な作品ができあがり、完成した作品をご入居者同士で見せ合い、喜ばれる様子が見られました。 完成した作品はご本人の居室や多目的ホールに飾ったり、ご友人やご家族に郵送したりされています。		柴先生	長浜 文哉 津田 潤也 椎野 遼太
開催日	実 施 内 容	参加人数	
4月16日	さくら、タンポポ、鯉のぼり	6名	
5月21日	紫陽花、梅干し、カエル	8名	
6月18日	紫陽花、金魚、フグ、枝豆	7名	
7月16日	扇子、すいか、ひまわり	6名	
8月15日	あさがお、すいか、ひまわり	5名	
10月15日	栗、かぼちゃ、サンマ、干し柿	6名	
11月19日	梅、椿、来年の干支	5名	
12月17日	クリスマスツリー	2名	
1月21日	シクラメン、南天	8名	
2月18日	ひな祭り	8名	
3月19日	チューリップ、すいせん	7名	
合 計			68名

※9月は感染症対応のため、中止となりました。

面会・外出・外泊状況表
(看取り面会含む)

	面 会		外 出		外 泊		備考
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	
4 月	81	293	13	13	0	0	・延べ人数については、当該月の面会回数(1名につき複数回の面会も含まれる)を表記したものです。
5 月	85	314	7	7	0	0	
6 月	76	306	8	12	0	0	
7 月	74	228	23	18	0	0	
8 月	74	262	17	25	0	0	
9 月	61	182	12	17	0	0	
10 月	68	285	12	19	1	1	
11 月	78	291	15	27	0	0	
12 月	73	249	17	31	0	0	
1 月	77	334	18	38	0	0	
2 月	74	301	15	21	0	0	
3 月	83	348	18	25	1	1	
計	904	3,393	175	253	2	2	

理美容利用状況表

	カット	ひげそり	パーマ	毛染め	利用人数	備考
4 月	33	2	1	3	34	・カット、髭剃り等の各項目については、当該月の利用回数(1名につき複数項目利用も含まれる)を表記しています。 ・利用人数については、当該月の実人数を表記しています。
5 月	39	1	0	0	39	
6 月	44	1	0	4	44	
7 月	40	0	0	3	41	
8 月	36	0	0	3	36	
9 月	24	0	0	1	24	
10 月	56	1	0	3	57	
11 月	22	1	1	2	23	
12 月	49	2	0	5	49	
1 月	42	0	0	4	42	
2 月	40	0	0	1	40	
3 月	41	2	0	3	42	
計	466	10	2	32	471	

介護課 1 階 事業報告

1 介護課 1 階業計画目標の総括

余暇活動においては、各職員から様々な提案があり、フロア内で検討・改善したのちに開催し、ご入居者、職員共に楽しいひとときを過ごすことができました。

生活面では、一人ひとりについてもっと適した援助ができたのではないかと課題も残りました。また、体調管理について、状態が悪化する前に他部署と連携・対応したことで入院するまでには至らなかったケースもありました。事故が起きた場合も未然に防げた事故や、事故後の対応策についてもフロア内で共有し迅速な対応に努めました。

2 活動報告

(1) フロア独自の取り組み事項

前年度同様、毎日のミーティング時にご入居者一名を対象にした話し合いを行いました。対象者が一名のため、その方についてより深く話し合う事ができ、事故等が起きた場合はその方について臨時で対応策を検討しました。

以下にも記載しましたが、レクリエーションの活動に関しては、他フロアのご入居者も参加できるレクリエーション、フロア全体でのレクリエーション、ユニットごとで開催するレクリエーション等、様々なバリエーションで提供できました。また、ユニットの装飾にも力を入れ、ユニットリーダーを中心に四季折々の装飾を施すことができました。

(2) フロア会議の開催状況

フロア会議では、職員全員でご入居者の対応だけではなく、日々の業務に関しても話し合いを行いました。勤務上、出席できる職員の人数は限られてしまいますが、事前に改善点や提案を出してもらうことで、全職員でご入居者やフロア内の事を考えるようにしました。また、2 ヶ月に 1 度でしたがフロア会議前にユニットリーダー会議を行い、ユニットリーダーから話し合った内容や周知事項の報告等を行いました。

別紙「フロア会議開催状況」を参照。

(3) 余暇活動の開催

大きなレクリエーションとして、フロア全体でのレクリエーションを行うことがなかなかできなかったため、今年度は職員が計画・準備を行い、流しそうめんを行いました。ご入居者の食事形態にも配慮したことで、皆さんに楽しんでいただくことができました。また、足浴やハンドマッサージなども行い、楽しんでいただきました。季節によっては散歩を行い、外気浴をしていただく機会を作りました。

別紙「レクリエーション実施状況」を参照。

フロア会議開催状況

実施日	議 題 内 容
4 月 30 日	ご入居者について・業務について・その他
5 月 28 日	ご入居者について・業務について
6 月 28 日	ご入居者について・その他
7 月	業務都合にて実施できず。フロアミーティングにて話し合いを実施。
8 月 18 日	ご入居者について・その他
9 月 30 日	ご入居者について・その他
10 月 30 日	前回の評価・ご入居者について・その他
11 月 25 日	前回の評価・ご入居者について・その他
12 月 23 日	前回の評価・ご入居者について・その他、間接業務について
1 月 21 日	前回の評価・ご入居者について・その他
2 月 26 日	ご入居者対応について・周知事項
3 月 14 日	前回の評価・ご入居者対応について・周知事項

レクリエーション実施状況

4 月	6 回	風船バレー・塗り絵・散歩（屋内・屋外）・音楽鑑賞	29 名
5 月	6 回	折り紙・歌・音楽鑑賞・風船バレー	44 名
6 月	4 回	カラオケ・散歩（屋）	54 名
7 月	4 回	七夕の飾りつけ・風船バレー・流しそうめん	46 名
8 月	4 回	折り紙・風船バレー・塗り絵	34 名
9 月	4 回	ビンゴ大会・足浴・折り紙・手芸	45 名
10 月	4 回	カラオケ・折り紙・塗り絵	51 名
11 月	4 回	塗り絵・風船バレー・折り紙・散歩（屋内）	33 名
12 月	5 回	ボーリング・散歩（屋内）・軽作業・足浴	36 名
1 月	10 回	カラオケ・足浴	96 名
2 月	5 回	ワニのゲーム・散歩（屋内）・ハンドマッサージ等	34 名
3 月	5 回	風船バレー・塗り絵・音楽鑑賞・折り紙・散歩（屋内）	36 名
合 計			538 名

介護課 2 階 事業報告

1 介護課 2 階業計画目標の総括

今年度は、9 月にご入居者 27 名と職員 8 名の新型コロナウイルスの陽性者が発生し、クラスター対応となりましたが、適切なまん延防止対応を図ったことで、対応期間は 10 日間と長引くことはなく終息しました。

日頃の感染予防対応としては、面会や外出の制限が緩和し、以前よりご家族と接する機会が多くなったため、ご入居者の体調管理や感染予防に努めました。

前年度に引き続き、ご入居者の生活の安定のため、フロアミーティング等の際に転倒などの事故の発生原因等の検証、再発防止策を話し合い、事故の発生防止に努めました。

次年度は、新規入居者の 24 時間シートの作成、職員全員で現ご入居者のシートの見直しと更新を行い活用していくことにより、個別ケアの実践が出来るよう取り組んでいきます。

2 活動報告

(1) フロア独自の取り組み事項

ご入居者の誕生日には、職員とご入居者で誕生日の歌を唄い・写真を撮りお祝いしました。今年度は色紙の作成が出来なかった為、次年度はフロアにて話し合い、色紙やメッセージカードの作成を行っていききたいと思います。

他には、拘縮のあるご入居者に対してのポジショニングや、移乗の難しいご入居者の移乗方法をリハビリ係に相談し、フロア内で統一した介助を行えるよう検討し実践しました。

(2) フロア会議の開催状況

6 月・7 月が業務の都合にて書面開催、9 月は新型コロナウイルス感染対応にて書面開催、12 月は業務の都合により開催できませんでした。会議開催の前には、フロア会議で検討したい内容を記載する用紙を張り出し、事前に意見をまとめるようにしました。これにより、当日スムーズに会議を進めることができ、参加できない職員からも意見が出せるようになりました。

参加できる月には、他部署の職員にも出席を依頼し会議を行いました。次年度も参加してもらえる月は、他部署の職員にも参加してもらい、各方面の意見を取り入れていきたいと思っています。また、参加回数が少ない職員も数名いたため、次年度は全職員が参加できるよう勤務調整をしていきたいと思っています。

別紙「フロア会議開催状況」を参照。

(3) 余暇活動の開催

今年度は、新型コロナウイルス感染症の対応等により開催回数が少ない月がありました。感染対応の緩和により、集団でのレクリエーションの開催を増やすことができ、普段関わりの少ない他ユニットのご入居者との交流を図ることができました。

また、フロア費で綿あめ機を購入したことにより、どの食事形態のご入居者でも楽しめるレクリエーションを行うことができました。職員と一緒に綿あめを作るご入居者、職員が作る姿を熱心に見ているご入居者もあり、皆さん楽しまれていました。

別紙「レクリエーション実施状況」を参照。

フロア会議開催状況

実施日	議 題 内 容
4 月 28 日	職員指導について・業務について
5 月 3 日	新人指導について・業務について
6 月 13 日	業務都合にて書面開催
7 月 25 日	業務都合にて書面開催
8 月 22 日	業務について・ご入居者対応について
9 月 25 日	感染症対応の為、書面開催
10 月 28 日	業務について・ご入居者対応について・副主任より
11 月 27 日	業務について・ご入居者対応について
12 月	業務都合にて未実施（フロアミーティングにて話し合い実施）
1 月 31 日	業務について・ご入居者対応について・看取り対応の振り返り
2 月 21 日	業務について・ご入居者対応について
3 月 21 日	業務について・ご入居者対応について

レクリエーション実施状況

4 月	18 回	トランプゲーム・かるた・カラオケ等	81 名
5 月	14 回	玉入れ・卓球・トランプ遊び等	58 名
6 月	11 回	脳トレゲーム・屋上散歩・歌等	40 名
7 月	7 回	軽作業・かるた・トランプ遊び等	17 名
8 月	4 回	テーブルバレー・かるた・百人一首・音楽鑑賞	24 名
9 月	4 回	ボール投げ・屋上散歩・音楽鑑賞・軽作業	17 名
10 月	8 回	風船バレー・体操・音楽鑑賞等	39 名
11 月	9 回	輪投げ・カラオケ・音楽鑑賞等	42 名
12 月	14 回	かるた・わたあめ・屋内散歩・ビンゴ等	107 名
1 月	14 回	風船バレー・わたあめ・輪投げ等	118 名
2 月	6 回	屋上散歩・風船バレー・ボール投げ等	48 名
3 月	4 回	ボール投げ・風船バレー	22 名
合 計			613 名

介護課 3 階 事業報告

1 介護課 3 階 業務計画目標の総括

ご入居者の個別ケアの実践については、なかなか取り組むことが出来ませんでした。業務の改善、効率化、職員の負担軽減は毎月のフロア会議や日々の申し送りの中で話し合いを行い改善を図り、フロア単位ではできないことは、役職者会議などで意見を求め、介護課全体で改善できるようにしました。

また、稼働率としては一年間で入院者 11 名、退居者 9 名となりました。うち骨折による入院が 4 名いたため、次年度では事故による入院をゼロにできるよう取り組んでいきたいと思えます。また、体調不良による入院も複数いたため、入院となる前に未然に防ぐことができるよう職員全体でご入居者の体調管理を行い取り組んでいきます。

2 活動報告

(1) フロア独自の取り組み事項

令和 5 年度に引き続き、福祉用具を使った職員の負担軽減のための取り組みの一環としてリフトを使用した移乗介助について行いました。5 月に対象となるご入居者が退院され使用を開始し、初めのうちは慣れないために時間が掛かったりしましたが、徐々に慣れてきて適正に使用する事ができました。

今後は 3 階だけでなく他のフロアでも使いたいという意見が出てきているため、3 階で培った経験を共有していくことができればと思います。

(2) フロア会議の開催状況

7 月、9 月が書面開催、8 月に新型コロナウイルス感染症、12 月にインフルエンザの為、実施することができませんでした。開催する際は、フロア職員全体から事前に意見を集め、それを基に会議を開催することで会議に参加できない職員も意見を出すことができるようにしました。

また、会議の中で、フロアで看取りを行ったご入居者の対応についての振り返りを行うことで、今後、他の方が看取りの対応となった際に、どのようにすればご本人・ご家族にとって「良い最期を迎えられるか」「良い支援となるか」を話し合いました。

別紙「フロア会議開催状況」を参照。

(3) 余暇活動の開催

ユニット費を活用して一人で出来るレクリエーションの充実を図りました。パズルや塗り絵などはご入居者が出来るような大きくて見やすいものを購入し、余暇時間にやっていただきました。

また、カラオケの機械を月別で持ち回りにし、各フロア決まった月にそのフロアで使用できるようにしました。その結果、カラオケのある月には多目的ホールに何名かの決まった方が来られるようになり、違うユニットの方たちと交流が図れました。

別紙「レクリエーション実施状況」を参照。

フロア会議開催状況

実施日	議 題 内 容
4 月 30 日	連絡事項・ご入居者に関すること・その他
5 月 30 日	連絡事項・ご入居者に関すること・看取りの振り返り
6 月 27 日	連絡事項・ご入居者に関すること・看取りの振り返り
7 月 26 日	連絡事項・ご入居者に関すること（書面開催）
8 月 30 日	職員欠勤多数により未開催。議題は次回持ち越し
9 月 26 日	連絡事項・ご入居者に関すること（書面開催）
10 月 29 日	連絡事項・業務に関すること・ご入居者に関すること・看取りの振り返り
11 月 28 日	連絡事項・業務に関すること・ご入居者に関すること・その他
12 月	インフルエンザ対応の為、実施せず
1 月 27 日	連絡事項・業務に関すること・ご入居者に関すること・その他
2 月 28 日	連絡事項・業務に関すること・ご入居者に関すること・看取りの振り返り
3 月 28 日	連絡事項・業務に関すること・ご入居者に関すること・その他

レクリエーション実施状況

4 月	10 回	おやつ作り・綿あめ・かるた・トランプ・風船バレー等	95 名
5 月	6 回	カラオケ・ビデオ鑑賞	61 名
6 月	5 回	風船バレー・百人一首・かるた	23 名
7 月	2 回	七夕飾り付け・楽器演奏	17 名
8 月	35 回	カラオケ・かき氷作り	114 名
9 月	31 回	かき氷作り・ビデオ鑑賞・カラオケ	107 名
10 月	3 回	カラオケ・おやつ作り	22 名
11 月	18 回	読書・塗り絵・パズル・	18 名
12 月	13 回	カラオケ・パズル・音楽鑑賞	18 名
1 月	26 回	屋内散歩・パズル・読書・トランプ・足浴	47 名
2 月	40 回	読書・パズル・屋内散歩	44 名
3 月	13 回	屋内散歩・カラオケ・屋外散歩・ビデオ鑑賞	72 名
合 計			638 名

医務課医務係 事業報告

1 医務課医務係事業計画目標の総括

(1) 医療従事度の高い方にも対応できるよう心掛け、満足度に繋げる

例年医療的サポートを必要とするご入居者が増えている現状があります。胃瘻からの栄養剤の注入や管理、バルーンやストマの交換とその管理、在宅酸素、血糖測定やインスリン注射など適切に実施しました。またミーティングにて個々のニーズに合わせられるよう検討し、必要時嘱託医の指示を仰ぎました。面会が再開したため、面会に来たご家族へ直接状態報告を行うことで、ご家族の安心にも繋がったのではないかと思います。

(2) 業務内容を見直し効率化を図った上で、適した業務分担を行う

業務整理を行ったことで役割分担を明確化し、各々が責任をもって業務に取り組むことができました。ほのぼのの有効活用については、一部ほのぼのへ移行を行ったことで重複記録が減り、情報共有が行いやすくなりました。委員会や研修については、今後さらに分担できればと思っています。

(3) 意見が言い合えるよう、職員間の風通しの良さを目指す

医務課では毎日午後にミーティングを実施し、その際に意見を言い合えるような環境づくりに努めました。個人に負担がかからないよう、判断に迷う時や悩んだ時にはチームとして解決できるよう努めました。またご入居者のケアや看護について他部署と意見交換ができるよう、人間関係の構築にも努めました。

(4) 稼働率の安定のため、健康管理に考慮する

新型コロナ感染症が5類となっても、毎日の体温測定と月1回のバイタル測定は継続して行いました。体温測定をこまめに実施することで、異常の早期発見に努めました。体調悪化時は嘱託医へ相談して指示を仰ぐ、もしくは医療機関に早期に受診することで、状態の悪化・長期化を防ぐことができるように努めました。

2 活動報告

(1) 感染症対策委員会開催

年4回開催の定期感染症対策委員会では、新型コロナウイルスについてだけではなく、インフルエンザや感染性胃腸炎の対応についても再確認しました。また、感染症研修にてガウンテクニック等も実施したため、その振り返りや意見交換なども行いました。

施設内では9月に新型コロナウイルス、12月にインフルエンザの感染症がやや流行してしまいましたが、その際には都度臨時感染症委員会を開催しました。感染者数が増え、職員間でも感染が広がってしまったため、情報の共有にはやや苦戦しましたが、どちらも無事終息することができました。

(2) 褥瘡予防対策委員会の開催

偶数月の第3木曜日に開催し、奇数月については書面にて共有を図りました。前年度同様、定期的に褥瘡の状態を写真に残し、前回との比較や経過を追えるようにしました。他部署と意見交換を行いながらケアを実施したり、エアーマットの導入を検討したりすることで早期治癒に繋げることができました。

(3) インフルエンザ予防接種の実施

11 月から 12 月にかけて嘱託医協力の元で希望する入居者に実施し、大きな問題もなく終了しています。前年度同様に職員の予防接種については、秋の健康診断に合わせて所沢中央病院健診クリニックに実施していただきました。

(4) 新型コロナ予防接種の実施

ワクチン接種は嘱託医協力の元、希望するご入居者と職員に 11 月に実施しています。9 月に新型コロナ感染拡大がみられ、多数のご入居者が感染されたこともあり、9 月に感染されたご入居者と職員については 1 月に実施しました。

(5) 健康診断の実施

例年と同時期の 10 月 22 日に心電図・採血・胸部レントゲン検査及び尿検査を実施しました。検査結果は医務課や嘱託医による今後の健康管理に役立てています。

(6) 法定研修の実施

年 2 回の感染予防研修について、今年度 1 回目は書面開催にて実施しました。手洗いとガウン・マスクの着用方法について配布した資料にて再確認を行うことができました。2 回目は感染症対策ガイドブックを熟読し、また感染症が発症した想定でガウンテクニックの実践も行いました。実践を行ったことで、有事にも対応できるよう身についたのではと思います。

褥瘡予防研修では、褥瘡ができる原因やできやすい場所について書面にて再確認することができました。

また、看取りの研修を年 2 回開催し、生活課と医務課で分けて担当して実施しました。医務課の担当の際には、看取りケアについての動画を視聴し、学びを深めました。

感染症研修、褥瘡研修、看取り研修それぞれ少しずつ書面開催から集まっの研修に移行しています。書面研修では確認しきれなかった部分等を今後共有していけたらと考えています。

入居者診療状況（実人数）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
内科（往診）	108	108	109	110	110	111	106	108	105	106	107	108
精神（往診）	2	3	2	0	2	3	5	6	7	8	7	7
内科	4	2	2	3	4	2	2	2	6	4	2	3
消化器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
循環器科	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
内分泌科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	0	0	1	2	0	0	1	0	1	1	0	2
整形外科	5	2	4	6	4	3	3	2	3	4	4	4
脳外科	0	3	2	2	2	0	2	2	2	1	4	4
精神科	1	0	1	0	1	0	2	0	1	1	3	0
皮膚科	1	2	0	1	1	1	2	0	1	1	0	2
眼科	1	1	1	1	0	0	1	0	0	1	2	0
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科・口腔外	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	1	2	0	0	0	2	0	1	1	1
救急外来	3	4	2	2	0	5	1	1	4	1	1	2
歯科（往診）	71	71	69	66	71	86	88	82	55	81	82	85
合 計	198	197	194	196	197	212	213	205	186	211	213	218

入居者診療状況（延人数）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
内科（往診）	134	151	167	145	143	139	154	155	184	158	128	140
精神（往診）	4	5	4	0	4	5	8	11	14	15	13	13
内科	4	3	2	3	4	2	2	2	6	4	2	3
消化器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
循環器科	0	0	0	0	4	0	0	0	1	0	0	0
内分泌科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	0	0	1	3	0	0	1	0	1	1	0	2
整形外科	6	3	4	6	6	4	3	2	3	4	5	6
脳外科	0	3	2	2	4	0	2	2	2	1	4	4
精神科	2	0	1	0	1	0	2	0	1	1	3	0
皮膚科	1	2	0	2	1	1	2	0	1	1	0	2
眼科	1	6	1	1	0	0	1	0	0	2	3	0
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科・口腔外	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	1	4	0	0	0	3	0	1	2	1
救急外来	3	5	2	2	0	5	1	1	4	1	1	3
歯科(往診)	112	114	91	110	74	88	111	114	94	107	86	119
合 計	269	293	276	279	242	245	287	290	311	297	247	293

入院状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
内科	2	2	2	2	2	3	1	1	4	0	1	0
脳外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
整形外科	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0
その他	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
合計	3	2	2	3	2	5	2	1	4	1	4	3

退所状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
退所	1	6	1	2	2	6	3	2	2	0	1	1
(内死亡者)	1	3	0	2	1	4	3	2	2	0	0	1

医務課リハビリ係 事業報告

1 医務課リハビリ係事業計画目標の総括

(1) リハビリ内容を都度検討し、個々の要望を反映させる

フロアラウンド時やリハビリ実施時に、ご入居者と積極的にコミュニケーションを図りながらよく観察することで、ご入居者の状態や要望を把握し、リハビリに反映させました。

体を動かすのが苦手なご入居者には運動リハビリをひかえ、脳トレプリントなどを作成し、楽しんで参加いただけるように工夫しました。

年 11 月に行われた実地検査で指摘のあった「拒否の強いご入居者に対しての実現可能な機能訓練」について、リハビリ室での機能訓練に固執するとリハビリを実施できないことが多くなってしまう為、生活リハビリを中心に行うよう改善しました。

個別機能訓練計画の内容についても順次変更していきます。

(2) 業務内容の省力化・効率化を常に意識する業務を目指す

3 園合同リハビリ会議での意見交換をもとに、他 2 園と同様に、3 か月に 1 度の評価時、個別機能訓練計画に変更がないご入居者の身元引受人への「個別機能訓練計画継続のお知らせ」の郵送を控え、経費削減を行いました。

紙媒体の提出であったリハビリ日誌を「ほのぼの」での入力に移行し、フォーマットを 3 園共通のものにしたことで、統一化を図ることができました。

今後はさらに電子化を進め、「ほのぼの」をより活用できるようにしていく方針です。

(3) こまめなコミュニケーションをとることにより、早期問題解決を図り、働きやすい環境づくりに努める

けやき園リハビリ係は現在常勤 1 名非常勤 1 名で業務しており、非常勤の機能訓練指導員が週 2 回の出勤である為、こまめなコミュニケーションをとることが難しい状況ですが、特別な問題は起きていません。

3 園でのコミュニケーションが増え情報交換を適宜行っている為、園盛会のリハビリ係としての結束が強くなったことから、今後も継続していきます。

他部署の職員とのコミュニケーションを意識的に図るように努めていますが、まだ足りていないことが課題です。

(4) 利用者との強い信頼関係を築き、質の高いサービスを提供することにより、稼働率の向上につなげる

常に真摯であること、やさしく感じていただける雰囲気づくりや対応、を意識して業務に取り組みました。

①話をする際は必ず座って目線を同じにする、②友達口調にならないよう必ず敬語を使う、③リハビリ後には必ず 1 人 1 人にお礼を言う、に特に気を付け、「虐待の芽」を摘むことを念頭に置いての業務に努めた結果、ご入居者との信頼関係が向上し、気難しいご入居者にも信頼をいただけています。

ご入居者に何か変化が見られたり、ご要望があった際には、他部署と情報共有し協力して対応しました。

2 活動報告

(1) 機能訓練について

個別機能訓練計画をもとに、週 1～2 回の機能訓練を実施しました。

上述と重複しますが、11 月に行われた実地調査で「拒否の強いご入居者には実現可能な機能訓練内容にしてください」と指摘と助言を受けたことから、拒否の強いご入居者に関しては生活リハビリを中心とした内容に変更し、実施しました。

食事介助を開始した為、生活リハビリ介入の機会が増えたことに加え、介護職員の負担軽減にもつながりました。

(2) 個別機能訓練計画について

ご入居者の ADL の評価を新規入所時、3 ケ月毎、退院時や認知機能亢進等による身体機能の変化が見られた際に実施し、ケアプランをもとに個別機能訓練計画を作成しました。

今後「個別性」が重要視されるとの情報を受け、拒否の強いご入居者を含め個別機能訓練計画の見直しと変更を順次行っていく方針です。

同意率については、特筆すべき増減は見られませんでした。

※下表「個別機能訓練計画の同意数」参照のこと

(3) 参加人数について

前年度同様ご入居者の QOL を重要視したリハビリを継続実施した結果、参加率の向上につながりました。

新型コロナウイルス感染症のクラスター発生、インフルエンザウイルス感染蔓延などの理由から、機能訓練が実施できない期間があった為、参加人数のばらつきが見られました。

今後、参加意欲をさらに高め参加人数を増やしていく為に、リハビリの内容を精査し質を向上するべく、他 2 園にも協力いただき、スキルアップを図る予定です。

※下表「個別機能訓練参加延べ人数」参照のこと

(4) 研修について

3 月に医務課と合同で前年度同様、動画視聴と報告書提出の褥瘡研修を行いました。

3 園合同リハビリ会議で内容を精査し、ポジショニングの応用で介護職員が現場で気を付けてほしい点や、考えてほしい視点などの動画を選定しました。

他部署からの要望があればその他の研修も行っていこうと考えています。

個別機能訓練計画の同意数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
同意数(件)	110	112	111	112	112	112	109	108	107	107	110	111
在籍者数(人)	111	113	112	114	114	114	109	108	108	109	112	113
同意率(%)	99.1	99.1	99.1	98.2	98.2	98.2	100	100	99.1	98.2	98.2	98.2

個別機能訓練参加延べ人数

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
502	486	426	603	613	306	513	431	507	394	467	535	5,783

生活課 事業報告

1 生活課事業計画目標の総括

今年度の年間特養単体稼働率は96.3%となり、前年度より-0.7%、法人目標稼働率を1.7%下回る結果となりました。要因として定員111床に対し、年間の平均入院者数は、2.51人/日と2.2%を超えており、入院空床による影響がありました。また、入院時のユニット居室費用負担により、速やかに新規入居への転換ができなかった点や、待機者の減少により新規入居が進まずに空床期間の短縮が難しかった点が挙げられます。前年度からの課題が継続しており、次年度の改善に向けて取り組んでいきます。

ショートステイの年間稼働率は12.3%と目標数値を大きく下回りました。近隣のショートステイサービスの増加に伴い、ニーズの減少傾向がありますが、今後も新規利用者の確保やリピーターの増加に向けて営業活動を重ね、柔軟な受け入れを行っていきます。

2 活動報告

(1) 顧客ニーズを把握する意識を持ち、各課に情報共有を行う

令和7年1月より面会の制限の解除に伴い、ご家族との交流が活発になり、ご家族からの要望や意向確認を行う機会が増加しました。要望や苦情の相談については、中立・公平の立場に立ち誠実に対応し、困難事例については、本部や各部署と情報共有や相談を重ね、個々のケースに対応することができました。

また、面会頻度が上がることで、ご入居者の心身状態について、ご家族と相談や共有できる場面も増え、サービスの透明性とご家族・各部署の共通認識を高めることができました。

(2) コスト削減を意識し、業務の効率化を図る

施設内ネットワークや介護記録ソフトの活用により、書類の配布を減少し、データによる共有化により、コスト削減を図りました。また、毎年使用する集計記録については、手書きからデータ入力に移行する準備を一部進めており、次年度より開始していきます。

(3) さまざまな問題に対し意見の言いやすい環境を作り、働きやすい環境を作る

部署内の業務内容の分担と共有に努め、不在の際にも情報共有が図れるようにしました。外部との関りについては、本部営業担当課長と3名で定期的に意見交換を行い、各自の情報を活かして営業活動を行いました。

生活課が主体の委員会や研修において、職員が自由に意見を話せる雰囲気作りや質問事項のフィードバックにより、理解を深める機会を設けました。

10月後半より、休職に伴い1名体制で業務を行うこととなり、負担が厳しい状況でしたが、上司や各課の協力もあり、業務を遂行することができました。

(4) 入居待機者を増やすための施策を行い、稼働率向上と安定を図る

ショートステイ専用床3床を流動的に運用し、特養稼働率の向上に努めました。待機者の確保については、本部営業担当課長と連携した営業活動や情報の共有を行い、入居相談の受け入れを行いました。

施設紹介のポータルサイト「LIFULL 介護」では、4月掲載から3月末までに、PV数18,225件、問い合わせ件数444件となりました。定期的にサイトの担当者に相談し、閲覧数の獲得に努め、施設の宣伝を行い、見学者や待機者獲得につながりました。

施設内では、嘱託医・医務課・ご家族との連携を図り、ご入居者の病気の重篤化の予防や減少を意識し、速やかに受診により入院者の減少に努めました。

課題としては、未だに病院や施設では感染症対策やクラスターが発生している状況も多く、面接や入居までに時間を要するケースもあり、状況に応じた対応を検討していきます。

(5) 人権尊重・権利擁護の取り組み

令和 6 年 6 月 30 日に東京都知事選挙不在者投票を実施し、市内の選挙管理委員会より 2 名の立会人が同席され、17 名のご入居者が投票しました。

令和 6 年 10 月 23 日に衆議院小選挙区・比例代表選出議員、最高裁判所裁判官国民審査不在者投票を実施し、市内の選挙管理委員会より 1 名の立会人が同席され、8 名のご入居者が投票しました。立会人の協力により、公平かつ適正な不在者投票を行うことができました。

高齢者虐待防止・身体拘束適正化研修を年 2 回、看取りケア研修を医務課と協力し年 2 回、ハラスメント研修を年 1 回実施することができました。また、高齢者虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会を年 4 回開催し、法令遵守と人権尊重・権利擁護に取り組みました。

○別表

「入居者入居退居状況票」「居室稼働状況月間・年間平均集計表(%)」「ショートステイ利用状況票」「入居内訳」「退居内訳」「保険者別入居者入居状況票」「入居者性別・年齢別構成状況票」「要介護度認定状況表」「階層別負担者割合一覧表」「日常生活自立度一覧表」を参照。

入居者入居退居状況表

	前月末現在の在籍	入 居							退 居							本月末現在の在籍
		家庭	介護老人保健施設	他の介護老人福祉施設	病院	その他介護保険施設	介護保険施設以外	計	死亡（園内）	長期入院	介護老人保健施設	他の介護老人福祉施設	その他介護保険施設	介護保険施設以外	計	
4 月	109	0	1	0	1	0	0	2	1(1)	0	0	0	0	0	1	110
5 月	110	3	0	0	0	0	0	3	6(4)	0	0	0	0	0	6	107
6 月	107	1	0	1	2	1	0	5	0(0)	0	0	1	0	0	1	111
7 月	111	0	0	0	2	1	0	3	2(2)	0	0	0	0	0	2	112
8 月	112	0	2	0	0	0	0	2	1(1)	0	0	1	0	0	2	112
9 月	112	1	0	0	1	0	0	2	4(4)	2	0	0	0	0	6	108
10 月	108	0	0	0	0	1	0	1	3(1)	0	0	0	0	0	3	106
11 月	106	1	1	0	0	0	0	2	2(2)	0	0	0	0	0	2	106
12 月	106	1	0	0	0	1	0	2	2(2)	0	0	0	0	0	2	106
1 月	106	1	0	0	0	2	0	3	0(0)	0	0	0	0	0	0	109
2 月	109	0	1	0	1	1	0	3	0(0)	1	0	0	0	0	1	111
3 月	111	0	1	0	0	1	0	2	1(1)	0	0	0	0	0	1	112
合 計		8	6	1	7	8	0	30	22(18)	3	0	2	0	0	27	

居室稼働状況月間・年間平均集計表(%)

	A:特養本体 111 床	B:ショートステイ 3 床	C:全体 114 床
4 月	96.4	13.3	94.2
5 月	96.2	12.9	94.0
6 月	97.1	4.4	94.7
7 月	98.1	8.6	95.8
8 月	99.0	14.0	96.7
9 月	97.4	6.7	95.0
10 月	95.3	20.4	93.3
11 月	96.8	16.7	94.7
12 月	93.5	14.0	91.4
1 月	93.6	16.1	91.6
2 月	95.9	9.5	93.6
3 月	96.6	10.8	94.3
上半期	97.4	10.0	95.0
下半期	95.2	14.7	93.1
年間平均	96.3	12.3	94.1

ショートステイ利用状況表

年月	実 人 員			延 日 数			平均利用人数 (1日／名)
	男性	女性	計	男性	女性	計	
4月	3	1	4	9	3	12	0.40
5月	2	1	3	8	4	12	0.38
6月	1	1	2	2	2	4	0.13
7月	1	2	3	2	6	8	0.26
8月	1	2	3	4	5	9	0.29
9月	2	0	2	6	0	6	0.20
10月	3	2	5	12	7	19	0.61
11月	2	2	4	10	5	15	0.50
12月	2	1	3	9	4	13	0.42
1月	2	2	4	7	8	15	0.48
2月	1	1	2	5	3	8	0.29
3月	2	1	3	9	1	10	0.32
合計	22	16	38	83	48	131	0.36

入居内訳

男女比	人数	%	月間受け入れ数		保険者別		
男	7	23.3	月	人数	保険者	人数	%
女	23	76.7	4月	2	東久留米市	8	26.7
合 計	30	100	5月	3	西東京市	4	13.3
入居時介護度	人数	%	6月	5	小平市	3	10.0
要介護3	12	40.0	7月	3	国立市	1	3.3
要介護4	17	56.7	8月	2	清瀬市	4	13.3
要介護5	1	3.3	9月	2	小金井市	2	6.7
合 計	30	100	10月	1	町田市	1	3.3
入居前施設別	人数	%	11月	2	羽村市	1	3.3
在宅	8	26.7	12月	2	練馬区	1	3.3
老健	6	20.0	1月	3	文京区	1	3.3
医療機関	7	23.3	2月	3	杉並区	1	3.3
有料・サ高住	8	26.7	3月	2	埼玉県	2	6.7
他介護施設	1	3.3	平均	2.5	神奈川県	1	3.3
合 計	30	100			合 計	30	100

退居内訳

男女比	人数	%	退居者在園期間		退居理由内訳		
男	8	29.6	在園期間	人数	退居理由	人数	%
女	19	70.4	8年以上	6	永眠	21	81.5
合 計	27	100	6～7年	2	長期療養	3	11.1
退居時	人数	%	5～6年	0	家族意向	2	7.4
要介護1	0	0	4～5年	2	合 計	26	100
要介護2	0	0	3～4年	4			
要介護3	3	11.1	2～3年	1			
要介護4	10	37.0	1～2年	4			
要介護5	14	51.9	1年未満	8			
合 計	27	100	合 計	27			

保険者別入居者入居状況表

令和7年3月31日現在

保 険 者 名	男性	女性	合計	保 険 者 名	男性	女性	合計
杉 並 区	0	2	2	国 立 市	0	1	1
文 京 区	0	1	1	小 金 井 市	1	4	5
豊 島 区	0	1	1	小 平 市	2	13	15
中 野 区	0	2	2	町 田 市	0	1	1
練 馬 区	1	3	4	多 摩 市	0	2	2
板 橋 区	0	1	1	西 東 京 市	2	12	14
2 3 区 合 計	1	10	11	八 王 子 市	0	1	1
				東 久 留 米 市	3	39	42
埼 玉 県 久 喜 市	0	1	1	東 村 山 市	5	1	6
埼 玉 県 新 座 市	0	1	1	東 大 和 市	0	1	1
埼 玉 県 上 尾 市	1	0	1	府 中 市	0	1	1
埼 玉 県 所 沢 市	1	0	1	武 蔵 野 市	0	3	3
神奈川県相模原市	0	1	1	清 瀬 市	1	3	4
他 県 市 部 計	2	3	5	都 内 市 部 計	14	82	96
合 計	男性 17 名			女性 95 名		全体 112 名	

入居者性別・年齢別構成状況表

令和7年3月31日現在

年齢	男	性	女	性	計
100 歳以上	1		7		8
95 歳以上 ～ 100 歳未満	0		25		25
90 歳以上 ～ 95 歳未満	4		30		34
85 歳以上 ～ 90 歳未満	7		18		25
80 歳以上 ～ 85 歳未満	3		8		11
75 歳以上 ～ 80 歳未満	0		3		3
70 歳以上 ～ 75 歳未満	1		2		3
65 歳以上 ～ 70 歳未満	2		0		2
60 歳以上 ～ 65 歳未満	0		1		1
55 歳以上 ～ 60 歳未満	0		0		0
計	18		94		112
最 高 年 齢	100 歳		102 歳		
最 少 年 齢	67 歳		61 歳		
平 均 年 齢	85 歳		91 歳		全体 90 歳

要介護度認定状況表

令和7年3月31日現在

要介護 1			要介護 2			要介護 3			要介護 4			要介護 5			平均		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0	1	1	1	1	2	6	33	39	6	39	45	5	20	25	18	94	112

階層別負担者割合一覧表

令和 7 年 3 月 31 日現在

	第 1 段階		第 2 段階		第 3 段階①		第 3 段階②		第 4 段階	
食費	300 円		390 円		650 円		1,360 円		1,650 円	
居住費	880 円		880 円		1,370 円		1,370 円		2,600 円	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
要介護 1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
要介護 3	0	0	0	3	0	1	2	12	4	17
要介護 4	0	0	1	1	0	5	0	12	6	20
要介護 5	0	0	0	0	0	1	1	9	4	10
計	0	0	1	5	0	7	3	34	15	47
合 計	0		6		7		37		62	
比 率	0%		5%		6%		33%		55%	

日常生活自立度一覧表

令和 7 年 3 月 31 日現在

障害老人の日常生活自立度		認知症老人の日常生活自立度	
障害なし	0	認知症の症状なし	0
生活自立 J 1	0	I	1
生活自立 J 2	0	Ⅱ a	2
準寝たきり A1	2	Ⅱ b	12
準寝たきり A2	20	Ⅲ a	78
寝たきり B1	22	Ⅲ b	10
寝たきり B2	56	Ⅳ	9
寝たきり C1	3	M	0
寝たきり C2	6		
合 計 (人)	112	合 計 (人)	112

栄養課 事業報告

1 栄養課事業計画目標の総括

(1) 食生活の充実と満足度の向上を図る。

- ① 郷土料理や新メニューを提供した際、ミールラウンドを行い、法人栄養課で情報共有をしました。日々、ご入居者から味の感想やご意見を伺い、職員からはご入居者の反応を聞き取り調査しました。反響が良かった献立は次年度も引き続き提供し、日々のご意見は栄養課内で情報共有を行い、今後の食事サービスの満足度向上に努めていきます。
- ② 介護課職員の人員が不足する中、介護課職員の配膳業務負担を軽減する為栄養課で昼食のみご入居者全員分を皿に盛り付けを行う配膳に切り替えました。必要物品の検討から始まり、栄養課職員の担当者やメニューに合わせて日程を設定しシミュレーションを実施しました。厨房会議にて話し合いを重ね、栄養課内の勤務体制や配膳時間を変えずに10月より昼食を個別に盛り付けての配膳に移行しました。その為、毎月フロア毎に実施していたおやつレクとおにぎりバイキングを毎月全フロア実施のデザートバイキングに変更しました。年末に実施しました食事満足度調査では、デザートバイキングを「継続して欲しい」と回答した方が75%でした。厨房で盛り付けての配膳については「見た目がきれい」が44%、「変わらない」が50%でした。園での食事や行事の食べ物に対する満足度は62%の方が「満足」との回答でした。次年度も引き続き「満足」と回答していただけるよう取り組んでいきます。

(2) 共通献立の安定供給に努めることにより、業務の再効率化を図る。

- ① センター（むさしの園）からサテライト（けやき園・もみの樹園）に計画生産品の品質についてアンケートを実施し、情報共有を行いました。サテライトにおいて味の調整の有無や頻度、食材の硬さ（大きさ）等のアンケートを実施し、概ね問題無いという結果になりました。各園使用している機械やタイムスケジュールの若干の違いにより、加熱温度や時間に差があっても安定した計画生産品の提供が行われていたという結果になりました。引き続き各園にて情報共有を行い安定した食事の提供に努めていきます。
- ② 完全調理済食品取扱業者導入のシミュレーションを作成しました。
今後主力職員の定年退職などによる人材不足や現在長期化しているサテライト（もみの樹）とセンター（むさしの園）での人員不足も重なり、安定した三食の食事提供がいつ脅かされるか遠い未来ではないことが予想されます。現状の人員配置と給食単価・光熱費などと比較検討した結果、法人への給食に係る経費の圧迫が懸念され、断念する事になりました。
その後、米不足による米の高騰などにより給食単価の急激な上昇もあり、今後も完全調理済食品の導入も視野に入れながら、地道にコストの見直しと3食の安定供給のための施策に取り組んでいきます。

(3) 3園栄養課の職場環境の安定を図る。

- ① 人員不足による職場環境の悪化を少しでも改善できるよう、法人内栄養課で互いに調理職員を派遣し合い、職場環境の改善に努めました。職員確保が安定したのは、ムリ・ムダ・ムラの提案を行い、タイムスケジュールの見直しと適正人員配置の構築に努めます。
また、引き続き人員不足を補うための調理職員の派遣はもちろん、就業規則の改正事項内特別休暇の取得の為に職員の派遣を行い、職場環境の改善と職員満足度の向上に努めます。

② ICT 化推進のために食事サービス委員会にて、食事アセスメント表Ⅰのデータ管理に移行する取り組みを行いました。これまで紙ベースで作成・保管していた食事アセスメントⅠを介護ソフト内のデータ入力に切り替えました。これにより食事アセスメントに係る労力の縮小が実現となり、ご入居者の食事アセスメント情報をいつでも閲覧し、他部署と共有することが可能となりました。

食事アセスメント表Ⅱは、先行して第6次中期経営計画DXとむさしの園食事サービス委員会にて協議を重ね、実施・モニタリング、マニュアルの変更等を行っている為、今後はけやき園でも実施・モニタリングを行っていき、栄養課の園盛会スタンダードマニュアルの変更に着手していく予定です。

(4) ベッド稼働率に合わせた食数・食材管理を行う。

① 入院や退所、職員食数の増減により予定食数との乖離が大きき月もありましたが、こまめに食数変動の調整を行うことで予定食数と実施食数の乖離を抑えるよう取り組みました。また、可能な限り当月購入食材は当月内で処理を行い、月末在庫の削減に努めました。引き続き食材管理の徹底を図っていきたいと思います。

② 前年は夏季の高温や集中豪雨など地域格差が激しく、異常気象により新米の確保が困難となり、全国的な米不足となりました。9月頃から米の価格上昇があり、園盛会でも11月中旬より価格が1.5倍に値上がりがありました。その他の食材も人件費や材料コストの上昇、鳥インフルエンザの流行による鶏卵の高騰は現在も続いており、安価な食材に切り替えても給食単価を抑えることが難しくなってきました。特に正月商品の値上がりが顕著であり1月の給食単価8.4%の上昇がみられました。そのような厳しい状況下でも可能な商品は少しでも安価な物へ切り替え、栄養目標量を満たしながら食糧構成を見直し、食材料費10～15%の価格上昇がありましたが、前年比給食材料費を2.6%増に抑えることができました。

今後も継続的な物価高の影響が考えられるため、引き続き食材の見直しを随時行いながら給食単価の安定と行事食の材料費も検討していかなければならないと考えています。

2 活動報告

(1) 栄養ケアマネジメントの実施

4月・7月・10月・1月の年4回実施しました。各部署との連携を図り、ご入居者の身体測定・臨床検査等の情報をオンラインで収集し、食事摂取状況を比較しながら栄養状態のスクリーニングを行い、そのデータを参考に嘱託医による低栄養のリスクレベル判定を実施しました。

本スクリーニングと各部署からのご入居者の一人ひとりの情報を基にアセスメントを実施し、栄養ケア計画書の作成を行いました。モニタリングは高リスクについて2週間ごと、低・中リスクは月に一度行い、体重測定の後に実施しました。

表ー1「スクリーニング実施状況表」参照

表一「スクリーニング実施状況表」

頻度 リスク別	75 回目 4 月	76 回目 7 月	77 回目 10 月	78 回目 1 月
低リスク	59 名	61 名	57 名	57 名
中リスク	45 名	42 名	44 名	42 名
高リスク	5 名	6 名	6 名	6 名

※リスクとは、低栄養の状態が低い、高いかで、高リスクとは低栄養のリスクが高い事を示します。

(2) 食事サービスの向上のための会議実施

① 食事サービス委員会

偶数月第3木曜日の14:00～14:30の時間帯で開催しました。

管理栄養士が司会進行を行い、議事録作成は各部署で持ち回りに行いました。介護課の各フロア及び各部署の食事サービス委員が出席し、より良い食事サービス提供を目的として話し合い、食事サービスの向上につながるよう努めました。

② 厨房会議

毎月第4水曜日13:00～14:00の時間帯で開催しました。

管理栄養士と調理職員が出席して、より良い食事サービス提供を行い、食事サービスの向上につながるよう努めました。

(3) おにぎりバイキング・デザートバイキング・おやつレクの実施

上半期までは奇数月はデザートバイキングを実施し、季節を意識したデザートを取り揃え、ユニットごとにメニューを配布し、介護職員が提供しました。

偶数月は、おにぎりバイキングを実施し、フロアごとに行い、4種類のおにぎりの具の中から2種類選択していただき、ご入居者の目の前で握り提供しました。お粥を召し上がっているご入居者にもご飯のお供を4種類の中から2種類選択していただきました。

また、おやつレクを月1回フロアごとに実施し、ご入居者と一緒におやつを作り、出来立てを食していただきました。

10月からは毎日昼食時に厨房で個別にお皿に盛り付けることになり、おにぎりバイキングとおやつレクは中止となり、毎月デザートバイキングを実施しました。

表一「6年度 おやつレク実施表」参照

表一 「6年度 おやつレク実施表」

月	内容
4～6月	生クリームどら焼き
7～9月	あんみつ

(4) 年間郷土料理の実施

3園で郷土料理の月を同じ地域にし、園盛会共通でサービスの提供を実施しました。

表一「6年度 けやき園栄養課郷土料理年間実施表」参照

表-3 「6 年度 けやき園栄養課郷土料理実施表」

月	郷土料理実施地域	月	郷土料理実施地域
4 月	アメリカ	10 月	東京都
5 月	佐賀県	11 月	宮城県
6 月	イギリス	12 月	岡山県
7 月	山口県	1 月	秋田県
8 月	スペイン	2 月	北海道
9 月	宮崎県	3 月	福井県

(5) 選択食の提供

毎週金曜日を原則として、2 種類の主菜からご入居者に選んでいただき、選ぶ楽しさを感じてもらい、より一層楽しい食生活の提供を図りました。また、主菜に限らずデザート等選択してもらうようにしました。

(6) 非常食の管理

非常食用食材の管理と賞味期限の維持に努めました。

賞味期限が切れる商品から順次、新メニューへの商品と切り替えていきました。次年度も継続して行っていきたいと思います。

(7) 衛生管理

以下の衛生管理項目について、その確実な実施に努めました。

- ・ 毎朝・夕、残留塩素測定の実施（記録あり）
- ・ 寿司の日に実施する年 3 回の大掃除と掃除当番表の活用
- ・ 毎日終業時、手の触れる部分の次亜塩素酸消毒
- ・ 衛生管理マニュアルに沿った衛生管理の徹底
- ・ 健康管理に留意（チェックリスト記録）
- ・ 毎月の検便検査
- ・ 食器消毒保管庫による食器の温度消毒の実施（90 度以上・30 分以上）
- ・ 中心温度の測定（加熱食品の中心温度 85 度以上・1 分）

(8) 嗜好調査・食事満足度調査の実施

① 嗜好調査

食事摂取状況や選択食のアンケート集計により、ご入居者の嗜好の把握に努めました。

② 食事満足度調査

食事満足度調査期間：令和 6 年 12 月 9 日（月）～令和 6 年 12 月 27 日（金）（ショートステイを除く）

ご入居者へ毎日の食事や行事食に対しての感想やご意見等をアンケート調査しました。

概ね、食事に満足しているとの回答を得られましたが、食事に係るご要望に応えながら引き続きサービスの向上につなげていきます。

V 特別養護老人ホーム もみの樹園

施設の概要

- 1 定 員 介護老人福祉施設 もみの樹園 (ユニット型) 130 名
老人短期入所事業 (ショートステイ もみの樹園) 20 名
- 2 事業開始 ユニット型 平成 27 年 6 月 1 日
- 3 所在地 〒161-0034 東京都新宿区上落合 1-17-8
T E L 03-6915-3001 F A X 03-6915-3002
- 4 職員体制

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

部署	職 名	常勤	非常勤	合計	備考
管理者	施設長	1		1	
総 務 課	事務長	1		1	
	事務員	2		2	
	宿直員		3	3	
	営繕職員		1	1	
介護課	介護職員	59	10	69	内 2 名は介護支援専門員兼務
医務課	嘱託医師 (内科・精神科)		2	2	委託契約
	看護職員	5	2	7	
	機能訓練	理学療法士	3	3	
		看護師	0	0	
		音楽療法士	0	1	
生活課	生活相談員	2		2	
栄養課	管理栄養士	1		1	
	栄養課職員	3	5	8	
介護支援専門員		専従 1・兼務 1		2 (1)	() は兼務再掲
保育課	保育士	9	4	13	
	管理栄養士	1		1	
	事務員				
地域事業課	管理者	(1)		(1)	施設長兼務
	相談員・介護職員	5		5	
	看護師	1	0	1	() は兼務再掲
	事務員	0		0	
合 計		95	28	123	

他 産業医 (1 名) 委託契約

総務課 事業報告

1 総務課事業計画目標の総括

- (1) ご入居者やご家族に対して、期待値を超える顧客満足度を高めると共に、常に笑顔を絶やさず、職場環境も常に清潔に保つことが出来ました。

また、自らご入居者やご家族の立場に立った目線で、窓口対応や電話対応を実施したことにより、ご入居者やご家族が何を求めているのかについて、理解を深める事が出来ました。

- (2) 業務に優先順位を付けたり、現在、行っている業務はどんな役割があるのかを常に念頭に置いて業務遂行する事により、無駄な業務を排除し、時間の有効活用により、残業時間の短縮が図れました。

また、お互いの業務内容を理解することにより、担当以外の業務についても補完できるようになり、サービスの質を落とすことなく効率化が図れました。

今後、担当業務の割振りの変更についても実施していく予定です。

- (3) 多目的ホールやギャラリーを多岐に渡り開放することにより、地域に根付いた施設運営ができました。

また、地域との合同行事も継続して実施すると共に、地域の絵画展等も当園にて開催し、地域の多くの皆様が来園されたことにより、開かれた施設として認識して貰いました。

2 活動報告

- (1) 良好なコミュニケーションを図った事により、ご家族に信頼感を持ってもらおうと共に、ご入居者本人の心境を理解し、些細なことでもご入居者の状況をご家族に伝えるよう努めました。また、我々職員が、ご家族の考え方や背景を理解しようと努力することで、ご入居者の日常生活の様子を伝え、必要物品や変更事項などがあれば、このタイミングで伝えるようにし、状況を丁寧に説明することで、ご家族に対して対応できました。

- (2) 業務のあるべき姿を常に念頭に置き従事した事により、従来業務の削減や必要業務の確認及び順位付が明確になり、担当業務以外の業務についても理解を深める事が出来ました。また、原本保存が必要な書類以外については、可能な限り PDF での保管により、書籍棚等の整理につながりました。

- (3) 他部署との連携を強化したことにより、ご入居者の状態を、以前より理解することが可能となり、前述した、ご家族との対応の中で、ご入居者の状態等の会話が可能になり、ご家族の信頼を得ることができました。また、職員間については、開かれた事務所を実行したことにより、些細な事項でも、相談されるようになりました。

- (4) 本年初頭の大量な退去の影響により、稼働率の向上とはなりませんでした。常に節電等に努め、経費削減を実現できました。また、他部署からの購入依頼についても、他で安価な店はないか等、ネット検索等を心がけたことにより、コスト意識が高まりました。

《安全衛生関係》

- (1) 労働安全衛生法に基づき、職員の安全衛生に資する取り組みについては、労働環境の特質として入居者居住環境にも配慮して、労働災害防止と環境衛生設備の適正な管理に努めました。また、産業医の施設内巡視による指導・助言により、適切な職場環境の構築を図りました。

た。

安全衛生委員会の開催及び健康診断については、次表の「安全衛生委員会開催状況」、「職員健康診断実施状況」を参照。環境衛生については、後ページ「主な点検・検査実施状況」を参照。

安全衛生委員会開催状況

No	開催日	議 題
1	令和6年4月17日	① 産業医巡視報告について ② コロナ・インフルの感染防止について ③ 職員による館内巡回について ④ 花粉症の予防と対策について ⑤ 職員健康診断について
2	令和年6月17日	① 産業医巡視報告について ② 職員による館内巡回について ③ 五月病について
3	令和6年6月19日	① 健康診断結果報告について ② 職員による館内巡回について ③ タンパク質の役割について
4	令和6年7月17日	① 産業医巡視報告について ② 職員による館内巡回について ③ 睡眠管理術について
5	令和6年8月21日	① 産業医巡視報告について ② 職員による館内巡回について ③ 熱中症予防について ④ 肝臓機能の健康を守るコツについて
6	令和6年9月25日	① 産業医巡視報告について ② 職員による館内巡回について ③ 秋の健康管理について ④ インフルエンザ予防接種について
7	令和6年10月16日	① ストレスチェック実施について ② 職員による館内巡回について ③ カスターハラスメント対策について ④ 定期健康診断実施について
8	令和6年11月27日	① 職員による館内巡回について ② 防災対策について ③ 冬に流行する感染症について
9	令和6年12月18日	① 職員による館内巡回について ② ストレスチェック実施報告 ③ ストレスと生活習慣の関係性について

10	令和7年1月(書面開催)	① 定期健康診断の結果について ② 職場の湿温度管理について
11	令和7年2月19日	① 感染症について ② 職員による館内巡回について ③ 活躍できる職場について
12	令和7年3月19日	① 産業医巡視報告について ② 職員による館内巡回について ③ 生活習慣病とその防止について ④ 来年度のテーマについての意見交換

職員健康診断実施状況

実施日	対象者	受診者数
令和6年5月	全職員対象	85名
令和6年11月	介護従事職員、夜勤従事職員	67名

主な消毒・清掃実施状況

No	実施日	業者名	内容	備考
1	年3回	エクレ(株)	グリストラップ清掃	7/29、11/11、3/11
2	年3回	エクレ(株)	害虫駆除	7/29、1/24、3/11
3	年2回	エクレ(株)	受水槽・井水槽清掃	8/7、3/5
4	年3回	エクレ(株)	雑排水槽清掃	7/29、11/11、3/11
5	週5日	サクセスプランニング(株)	定期清掃	

主な点検・検査実施状況

No	実施日	業者名	内容	備考
1	年2回	(株)東新商会	消防設備点検	動作確認
2	毎月	(株)エムビックらいふ	細菌調査	保育士・調理従事者
3	年2回(2月・8月)	エクレ(株)	水質検査	ビオろ過菌含む
4	年6回	関東電気保安協会	自家用電気工作物の点検	
5	毎月	(株)日立ビルシステム	エレベーター点検	
6	年4回	(株)マリフトコーポレーション	ダムエーター点検	
7	年4回	(株)アプラス	機械式立体駐車場点検	
8	年3回	(株)安藤ハザマ	空調設備点検清掃	
	年2回	(株)ザイマックス	建築設備点検	

《防災業務関係》

(1) 日常防災管理の適切な実施

当園のご入居者・ご利用者は、火災・地震発生時に自力での身体の安全確保や、自力での避難が困難な障害を持つ方が多いため、日頃より、防災訓練を通じて、全職員に施設の安全対策及び災害対策知識を持たせるとともに、自主点検により適切な管理を実施してきました。

また、防火管理者による建物及び防災設備の定期点検はもとより、職員一人ひとりに対し、防災意識向上の啓発に努めました。

※中途入職に関しては、オリエンテーション時に教育を実施。

(2) 防災訓練の実施

本年は、地震及び火災発生を想定した全体の防災訓練、夜間時の防火訓練及び洪水訓練及びBCP（自然災害・感染症）訓練を各2回実施しました。

＊別掲「防災訓練実施状況」を参照

(3) 防災管理委員会の開催

本年は、防災管理委員会を年4回開催しました。委員の職員を通して、全職員への防災意識の向上が図れました。

＊別掲「防災管理委員会開催状況」を参照

(4) 消防用設備の適正な保守管理

消防用設備の保守管理は、消防設備士を有する設備業者により、6月3日及び12月2日に点検を行い、消防法の規定に基づき、消防署への「消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書」を提出しました。

また、当該点検で不具合が認められた設備等については、速やかな交換修理を行い、正常監視、正常作動を確保しています。

(5) 自衛消防訓練審査会への参加

火災発生時の行動力向上に前向きに取り組み、短期での集中訓練成果が得られるねらいと併せ、消防機関との連携強化も踏まえて、新宿消防署が主催する自衛消防訓練審査会に保育課2名が参加しました。

防災訓練実施状況

実施日	訓練種別	訓練内容	参加人数
6月5日	総合訓練 (激震災害想定)	激震想定 of 総合訓練。地震発生 of 初動措置、災害救助活動、火災発生も想定した訓練を実施。	入居者 8名 職員 43名 (保育2名含む)
7月12日	夜間訓練 (激震災害想定)	激震想定 of 夜間訓練。地震発生 of 初動措置、災害救助活動、火災発生も想定した訓練を実施。	入居者 2名 職員 12名 (保育2名含む)
6月5日	洪水時の 避難確保	神田川が洪水した想定で訓練を実施	入居者 8名 職員 43名 園児 3名

12月17日	BCP (自然災害)	妙正寺川が決壊し周辺交通マヒ及び停電・断水を想定し実施。	緊急時体制メンバー 各主任
2月13日	BCP (自然災害)	職員全員に一斉メールを送信し、24時間内の返信メール義務を実施。	職員 115 名
1月15日	BCP (感染症)	新型コロナの集団発生を想定した訓練を実施	職員 62 名
3月19日	BCP (感染症)	ノロウイルスが発生した場合の、下膳・配膳等の訓練を実施	職員 61 名

防災管理委員会開催状況

回	開催日	議 題
1	4月19日(金)	○ もみの樹園消防計画について ○ 自衛消防隊組織再編成について ○ 自衛消防審査会参加について ○ 備蓄品の確認について
2	7月19日(金)	○ 夜間想定防災訓練実施について ○ 消防設備点検(6/3)の報告
3	10月18日(金)	○ BCP 訓練実施について ○ 12/17 予定の BCP (自然災害) 訓練の説明
4	1月17日(金)	○ 令和6年度総合訓練について ○ 消防設備点検(12/2)の報告 ○ BCP 訓練(自然災害及び感染症2回)の報告

《連絡調整会議の開催》

お互いの仕事への理解と情報共有の為、毎月1回、開催しています。

連絡調整会議開催状況

開催日	議 題 内 容
4月17日	○ 新型コロナ感染対策について ○ 年度事業計画について ○ 年度事業報告について ○ 新入社員について

	○ 職員健康診断について ○ 建物の修理・補修について ○ 口腔衛生管理について
5 月 17 日	○ 介護保険サービス利用料値上げについて ○ コロナ手当の取り扱いについて ○ 人事考課について ○ 処遇改善手当について ○ 新入社員について ○ 自衛消防審査会への参加について
6 月 19 日	○ 令和 5 年度決算書及び事業報告について ○ コロナ手当の取り扱いについて ○ 口腔衛生管理の強化体制について ○ 自然災害について ○ 自衛消防審査会への参加について ○ 還元面接について
7 月 17 日	○ 新型コロナについて ○ 介護保険サービスについて ○ 熱中症について ○ 自然災害について ○ 東京都実地検査について ○ 自衛消防審査会への参加について ○ 還元面接について
8 月 21 日	○ 巨大地震について ○ 新型コロナについて ○ 熱中症について ○ 町内会・小学校合同夏祭りについて（神輿・山車） ○ 東京都実地検査について
9 月 25 日	○ 体調管理について ○ 自然災害について ○ 新型コロナワクチンについて ○ 東京都実地検査について
10 月 16 日	○ 虐待について ○ 新型コロナ・インフルワクチン接種について ○ 東京都実地検査について ○ ストレスチェックについて ○ 今年度の上期稼働率について ○ 今年度の内定者について ○ 健康診断について ○ 第三者評価について

11 月 27 日	○ 東京都実地検査について ○ 合同餅つき大会について ○ 利用者からの金銭借用について ○ 今年度の内定者について ○ ベトナム説明会参加について ○ 落合第二小学校生徒受入れについて
12 月 18 日	○ 東京都の物価高騰支援金について ○ 新型コロナワクチン接種（入居者）について ○ インフルエンザについて ○ 今年度の内定者について ○ ストレスチェック結果について ○ 新年の挨拶について ○ ホームページ改定について
1 月 15 日	○ 還元面談について ○ 新型コロナ・インフルエンザについて ○ 今年度の内定者 ○ ストレスチェック結果について ○ 東京都実地検査後の対応について ○ 稼働率について ○ BCP 訓練について
2 月 19 日	○ 年度事業計画作成について ○ 新型コロナ・インフルエンザについて ○ 新入社員について ○ EPA について ○ 東京都実地検査後の対応について ○ ホームページ改定について ○ ハラスメントについて ○ 東京都居住支援特別手当について
3 月 19 日	○ 感染性胃腸炎について ○ 東京都実地検査結果について ○ 令和 7 年度事業計画について ○ 職員行動目標について ○ 永年勤続表彰について ○ 東京都居住支援特別手当について ○ 新入社員研修について ○ ヒトメクコネクト導入について

《福祉サービス第三者評価の受審と公表》

経営創研(株)による第三者評価を受審しました。評価の結果は、「とうきょう福祉ナビゲーション」に公表されます。

評価過程	実施日	対象人数
契約日	令和 6 年 7 月 29 日	—
利用者調査（面接聴き取り）	令和 6 年 12 月 10 日	18 人
利用者調査結果報告日	令和 7 年 2 月 5 日	—
職員自己評価結果報告日	令和 7 年 2 月 5 日	76 人
訪問調査日	令和 7 年 2 月 18 日	—
評価合議日	令和 7 年 3 月 4 日	—

《福祉避難施設意見交換会》

新宿区及び新宿区の幾つかの施設において、年 4 回福祉施設避難所としての意見交換会を実施しました。

《落合第二小学校の仕事体験受入れ》

落合第二小学校の生徒 11 名及び 1 名受け入れました。

《E P A職員》

今年度は介護福祉士試験に 3 名全員が合格し、内 2 名が継続して当園にて従事（1 名産休中）する事になりました。尚、当年度の受け入れ 2 名を予定しています。

《地域との交流》

今年度は、合同餅つき大会（町内会・落合第二小学校合同）、ビバ下落合への協賛及び落合第二小学校 100 周年への協賛を実施しましたが、お神輿については、台風の影響により中止となりました。また、町内会のお祭りや盆踊り及び餅つき等の地域との交流行事についても積極的に参加しました。

《自動車運転管理者講習及び自転車安全講習会》

毎年更新される、自動車安全運転管理者講習に出席しました。また、自転車安全講習会に年 3 回参加しました。

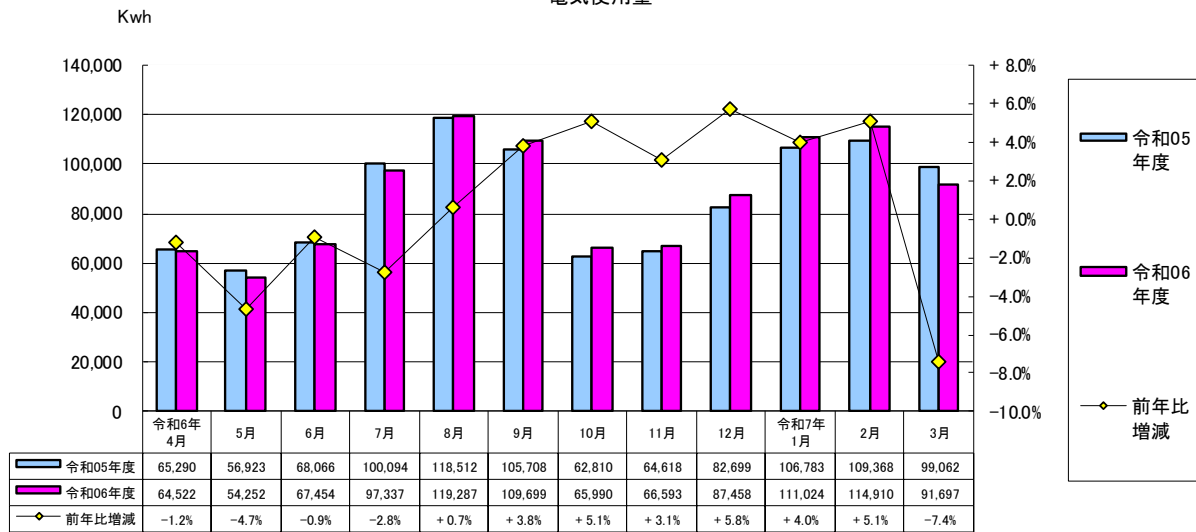
令和 6 年度 多目的ホール利用記録

今年度は、外部への貸出を再開しました。また、新宿区主導の空きスペース申し込みについても登録しました。

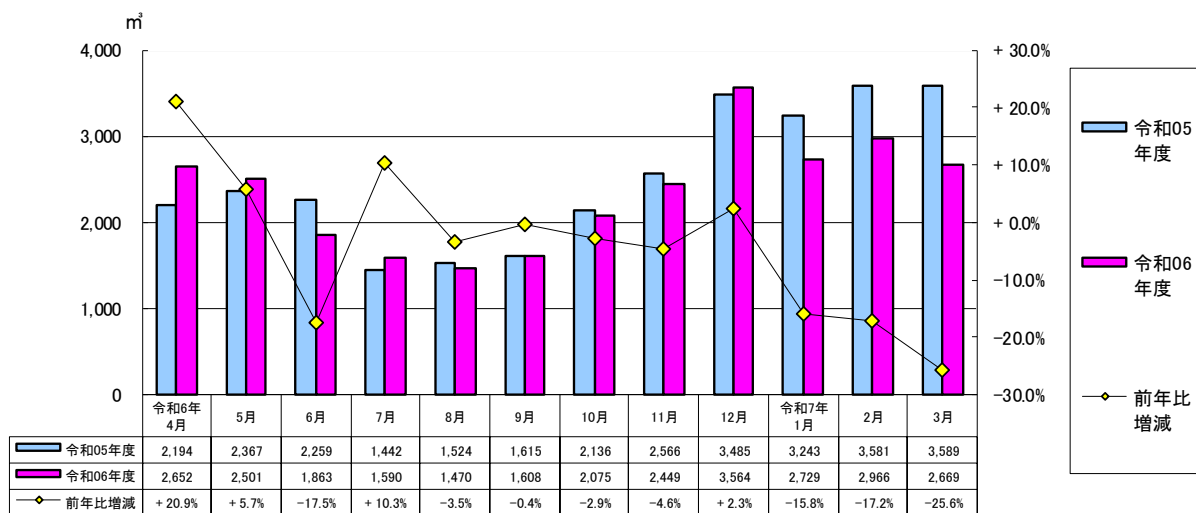
令和 6 年 11 月 29 日 社会福祉協議会へ貸出し（お出かけ支援入門講座）

令和6年度 もみの樹園 光熱水使用量

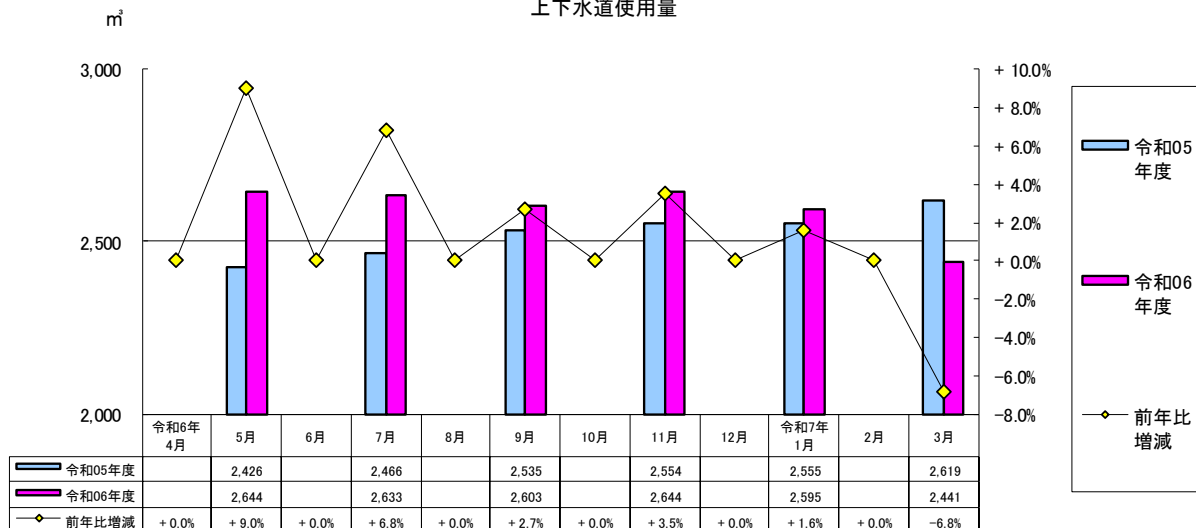
電気使用量



ガス使用量



上下水道使用量



《広報活動》

広報紙の作成では、3園合同テレビ会議にて広報委員会を開催し、【園盛会だより】を発行しました。感染症の影響もありましたが、ユニット毎に行った施設行事やレクリエーションの様子を掲載し、ご入居者が楽しまれている様子をご家族に見て頂けるよう工夫しました。

ホームページトピックスは、イベントやユニットレクリエーション、散歩、体操など、ご入居者が過ごされている日常の様子を掲載しました。月末に更新できるように準備を進め、定期的に掲載することを委員内で周知しました。

《ボランティア活動》

ボランティア活動受け入れについては、行事での受け入れを再開しました。

余暇活動では、書道クラブ講師 1 名が活動しました。『書道クラブ講師』の方には毎月のお手本を作成頂き、郵送にてやり取りをしました。

社会福祉協議会との連携については、クリスマス会のボランティアを紹介頂きました。

次表「令和6年度ボランティア活動実績表」を参照

令和6年度ボランティア活動実績

	活動内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	書道クラブ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	敬老会						8							8
	クリスマス会									10				10
	(団体数)													
	月別合計	1	1	1	1	1	9	1	1	11	1	1	1	30

※特記事項：生け花については、必要数の花を用意して頂き、職員指導の下、実施しています。

介護課 事業報告

1 介護課事業計画目標の総括

- (1)「ご利用者の過去（生活歴等）～今（普段の様子やその場の状況、気持ち等）を理解し、最善だと思うケアを提供する」について

日々のケアを通じて、ご入居者の心身の変化を捉えながら、最適な支援を提供することを目指し、施設ケアマネージャーが中心となって、ご家族やご入居者から聞き取りを行い、生活歴や価値観を深く理解し、それをケアプランに反映することで実践につなげました。

しかし、入居間もない方への虐待が発生し、入居者理解の不足や対応力、連携が課題として浮かび上がりました。その後、職員間で意識を高める中で、不適切と思われる事案もいくつか報告されました。虐待や不適切と思われる事案に関しては、都度主任会議などでも共有し、注意喚起や再発防止の意識付けなどを行いました。

次年度はこの経験を踏まえ、事例検討に特化した研修や強い認知症症状で対応に苦慮するケースに関しては、他部署を交えたカンファレンスの積極的な開催も検討していければと思います。ご入居者やご家族とのコミュニケーションから過去の生活歴や現在の状態を理解することの重要性とともに、個々の背景や思いを踏まえたうえでのケアの実践を目指して取り組んでいきます。

- (2)「コストパフォーマンス（費用対効果）とタイムパフォーマンス（時間対効果）を意識しながら、効率的かつ適切な業務運営を行う」について

「コストパフォーマンス」と「タイムパフォーマンス」を意識し、効率的かつ適切な業務運営を目指しました。残業状況の管理にも努めましたが、数字では見えにくい現場の負担やフォローの評価には課題が残りました。一方、DX（A）チーム主導の「介護日誌のペーパーレス化・簡素化」では、作成時間の短縮と確認作業の負担軽減が実現したことで、ご入居者支援の時間捻出に寄与しました。また修正作業や印刷後に発覚する入力ミスによるペーパーの2重3重に及ぶ使用がなくなったことはコスト削減にもつながりました。

今後は更なるデジタル化の推進や業務の見える化を図り、効果的な運営を目指すことでご入居者支援に還元できるよう取り組んでいきます。

- (3)「仲間を尊重し、チームワークを意識して、良好な職場環境を作る」について

目標のもと、円滑な組織運営に努めました。年度途中に大きな職員異動が発生し、その後も昇格や異動が続きましたが、職員同士の理解と助け合いにより乗り切ることができました。また、妊産婦職員が複数在籍していたことにより、業務負担の軽減を図り、可能な業務を実施できるよう配慮しました。その一方で、人員の補填が難しく、他職員の業務負担増加が避けられない状況でした。フロア内での協力体制を強化し、業務を円滑に進める工夫をしましたが、今後はより持続可能な人員確保策を講じる必要があるように感じます。

次年度も職場環境の向上とチームワークの維持に努めながら、安定した業務運営を目指します。

- (4)「他部署と連携・協力し、円滑な受け入れによって稼働率の向上に貢献する」について

円滑な受け入れによる稼働率向上を目標に掲げ、空床や入院者数の情報共有を各種会議で適宜実施していましたが、本年度は感染症の影響を強く受ける結果となりました。

新型コロナウイルス感染症は5回（ご入居者感染は計20名）、インフルエンザは2回（ご

入居者感染は計3名)、ノロウイルスの発生はありませんでした。新型コロナウイルスの対応では、少ない人員且つ初めて対応する職員も多く、対応に苦慮する場面も散見されました。また、コロナ感染後の状態悪化による入院や退居が多く、稼働率の低下につながりました。

ご入居者が感染することの危険性や、職員の対応が感染拡大にも終息にも直結することを今一度強く再認識する出来事となりました。

このような状況下においても感染症対応中のフロアはそれに専念し、他フロアが連携協力し、空き居室で仮入居する等の対策も講じました。次年度も、感染症の影響を最小限に抑えながら、効率的な受け入れを進めることで稼働率の維持・向上に努めます。

2 介護課主要行動施策の総括

(1)「職員のレベルアップによって、ご入居者が穏やかに生活できる環境の構築」について

今年度も引き続き、新入職員に対してのエルダー制度を活用しての育成に取り組みました。

EPA 候補者の学習・就労支援の取り組みにおいては、夜勤業務の独り立ちも成し遂げ、成長につなげることができました。

一方で、接遇面強化を施策に掲げたものの、虐待や不適切な対応事案も複数発生し、今後の継続課題として取り組む必要性が浮き彫りとなりました。主任会議等でも毎月のように議題にあげて、意識付けと改善に向け取り組みました。また、異動に伴う昇格が多く（昇格9名、異動10名）、職位上のレベルアップは実現しましたが、役にふさわしい知識・技術の習得をさらに進める必要があります。医務課主導の吸引研修は積極的に実施され、修了証明書取得見込みの職員は5名となりました。今後も引き続き、介護課職員一同が自ら学び成長することで、より質の高いケアの提供を目指します。

(2)「ご入居者の要望や期待に応えた幅広いイベントの開催」について

行事委員会を中心に、ご入居者が主体となり楽しんでいただけるイベントの開催を通じて、生活の充実と笑顔を増やす取り組みを行いました。

春には「アクアパーク品川」への日帰り旅行を実施し、イルカショーをご覧になった際には水しぶきを浴びた方をご覧になり、笑顔が広がる場面が見られました。秋には「浅草周辺」を訪問し、ウナギに舌鼓を打ち、懐かしい思い出を語り合う温かな時間が生まれました。また、今年度よりコロナ禍以前と同様のかたちでご家族参加型イベントを開催しました。「納涼祭」ではお神輿がフロアを練り歩き、涙を流して喜ばれるご入居者の姿が印象的でした。続く「敬老会」でも多くのご家族にご参加いただき、絆が深まる機会となりました。「クリスマス会」においては、バイキング形式のお食事が大変好評を博し、ボランティアによるコーラスが感動を誘いました。

地域交流行事は、9月に予定されていた「町内会子供神輿」は天候の影響により生憎中止となりましたが、11月に町内会との餅つきを開催しました。ご希望者は、町内会の方のサポートを受けながら、実際におもちを搗き、見学される方も含め楽しまれていました。

クラブ活動は前年度に引き続き、外部のボランティア講師にお願いしている華道クラブは中止し、カラオケクラブは運営方法を一部変更して実施しましたが、参加されているご入居者には楽しんでいただけました。

ユニットレクリエーションも前年同様、フロア単位のレクリエーションから少人数から個別のレクまで、多種多様に実施しました。毎月計画的に飲食関係のレクリエーションに取り

組むユニットやその日の状況に応じて、おやつレクリエーションを実施したり、ご入居者の要望に応じて、近隣のスーパーやコンビニにお買い物へ外出したり、誕生日会をフロア内合同で開催するなど、フロアやユニットによって特色のあるものになりました。ご入居者と職員ともに楽しい時間を過ごすことができました。

次年度は更にコロナ以前と同様のイベント開催や、新宿という立地を活かした外出援助や新たなイベントの模索など、内容も規模も対象者もバリエーション豊かな行事やレクリエーションが提供できるよう職員一同で取り組んでいきます。

(3) 「ご入居者が快適に暮らせる生活環境の提供。事故を未然に防ぐ環境整備の実施」について

定期～随時の居室清掃を実施し、ご入居者の皆さんが日々快適に生活できるよう取り組みました。しかし、開設当初から使用してきた設備の不具合や故障・汚れ・劣化なども目立つようになってきました。特に、福祉用具である離床センサーに関しては故障も相次ぎ、増台の希望もあり、リース契約を結ぶに至りました。新しいものの導入にあたっては、長い期間に渡って綺麗に安全に使用できるよう、適切な使用と管理にも目を向けて、快適な生活環境の提供に努めていきます。

3 活動報告

(1) 事故防止検討委員会の定期開催

毎月、前月に発生した事故やヒヤリハット事例を委員会の中で今一度再検証し、防止策の取り組み状況等の確認を行いました。後日、主任会議や各フロアでのユニット会議でも情報提供し、事故に対する意識づけを行いました。法人内他施設の事故発生状況や内容の情報共有については、各園の安全対策担当者と年3回意見交換を行い、共有しました。

事故については、発生ユニット職員での原因追及に加え、必要に応じて、多職種も交えて現場での再現検証や職員聞き取り等を実施し、再発防止に努めました。しかしながら、年に発生した事故件数80件のうち、薬に関する事故が37件と全体の半数近くを占めている点に大きな課題を感じます。マニュアルに沿った対応はもちろんの事、指導や研修を通して職員一人ひとりが服薬の重要性や誤薬のリスクについて理解し、責任感を持って服薬介助を実施できるよう意識付けを行う事で、事故を未然に防ぎ、信頼される生活環境を提供できるよう取り組んでいきます。

別紙「事故防止検討委員会開催状況」を参照。

(2) 主任会議の定期開催

今年度はより主体性と積極性をもって会議に参加することを目的に、司会を輪番制とし、司会者がひとつは議題をあげるルールのもと始まりました。しかし、課長の異動に伴いそのルールを続行することも困難になり、途中からは以前のように係長司会による会議運営となりました。各委員会で話し合った内容や周知事項を職員全体にしっかりと共有できるよう、会議内で報告や意見交換する機会を設け、円滑な施設・部署運営に努めました。

今年度においても、新型コロナウイルスに関する対応をはじめ、多職種連携や部署の課題解決に向けた協議を行いました。

別紙「主任会議開催状況表」を参照。

(3) 排泄委員会の定期開催

活動の詳細については別紙「排泄ケア向上委員会」開催状況表を参照。

(4) 家族交流の活性化支援

年度を通して、コロナ禍以前のような多くのご面会、外出、外泊、施設行事への参加があり、ご入居者・ご家族にとっても安心できる施設生活になったと考えます。面会時や日頃の様子に関してのお問い合わせがあった際には、細やかな情報提供を行い、ご家族の皆様にご安心していただけるよう支援に努めました。また、体調面や生活面での変化が見られた際には、多部署と連携を図り、迅速な状況報告を行ったことで、信頼関係の維持・向上につなげることができたと考えます。今後ともご家族のニーズをくみ取り、他部署と連携しながら、信頼される関係が構築できるよう努めていきます。

別紙「介護課全体 面会・外出・外泊表」参照。

(5) 整容支援

整容については、チェック表を活用して、定期的にご入居者にご利用いただき、希望に沿ったヘアスタイルを楽しんでいただきました。実施の際は、カットについては1階の多目的ホールを使用し、パーマや毛染めは専用のサロンカーで行いました。

整容については、起床時や食事前、入浴時等、居室やユニットから出る時には身だしなみを整えて、いつでも清潔で気持ち良く過ごしていただけるような支援とともに、お化粧等いままでの習慣を引き出せるような+αの支援も大事にしていきたいと思っております。

別紙「整容利用状況表」参照。

主任会議事業報告

1 活動報告

連絡調整会議開催後ということもあり、施設運営に関わる事案もすぐに共有でき、その際に検討議題が発生した際も迅速に協議することができました。今年度途中より実施責任者や役職者の新規入れ替えや虐待事案の発生など、大きなトピックスが発生しましたが、ご入居者支援を第一に考えながら様々に協議を重ねました。

主任会議実施状況報告

総括		実施責任者	委員
施設全体～各部署・各種委員会などで検討している様々な課題を共有しながら、フロア・ユニット運営に反映できるように取り組みました。		運営責任者 宮本義輝 7月～ 小室千聡	(主任) 布施健太郎・相馬修 阿部大輔・7月～藤井俊幸 (副主任) 7月～持田勇人・五十川恵美・鈴木香織(産休)・10月～西端駿・加藤麻由美
開催日	議 題 内 容		
4月17日	各委員会より情報共有・職務分掌表すり合わせ 他		
5月15日	各委員会より情報共有・口腔衛生管理の強化について 他		
6月19日	各委員会より情報共有・介護日誌の電子化について 他		
7月17日	各委員会より譲歩共有・周知・職務分掌表のすり合わせ・口腔衛生管理強化について・介護日誌の電子管理について 他		
8月21日	予定関係周知・前月からの議題・口腔健康状態の評価及び情報共有書について・記録のルール・他部署連携について・各委員会より情報共有 他		
9月25日	予定関係周知・前月からの議題・他部署連携について・各委員会より情報共有 他		
10月16日	予定関係周知・疥癬対応について・残業申請について・日用品パックについて・虐待等事例について・BCPについて・各委員会より情報共有 他		
11月13日	予定関係周知・実地検査について・各委員会より情報共有 他		
12月18日	予定関係周知・虐待について・実地検査について・DXより・各委員会より情報共有 他		
1月15日	予定関係周知・継続課題(虐待関係)について・感染症対応について・異動について・各委員会より情報共有		
2月19日	予定関係周知・夜間急変について・福祉用具について・他部署より・各委員会より情報共有 他		
3月19日	予定関係周知・前月からの継続議題・BCP 感染症研修について(ノロウイルス)・センサー類について・次年度に向けて・R7 年度委員会決め・紙おむつ経費削減について・各委員会より情報共有 他		

排泄ケア向上委員会事業報告

1 活動報告

今年度は、「①尿測データや個別排泄コスト表を活用し、適切なオムツを使用していただく事で快適な生活を送っていただくとともに、コスト削減を意識した取り組みを行う②ご入居者それぞれの排便パターンを把握した上で、生活環境を見直しながら自然排便を促す取り組みを行う。」を目標にアセスメント～モニタリング評価、意見交換を実施し、目標達成に向けて取り組みました。

①について、排泄コスト表の見直しと更新を3か月に1回以上行い、状態変化時や入退院時には尿測を実施し、排尿パターンを元にアイテムの見直しを行いました。それに加え、コスト表を職員間で共有することで、ご入居者に対して適切なアイテムを使用できるように取り組むことができました。

②について、取り組みを始める前にご入居者の排便状況や下剤の種類、服用頻度等、ブロック毎に状況表を作成し、排便に対する課題の抽出を行いました。食事や飲水状況、生活習慣など様々な視点に着眼しながらアセスメントシートを個別に作成し、課題解決に向けた取り組みを行いました。取り組み内容については委員会内で発表をし、意見交換を行うことで自ブロックにはない意見やアドバイザーからの助言を新たに取り入れることで、より良い排泄支援に繋げることができました。

新たな課題も出る1年となりましたが、排泄ケアに対する職員一人ひとりの意識向上が図れるように、次年度も様々な取り組みを実施できるように努めます。

排泄ケア向上委員会実施状況報告

総括	実施責任者	委員
- 各事例に対する課題抽出や意見交換を行い、ご入居者が快適に排泄できるような支援に向けて取り組むことができました。 - 状態変化に応じたアイテムの見直し、選定を定期的に行うことができました。	運営責任者 小室千聡 進行責任者 布施健太郎	布施・浅野・高田・稲生・フォン・齊藤・森・太田 オブザーバー：ユニチャームメンリッケ(株)柴田様
開催日	議 題 内 容	
5月23日	- 年間取り組み計画の確認 - アセスメント、個別排泄コスト表について	
8月22日	各フロア事例検討発表、質疑応答	
11月28日	各フロア事例検討発表、質疑応答 ・ 配送トラブルについて	
2月27日	- 各フロア事例検討発表、質疑応答 - TENA リニューアル商品について - 今年度の振り返りと次年度に向けた取り組み案の意見交換	

書道クラブ実施状況報告

クラブ活動総括		担当講師名	担当者名
○ 新型コロナウイルスで中止になる月もありましたが、それ以外の月も感染予防に努めながら、開催しました。 ○ 新しい文字を取り入れたり、年末には今年の漢字を取り入れたり、コミュニケーションを図れるようにしました。 ○ 1階のエレベーターホール前に展示し、面会時のご家族に楽しんでいただけるよう工夫しました。		—	小島彩 渡邊恵美 中本江梨香 グエン
開催日	実施内容	参加人数	
4月23日	「山桜」「入学式」などの行書、楷書体からお好きなものを選んでいただき、楽しんでいただきました。	18人	
5月28日	「新茶」「鯉のぼり」などの行書、楷書体からお好きなものを選んでいただき、楽しんでいただきました。	16人	
6月25日	「紫陽花」「納涼祭」などの行書、楷書体からお好きなものを選んでいただき、楽しんでいただきました。	17人	
7月23日	「甲子園」「花火」などの行書、楷書体からお好きなものを選んでいただき、楽しんでいただきました。	17人	
8月27日	「夏フェス」「ひまわり」などの楷書体からお好きなものを選んでいただき、楽しんでいただきました。	17人	
9月24日	「コスモス」「サンマ」などの楷書体からお好きなものを選んでいただき、楽しんでいただきました。	15人	
11月26日	「栗ご飯」「銀杏」などの楷書体からお好きなものを選んでいただき、楽しんでいただきました。	20人	
12月24日	「謹賀新年」「金」などの楷書体からお好きなものを選んでいただき、楽しんでいただきました。	11人	
1月28日	「ネコヤナギ」「旧正月」などの楷書体からお好きなものを選んでいただき、楽しんでいただきました。	15人	
2月25日	「春一番」「スギ花粉」などの楷書体からお好きなものを選んでいただき、楽しんでいただきました。	15人	
3月25日	「ライラック」「卯月」などの楷書体からお好きなものを選んでいただき、楽しんでいただきました。	18人	
合 計			131人

※10月は都合により、中止しました。

カラオケ合唱クラブ実施状況報告

クラブ活動総括		担当講師名	担当者名
○今年度も見守り事故のリスクを回避する為に分散し開催しました。 ○職員の欠員（1名程度）があっても開催・対応が出来たので良かったです。		—	元木穰史 ファン・アイトー 杉山結花 四分一薫
開催日	実施内容	参加人数	
4月18日	2階・3階・4階のご入居者を対象に実施し、季節の歌やリクエスト曲・ラジオ体操やパタカラ体操も楽しめました。	8名	
5月13日	2階・4階のご入居者を対象に実施しました。少人数でしたが、のびのびと歌われていたのが印象的でした。	4名	
6月16日	3階・5階のご入居者を対象に実施しました。ご入居者のリクエスト曲をメインに歌われ楽しまれていました。	12名	
7月8日	4階・5階のご入居者を対象に実施しました。季節の歌やご入居者のリクエスト曲に応じ、楽しまれていました。	8名	
8月12日	3階のご入居者を対象に実施しました。3階は対象者が多い為、3階のみで実施することになりました。	9名	
10月14日	2階・4階・5階のご入居者を対象に実施しました。ご入居者のリクエスト曲やラジオ体操等を楽しまれていました。	7名	
11月12日	3階のご入居者を対象に実施しました。ご入居者のリクエスト曲をメインに歌われ楽しまれていました。	6名	
12月10日	2階・4階・5階のご入居者を対象に実施しました。季節の歌やラジオ体操・パタカラ体操にも取り組み、楽しまれていました。	9名	
1月14日	職員の欠員が多く 3階ご入居者が対象であるため急遽 3Cユニットで実施しました。少人数でしたが楽しまれていました。	9名	
2月10日	2階・4階・5階のご入居者を対象に実施しました。リクエスト曲をメインに歌われ楽しまれていました。	9名	
3月11日	3階のご入居者を対象に実施しました。リクエスト曲をメインに歌われ楽しまれていました。	10名	
合 計			91名

※9月は都合により、中止しました。

介護課全体 面会・外出・外泊状況表

	面 会		外 出		外 泊	
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
4 月	108	553	37	69	2	2
5 月	105	547	33	62	2	2
6 月	107	579	34	67	2	2
7 月	106	528	29	53	0	0
8 月	96	578	23	44	1	1
9 月	112	580	30	53	0	0
10 月	114	589	35	64	1	1
11 月	103	627	33	72	2	2
12 月	105	600	29	53	1	1
1 月	97	464	28	48	1	1
2 月	101	502	21	38	1	1
3 月	99	562	39	72	1	1
合 計	1,253	6,708	371	695	14	14

理美容利用状況表

区分 月	理 容						備 考
	カット	顔そり	パーマ	毛染め	シャンプー	利用人数	
4 月	69	9	0	3	2	80	希望時や1ヶ月に一度、2ヶ月に一度等、ご本人やご家族のご希望に沿って、定期的に支援できたことで、ご入居者の皆様に満足していただきました。
5 月	61	3	2	3	0	69	
6 月	32	8	0	3	4	77	
7 月	58	5	0	5	4	72	
8 月	67	5	1	3	4	80	
9 月	61	5	1	3	4	74	
10 月	54	6	1	5	5	71	
11 月	53	4	1	3	3	64	
12 月	55	7	1	2	5	70	
1 月	42	3	1	5	2	53	
2 月	57	4	0	3	3	67	
3 月	53	2	1	5	2	63	
合計	692	58	9	43	38	840	

2 階介護課(特養部) 事業報告

1 2 階介護課事業計画目標の総括

(1) 「ユニットレクリエーションを定期的に開催し、日々の生活の中で季節を感じていただく」について

今年度は日々の中で、ご入居者と身近に接しながら出来るレクリエーションを主に実施してきました。レクリエーション自体は、ご入居者から意見を聞きながらリハビリにもつながられるようなもので、ペットボトルボーリングや風船バレー、おもちゃを使用したゲームなど身近な物でご入居者と一緒に楽しい時間を作ってきました。季節感についても、リーダーを中心にユニットの装飾を定期的に変えて、大がかりな飾りはできませんでしたが、可能であればご入居者にも装飾のお手伝いをしていただき、春夏秋冬を感じていただく装飾作りができました。また、施設内の川沿いや屋上庭園への散歩による外気からも季節を感じていただきました。

(2) 「職員個々のスキルアップ向上にむけた取り組み」について

ケアの質の向上を目指して、ユニット会議や毎日のミーティングで、不安に思っていることや疑問点について意見を出し合いました。どんな意見に対しても、頭ごなしに否定はせず、に尊重した上で、ご入居者と職員が無理のないように、最善なことについて前向きに考え、その場で解決出来ない場合は相談員、医務係、リハビリ係など他部署の専門的な意見を伺い、統一したケアの確立と共に質の向上につなげることができました。

更なる向上を目指す為、業務効率ばかりに目を向け過ぎず、ご入居者とのコミュニケーションから思いや希望を引き出し、それによる新しい発見から、日常業務の意義を再確認できる環境を作っていくことにより、職員個々のモチベーション向上に努めていきます。

(3) 「安心・安全な生活環境の提供」について

日々のご入居者の体調について観察し、どんな小さなことでも気になることは医務課に報告と確認をして、申し送りやミーティングでも情報共有を徹底しました。日々の食事量や水分量も職員間で意識し、普段との様子の違いなど細かいことについても確認をして、ご入居者の体調管理を行なってきました。褥瘡対策についても体位交換を定期的の実施し、悪化防止の為、居室担当者を中心に正しいポジショニングの確認を医務係とリハビリ係と情報共有しながら、見直しを繰り返してきました。対象のご入居者も最終的には褥瘡が改善し、今後は再発防止に向けて他部署と協力していきます。

ご入居者の最大の安全を確保する為に、毎日のミーティングを始め、ユニット会議でも事故リスクが考えられるものについては情報共有を徹底しました。また、事故が発生してしまったことについては、その日にミーティングで意見交換し、再発防止について検討、対策、実施をしてきました。例えば転倒については、センサー類の見直しや、細かくはご入居者が履いている靴の見直しをして転倒予防に努めました。

今後ともご入居者が最期まで安全・安心で、その人らしい生活が出来るように、他部署との連携を取りながらサポートし続けていきます。

介護課（ショートステイ） 事業報告

1 2 階介護課（ショートステイ）事業計画目標の総括

（1）「事故防止に向けたリスクマネジメントの実施」について

誤薬や離設防止に向けた個々のご利用者のリスクマネジメントを職員間で行い、事故発生防止に努めました。

ご利用者の状態変化や ADL 低下に伴うご利用中の様子は、ご家族とも共有し、在宅での様子と比較しながら対応策を講じてきました。服薬においては、ご家族及びかかりつけ医の指示の元、医務課とのダブルチェック確認の徹底、必要時には頓服薬の準備を依頼し、安心・安全に生活していただけるように心掛けました。面会制限のない中で、ご利用者の所在確認は、離設防止システムに頼るだけではなく、フロア内に離設の注意喚起の貼り紙を設置し、面会ご家族への協力要請をするとともに、職員からご家族へ直接、注意喚起の呼びかけをすることで、施設全体で取り組んでいくという意識向上にも繋がりました。

（2）「ご利用者の健康状態の把握と ADL の変化に寄り添ったサービスの提供」について

ご利用者の体調確認や在宅生活での様子、ご利用者及びご家族のニーズの収集を行い、個々に寄り添ったサービス提供に向け取り組みました。

前年度発生した離設事故を受けて、帰宅願望や徘徊のあるご利用者に対して、所在確認の徹底の他、心身の変化に着眼し、ご利用者自身が安心・安全に生活を送っていただけるように努めることで、職員のご利用者に対する認知症対応の柔軟性を培うことができました。一人ひとりのご利用者に寄り添いながら訴えや要望の傾聴、認知症状に対する気分転換を目的とした余暇活動の実施等、生活リハビリの一環とした食器洗いや台拭き等、一緒に取り組むことで、職員それぞれが意識的に寄り添ったサービスの提供ができました。

また、ほのぼの NEXT 記録システムを活用し、健康面や対応方法等、他部署も交えながら情報共有し、体調変化時には迅速な対応を取ることが出来ました。新型コロナウイルスやノロウイルスを始めとする感染症においては、今後も定期的な発症時のシミュレーション、必要物品の管理を継続して行い、感染拡大防止に努めていきます。

（3）「リピーター確保に向け、充実した生活環境の提供」について

ご利用者にとっての充実した生活環境とは何かをユニット内で協議し、個々のご利用者の趣味や嗜好に沿った居住空間、余暇活動の実施を行い、満足度向上に努めました。また、ご利用者自身の生活に対する意向を伺うと、活動的に体を動かしたい方や居室でゆっくりと趣味の時間を過ごしたい方、色々な方とお話をして交流を深めたい方など様々でした。

ご利用者それぞれのニーズや家族背景が異なる中で、ご本人とそのご家族にはどのように生活を送ってほしいか、物品チェック表を活用し、記載する欄を設けることで、希望や要望を取り入れながら、より良い生活支援に繋げることができました。結果としては、高稼働率の維持に繋がりました。

2 A Bユニット会議開催状況

実施日	議 題 内 容
4 月 7 日	周知事項、ご入居者について
5 月	ご入居者について （書面開催）
6 月 22 日	周知事項、業務について、ご入居者について
7 月	ご入居者について （書面開催）
8 月	周知事項、ご入居者について （書面開催）
9 月	周知事項、ご入居者について （書面開催）
10 月	周知事項、ご入居者について （書面開催）
11 月	周知事項、業務について （書面開催）
12 月 27 日	周知事項、業務について、ご入居者について
1 月 30 日	周知事項、業務について
2 月	周知事項、業務について （書面開催）
3 月	周知事項、業務について、ご入居者について （書面開催）

2 C Dユニット会議開催状況

実施日	議 題 内 容
4 月 30 日	業務内容の見直し・ご利用者の希望・要望について
5 月 31 日	業務内容の見直し・ご利用者個別対応について
6 月 27 日	業務内容の見直し・ご利用者の希望・要望について
7 月	業務内容の見直し・ご利用者個別対応について（書面開催）
8 月 30 日	業務内容の見直し・事故防止に向けた取り組みについて
9 月	業務内容の見直し・ご利用者個別対応について（書面開催）
10 月 31 日	業務内容の見直し・認知症ケアについて
11 月 27 日	業務内容の見直し・ご利用者個別対応について
12 月 24 日	業務内容の見直し・記録業務について
1 月 31 日	業務内容の見直し・ご利用者個別対応について
2 月	業務内容の見直し・ご利用者個別対応について（書面開催）
3 月	業務内容の見直し・感染症対応について（書面開催）

3 階介護課 事業報告

1 3 階介護課事業計画目標の総括

- (1) 「個々のご入居者の生活歴と現在の状況を詳細に把握し現在の気持ちや状況を踏まえ、そのニーズに応えるケアを提供する」について

個々のご入居者の生活歴や現在の状況を詳しく把握し、その気持ちやニーズに応えるケアの提供に努めました。まず、入居時および定期的なアセスメントの際に、ご入居者やご家族から過去の職歴・趣味・生活習慣などを詳細に伺い、その情報を居室担当者がフリーアセスメントシートに記録しました。

例えば、音楽が趣味だったご入居者には、お好きな曲を流してリラックスしていただく時間を設けるなどの取り組みを実施しました。また、日常的な会話やレクリエーション活動を通じて、ご入居者およびご家族との信頼関係を築きながら、過去の生活背景に基づくケアを行いました。さらに、ユニット会議やミーティングで実施したケアの評価を行い、新たな課題が見つかった場合には、ケア方法の見直しや職員間の情報共有を徹底し、継続的な改善を図りました。今後も、ご入居者一人ひとりの背景や想いを大切にしながら、より良いケアの実現を目指していきます。

- (2) 「業務の時間効率を上げることで、職員の負担を減らし、ご入居者へのケアの質を向上させる」について

職員の負担を軽減し、ご入居者へのケアの質を向上させるために、業務時間の効率化に取り組みました。排泄アイテムや備品の使用状況を定期的に把握することに努めました。無駄をなくす体制を整えたほか、業務内容を丁寧に分析して不要な手順を洗い出すとともに、合理化できる部分を積極的に改善し、職員が本来のケア業務に専念できる環境作りをしました。作業の合理化を図ることで業務全体の流れがスムーズになり、職員間の連携も向上しました。

また、ユニット会議やミーティングでケア方法、技術について話し合い、職員一人ひとりのスキルアップを図り、チーム全体としてのケア水準も向上しました。

今後も引き続き、職員一人ひとりが力を合わせ、より良いケアを提供し続けるために、継続的な改善を目指していきます。

- (3) 「全職員が意見を自由に表現できる環境を作る」について

まず、ミーティングや会議の場において、各自の進捗や困りごとを共有する時間を設け、早期解決に向けた意見交換を行いました。しかし、時には意見の対立や情報共有不足により、円滑な進行が阻まれる場面も見受けられました。

また、経験豊富な職員が若手職員の指導する場を設け、技術や考え方を伝える取り組みを実施しました。さらに、各職員の成功をチーム全体で祝うことで、相互尊重の意識を高め、多様な発想や価値観を認め合う風土づくりに努めました。これらの成功例と課題を踏まえ、今後も柔軟に改善を図りながら、全職員が安心して意見を交わせる職場づくりを目指していきます。

3 A Bユニット会議開催状況

実施日	議 題 内 容
4 月 22 日	周知事項、フリーアセスメントについて、ご入居者について
5 月 20 日	周知事項、フリーアセスメントについて、ご入居者について
6 月 24 日	周知事項、口腔ケア管理の強化対応に関わる必須取り組みについて
7 月 24 日	口腔ケア管理の強化対応に関わる必須取り組みについての進捗
8 月 26 日	口腔ケア取り組み、ご入居者について
9 月 30 日	不適切ケアについて、ご入居者について
10 月 22 日	不適切ケアについて、ご入居者について
11 月 25 日	ご入居者について、虐待案件のその後
12 月 23 日	ご入居者について、虐待案件のその後
1 月 20 日	感染症対応策について、服薬事故について
2 月	周知事項(書面開催)
3 月 24 日	ご入居者について、ノロウイルス研修、排泄コスト削減について

3 C Dユニット会議開催状況

実施日	議 題 内 容
4 月 23 日	ご入居者対応について・業務の見直しについて
5 月 24 日	ご入居者対応について・勉強会の振り返り・QOL 向上について
6 月 29 日	ご入居者対応について・業務の見直しについて・勉強会実施
7 月 20 日	ご入居者について・月次総括について・QOL 向上について・勉強会
8 月 26 日	記録のルール・口腔ケアの取り組み・ご入居者対応について・勉強会
9 月 30 日	周知事項・ご入居者対応について・業務の見直しについて
10 月 21 日	不適切ケアについて・ご入居者対応について・勉強会
11 月 25 日	ご入居者対応について・虐待案件のその後・勉強会
12 月 23 日	ご入居者対応について・清掃について
1 月 20 日	感染症対応について・ご入居者対応について・QOL 向上について
2 月 24 日	不適切事案について・夜間急変について・ご入居者について・勉強会
3 月 31 日	ご入居者について・業務について・勉強会

4 階介護課 事業報告

1 4 階介護課事業計画目標の総括

(1) 「ご入居者、ご家族との信頼関係の構築」について

ご入居者に自分らしく安心して生活していただくためには、職員との信頼関係が不可欠となります。毎月のユニット会議では、それぞれのニーズや背景に沿ったケアの検討はもちろん、ご入居者一人ひとりとの日々の関わり方についても意見交換を行い、成功事例や失敗事例を共有する事で、価値観や感情に寄り添った対応をすることができました。また、ご家族の面会時には積極的に声を掛け、ご入居者の状態や生活の様子をお伝えするとともに、ご家族の不安や疑問に真摯に対応する事で、信頼関係の構築を図ってきました。しかし、多くのご家族から日々のケアに対する感謝のお言葉をいただく事ができた一方で、接遇面においてご指摘をいただいた事もありました。ユニット会議で職員に周知を行うとともに、必要時には個別での指導を行い、ケアの基本となる言葉遣いや表情、態度など、各々がご入居者との関わり方について振り返る機会を設けました。

今後もご入居者やご家族の言葉にしっかりと耳を傾け、気持ちに寄り添った対応を心掛けていく事で、より良い関係性を築いていけるよう努めていきます。

(2) 「リスクマネジメントの強化」について

ご入居者に安全に生活していただけるよう、ユニット会議にて事故の再検証や事例検討を実施しました。転倒事故など、「防ぎきれない事故」もある中で、服薬に関する事故については職員の確認不足による服薬忘れが多く発生してしまいました。再発防止策として、フロア独自のチェック表を作成するとともに、事故防止に関する研修を通して服薬の重要性や誤薬のリスクについての再確認する場を設けました。

服薬忘れなどのヒューマンエラーによる「防げる事故」を起こさないようにするため、業務マニュアルの見直しや職員同士の積極的なコミュニケーションから事故を未然に防ぎ、安全、安心な生活環境を提供できるよう取り組んでいきたいと思ひます。

(3) 「感染症対策や対応力の強化」について

年始に4階フロア全体においてご入居者10名、職員1名が新型コロナ陽性となるクラスターが発生しました。これまで対応シミュレーションの実施や他フロアでの感染症発生時の情報共有を行い、発生時に備えてきたつもりではいましたが、フロアでは初めての感染拡大という事もあり、いざ実際の場面に直面すると忘れていた事や分からない事も多く、思い通りに物事が進まず対応に苦慮する事がありました。他部署や他フロア職員の協力もあり、不慣れな状況を乗り切ることができましたが、感染したご入居者のうち6名が重症化し入院や退居を余儀なくされる事となり、感染症のリスクや適切な対応の重要性を改めて実感させられる結果となってしまいました。

次年度も季節に関わらず感染症の発生が予想されますが、今回の経験を活かし、予防対応の継続と発生時の適切な対応に努め、ご入居者が安心して生活できる環境づくりに取り組んでいきたいと思ひます。

4 A Bユニット会議開催状況

実施日	議 題 内 容
4 月 30 日	感染症発生時対応シミュレーションの実施
5 月 31 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
6 月 27 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
7 月 26 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
8 月 30 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
9 月 27 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
10 月 30 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
11 月 30 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
12 月 29 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
1 月 28 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
2 月 28 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
3 月 31 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項

4 C Dユニット会議開催状況

実施日	議 題 内 容
4 月 30 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
5 月 27 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
6 月 30 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
7 月 31 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
8 月 28 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
9 月 29 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
10 月 31 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
11 月 27 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
12 月 23 日	感染症発生時対応シミュレーションの実施
1 月	感染症対応により未実施
2 月 4 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
3 月	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項（書面開催）

5 階介護課 事業報告

1 5 階介護課事業計画目標の総括

(1) 「その人らしさ」を考えた支援の構築について

ご入居者の生活歴をアセスメント表から情報収集し、ご家族とご入居者の思いを摺り合わせ、充実したユニットでの生活が送れるよう支援しました。ご家族が面会に来られた際は、ご入居者の近況を伝えると共に、会話の中でアセスメント表に載っていないご入居者の情報を引き出し支援につなげるよう心がけました。また、ご入居者には居室担当者が中心となってニーズの把握をし、ユニット会議や日々のミーティングの場を活用しての情報共有から、現在のADLに沿った支援の提供を心がけました。これらを踏まえて、落ち着きがなくなってしまうご入居者に趣味にまつわる書籍を提供してみたり、動画鑑賞や会話の糸口として話題をふってみたりと実際に支援に活かしてみました。

結果、この支援を通してご入居者が落ち着かれることはありませんでしたが、ご入居者の為に「その人らしさ」を考えた支援の提供が行えた点では評価できると考えています。これからも継続的に同様の支援が行えるよう努めていきます。

(2) ご入居者・ご家族との信頼関係の構築について

ご入居者やご家族と積極的にコミュニケーションを取り、そこで得た情報をケース記録やユニットノート、事務連絡に残し、職員間で共有しました。共有した情報を元にミーティングで検討し、ご入居者の趣向に合わせた支援を行いました。ご家族面会時には普段の様子だけでなく、こちらから疑問点などないか伺いました。疑問点以外にも職員の対応についてご指摘いただくこともありました。それらの内容を日々のミーティングで話し合い、再度同じ事がないよう役職者から該当職員に対して口頭で指導を行いました。指導した事をご家族にもお伝えし、今後はこのような事が起こらないよう定期的にユニット会議や日々のミーティングを活用し接遇の指導を行っていきたいと思います。

(3) バリエーション豊かな余暇活動の実施について

ご入居者から「1日中室内に居るから今の季節がなんのなのかわからないわ」とのお言葉をいただきました。この話をミーティングで共有し、業務の合間を活用し庭園に散歩に行きました。外気に触れることでご入居者に季節を感じていただき、ご入居者からは「外の風が気持ちいい」と喜んでいただきました。今年度は一部のご入居者のみの支援となったため、希望される他ご入居者にも同様の支援が定期的に行えるよう取り組みたいと思います。また、ご入居者との話題作りの為、レクリエーションや行事等の催しの際の写真を撮影し、共同生活スペースの廊下に写真展として張り出しました。ご入居者は「こんな事合ったわね」と笑顔で話されていました。写真を居室にも飾ることによって、ご家族からは「楽しそうで良かったです。こんなに飾っていただき、ありがとうございます。」と嬉しいお言葉をいただくこともできました。さらには、ご入居者の誕生日の日には、ご入居者にエレベーターホールへ集まっていただき、職員と他ご入居者で一緒にお祝いをしました。メッセージカードをお渡しし楽しみと笑顔溢れる空間を演出することができました。

5 A Bユニット会議開催状況

実施日	議 題 内 容
4 月 7 日	ご入居者対応、業務改善について
5 月 11 日	ご入居者対応、業務改善について
6 月 22 日	ご入居者対応、業務改善について
7 月	ご入居者対応、業務改善について（書面会議）
8 月 3 日	ご入居者対応、業務改善について
9 月	ご入居者対応、業務改善について（書面会議）
10 月 12 日	ご入居者対応、業務改善について
11 月 5 日	ご入居者対応、業務改善について
12 月	ご入居者対応、業務改善について、パーキンソン病について（書面会議）
1 月 26 日	ご入居者対応、業務改善について
2 月 16 日	ご入居者対応、業務改善について
3 月 23 日	ご入居者対応、業務改善について

5 C Dユニット会議開催状況

実施日	議 題 内 容
4 月 11 日	ご入居者対応、業務改善について
4 月 20 日	ご入居者対応、業務改善について
5 月 3 日	ご入居者対応、業務改善について、グループワーク
5 月 20 日	ご入居者対応、業務改善について、グループワーク
6 月 6 日	ご入居者対応、業務改善について
6 月 18 日	ご入居者対応、業務改善について
7 月 15 日	ご入居者対応、業務改善について
8 月 30 日	ご入居者対応、業務改善について
9 月 20 日	ご入居者対応、業務改善について
9 月 25 日	ご入居者対応、業務改善について
10 月 30 日	ご入居者対応、業務改善について
11 月	ご入居者対応、業務改善について（書面開催）
12 月 26 日	ご入居者対応、業務改善について
1 月	ご入居者対応、業務改善について（書面開催）
2 月 15 日	ご入居者対応、業務改善について
3 月 17 日	ご入居者対応、業務改善について

医務課医務係 事業報告

1 医務課医務係事業計画目標の総括

(1) より良いケアができるよう知識・技術を高める

ご入居者の個別性を考えながら、最善のケアが行えるようにカンファレンスを実施しました。わからないこともその場で調べ、医務課内で共有しお互いの知識、技術が高められるように関わりました。

(2) 業務改善の提案・変更を行い、効率化を上げる

医務課内の業務負担が偏らないよう、お互いに声を掛け合って協力できるように一人ひとりが気を付けました。今まで2階のフロア担当と2階の経管栄養の担当を分けていましたが、担当を1人にすることで、他フロアに回る担当を増やせたため余裕ができ、業務改善を行えました。

(3) 個々の意見を尊重し、良好な職場環境を作る

違うと思ったところも根拠を入れて指摘することで、否定的にならず、お互い納得して業務を行えました。様々な看護観がありますが、それぞれ話し合いを行いお互いの理解を深めることができました。

(4) 利用者の体調管理に努め、入院数を削減する

介護課からの申し送りを受け、ラウンド時に観察、迅速に医師へ報告し、回診時に処方薬を依頼しました。回診まで待てない症状の場合は速やかに受診の方向で話を進めていきました。基礎疾患や既往歴も様々で入院数を減らすことは難しいですが、園内で管理できる状態の方は体調管理に努めていきました。

2 活動報告

(1) 体調不良者の状態観察、バイタルサイン測定、創傷の処置、排便処置を日々医務課内で情報共有しながら行いました。体調不良者だけではなく、ラウンド時に共有スペースにいる方にお話を聞きながらお困りのことはないか、体の調子について聞きながらラウンドするよう心掛けました。

(2) 経口摂取が困難になってきている方は、看護師よりご家族へご意向を聞いた上で、嘱託医と相談しながらお看取り方針として対応させていただきました。状態著変時はご家族と密に報告を行い、感謝の言葉をいただきました。計14名の方がお看取りとなり、ご逝去されました。

(3) 感染症対策委員会の開催

令和6年度から3か月に1回の開催としました。クラスターがあった感染症（新型コロナウイルス、インフルエンザウイルス、疥癬）についての対応の振り返り、また改善点について話し合い、マニュアルの作成、初動の動きの確認など行いました。またサラヤの業者に来園していただき、手洗いチェッカーを使用しながら全部署の手洗いの確認を行いました。

(4) 褥瘡予防対策委員会の開催

令和6年度から3か月に1回の開催としました。前年度は書面開催が多かったため対面での開催を行っています。内容としては褥瘡者の確認や排泄状況や、ポジショニング、栄養

状態の確認。またはスキンケアの予防方法、血行不良の予防に対しての運動、スキンケアを予防するためのテープの剥がし方など委員会内で行いました。

(5) 入居者の健康診断の実施

11/14にご入居者 121 名の心電図・胸部レントゲン・血液検査・尿検査を行いました。検査結果を嘱託医に確認していただきました。

(6) インフルエンザワクチンの予防接種の実施

嘱託医の協力のもと 10 月に予防接種を行いました。ワクチンの副反応の症状に注意しながら翌日の観察を行いました。6 年度から新型コロナウイルスの集団ワクチン接種は実施していません。

(7) インフルエンザ、新型コロナウイルス、疥癬のクラスター

新型コロナウイルスのクラスターが 4～5 月、12～1 月にあり、複数フロアで発生もありました。スタッフ、ご入居者の感染が複数名みられ、新型コロナウイルスが直接的ではないものの肺炎等の関連死も含めると死亡者数は 4 名ありました。

12 月にはインフルエンザのクラスターが 3 名あり、入院者、死亡者はいません。

10～12 月にかけて疥癬のクラスターがあり、皮膚科医の協力のもと感染対策、内服薬、軟膏を塗布し終息しました。疑いの方も含めるとスタッフも合わせて 12 名みられました。

入居者診療状況（実人数）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
内科（往診）	135	132	136	132	137	135	130	128	132	121	124	123
精神科（往診）	83	85	85	84	83	85	75	78	73	71	68	65
内科	6	10	8	11	12	3	9	8	8	8	7	9
呼吸器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消化器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
循環器科	3	0	5	3	0	3	1	5	2	1	2	2
内分泌科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	0	0	1	4	0	1	0	0	1	0	0	3
整形外科	4	2	2	4	5	3	4	5	4	3	3	2
脳外科	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	1
精神科	0	0	1	1	1	1	0	1	1	1	0	1
皮膚科	3	1	4	4	2	4	5	5	1	2	0	1
眼科	1	2	0	2	3	2	1	1	1	3	0	2
耳鼻科	2	1	2	1	1	0	1	1	1	2	1	1
歯科	2	2	2	1	0	3	2	2	2	1	1	0
その他	0	4	1	1	4	2	3	1	3	1	0	2
歯科（往診）	103	99	102	102	99	100	131	109	104	98	93	103

入居者診療状況（延人数）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
内科（往診）	234	182	204	271	240	224	234	215	210	157	202	245
精神科（往診）	166	170	170	168	166	170	150	156	146	142	136	130
内科	14	10	8	13	12	4	9	8	8	8	7	9
呼吸器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消化器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
循環器科	3	0	6	3	0	3	1	6	3	1	2	2
内分泌科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	5
整形外科	4	2	2	4	6	5	4	5	6	3	3	2
脳外科	0	1	0	0	0	1	1	0	0	2	0	1
精神科	0	0	1	1	1	1	0	1	1	1	0	1
皮膚科	3	1	5	5	3	5	7	6	1	2	0	1
眼科	1	2	0	3	6	7	1	1	1	3	0	2
耳鼻科	2	3	2	1	1	0	1	1	1	2	1	1
歯科	2	4	4	1	0	3	3	2	2	1	1	0
その他	0	4	1	1	5	2	3	1	4	1	0	2
歯科（往診）	208	177	236	199	194	183	196	167	188	164	199	203

入院状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
内科	5	7	5	11	5	4	7	4	7	5	3	3
呼吸器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消化器科	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1
循環器科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
脳外科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
整形外科	1	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0
その他	0	1	2	0	0	0	0	0	1	2	0	1

退居状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
退所	4	1	5	1	2	2	5	5	4	10	4	0
（内死亡者）	（3）	（1）	（2）	（1）	（1）	（1）	（3）	（5）	（3）	（8）	（1）	（0）

医務課リハビリ係 事業報告

1 医務課リハビリ係事業計画目標の総括

- (1) 今年度の福祉用具を活用した取り組みは、個々の状態に合った福祉用具を選定し導入することで、利用者の不具合を解消することが出来ています。解消できた要因として 10 台のリース車椅子の他に、新たに 17 台のリース車椅子を導入出来たことが挙げられます。リースの車椅子と共に、クッションを合わせて使用することで、より快適な座位姿勢がとることが出来ました。リースの情報も 3 園での会議等で情報共有することが行えました。

新たなご入居者の方では、歩行が可能なご入居者も入居され、より歩行器に対するニーズが見られました。ご入居者に適した歩行器の不足は今年度も見受けられました。

ご入居者が楽しんで過ごせるような機能訓練の取り組みも、趣味活動や園庭、音楽療法、クラブ活動、作業などを利用し、機能訓練と合わせて実施することが出来ました。

もみの樹園開設当初から使用していた車椅子は劣化や故障が多発しており、その修理に時間を費やすことが増えました。その代わりに、リース車椅子の使用が増えメンテナンスについては業者に依頼することで、業務の負担が軽減できました。

ケアプランと個別機能訓練計画の計画期間については情報共有を行い、計画期間を合わせることで効率化を図ることが可能となりました。

2 活動報告

(1) 機能訓練

個別機能訓練計画については、ご入居者（ご家族）より同意を得ることが出来ており、個別機能訓練加算を算定しています。また、3 か月ごとの定期評価も滞りなく行っていました。

機能訓練室や各居室やフロア内において、ご入居者の生活に合わせた運動を行い、ADL 維持に努めました。

＊別紙「個別機能訓練加算」を参照

(2) 音楽療法

音楽療法士 1 名体制により、各フロア月 2 回の音楽療法を実施しました。

(3) 研修・技術指導

研修に関しては、法定研修である褥瘡予防研修（ポジショニング）を担当し、実際の移乗動作やポジショニングについても、車椅子やベッド上にて介護職員と業務の中で検討して取り組みました。

(4) 部署会議

3 園での部署会議を 3 か月ごとに、持ち回りにて行い、業務内容や福祉用具に関する各園の状況や利用頻度などを共有することが出来ました。

(5) 福祉用具

福祉用具のデモ機利用やクッションの購入は必要なご入居者には評価を行い、ご家族に購入を依頼することで、施設負担を減らすことができた。エアーマットの故障も多々見られ、迅速に修理を依頼することが出来ました。

個別機能訓練加算

	加算対象 人数	加算算定 日数(計)
4 月	137	3,739
5 月	135	3,840
6 月	138	3,855
7 月	136	3,887
8 月	137	3,959
9 月	137	3,948
10 月	139	3,974
11 月	136	3,704
12 月	133	3,824
1 月	132	3,745
2 月	126	3,305
3 月	128	3,754
合計		45,534

生活課 事業報告

1 生活課事業計画目標の総括

令和6年度の生活課は、高稼働率の安定と社会資源のベッドの有効活用、ご入居者、ご家族の満足度向上の一端を担うことを目指しました。

令和6年度は新規入居者36名、退居者43名となりました。特養年間稼働率は目標予算編成稼働98%に対して96.4%となり、前年度比較で-1.8%の減少となりました。上半期は98.1%でしたが、下半期は94.8%と大幅に減少しました。主な理由として、下半期の退居者数の急増(28名)と、継続した入院者数(6.7名)の多さが要因として挙げられます。新宿区内待機者も年々減少している現状を含め、待機者確保が最優先課題となります。そのためには選ばれる施設であることが重要であり、安心安全の提供がみえることに取り組んでいくことが必須になると考えています。

ショートステイに関しては稼働51%で、前年度より-6.7%となりました。新規利用者数は申し込み者が減少傾向にあります。理由として、周辺に20床、27床の個室ユニット型ショート専用施設が2か所あることや、医療やリハビリが整っている老健でのショートステイへのニーズが高まっていることが影響していると考えられます。

2 活動報告

(1) 多様化するニーズをしっかりと把握するとともに、知識・技術の向上を意識して取り組む。

高齢者虐待防止委員会、身体拘束等適正化委員会の開催を年4回、研修に関して年2回実施しました。また、ハラスメント防止研修は年1回を書面開催とし、滞りなく実施しました。

東京都知事選挙及び東京都都議会議員補欠選挙を令和6年7月7日執行。当園では7月5日に不在者投票を実施し24名が投票されました。衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査を令和6年10月27日執行。当園では10月25日に不在者投票を実施し26名が投票されました。公正かつ適切な不在者投票に努め、ご入居者の権利を行使されました。

新宿区の医療処置を必要とする受け入れ要請に応じ、定員の1割を超え月平均15.1名の受け入れを調整し、常に基準を満たすよう努めました。

介護報酬改定に伴い、事前にご家族等へ周知などをおこない、混乱が生じないよう対応しました。

(2) 業務改善の意見を出し合い、効率的な部署・組織運営に努める。

新宿区内特養・ショートステイ相談員連絡会へ毎月参加し、情報交換や地域ニーズの共有を図りました。

生活課スケジュールにて進捗状況の管理をおこない、スピード感をもった対応を心掛けました。また、10月より1名が産後育児休業に入りましたが、スムーズな業務移行や業務進捗に支障がないよう努めました。

(3) 部署内、各部署と良好な関係を構築できるよう行動する。

他職種への役割を認識するとともに、相手の目線や立場に添ったコミュニケーションを心掛けました。新規入居者に関してインテークの実施や実調でアセスメントをおこない、情報共有を図りつつリスクマネジメントを意識して取り組みました。

各種会議において、新宿区優先名簿による待機者からご家族からの意見まで、生活課が持

つ情報を発信するよう努めました。

部署内では、情報共有と進捗確認をスケジュール共有などの目に見える形を意識して取り組みました。また、一人ひとりの課題や問題解決を相互に測れるよう努めました。

(4) 待機者確保に努めるとともに、空床期間を最小にできるように調整することを意識する。

入退院状況の把握に努め、優先名簿の意向確認を最優先課題として取り組み、空床期間を最小限にするよう努めました。入居に関しては10日に1名、退居は8.5日に1名。令和7年1月の10名退居が大きく響く結果となりましたが、月別に見れば、概ね空床期間は短くできました。

見学に関しては年間52件受け入れました。区内の優先名簿の人数は減少傾向が著しく、選ばれる施設になるために引き続き見学の柔軟な受け入れと丁寧な説明を心掛けていきます。

居室稼働状況 月別・年間平均集計表

令和6年4月～令和7年3月

	A特養本体 (%)	Bショート専用 (%)	C全体 (%)
4月	96.3	55.7	90.9
5月	95.6	56.3	90.3
6月	99.3	57.3	91.5
7月	97.2	49.2	90.8
8月	98.8	50.8	92.4
9月	101.2	55.5	95.1
10月	99.1	51.1	92.7
11月	96.1	47.0	89.7
12月	95.3	47.1	88.8
1月	93.4	46.5	87.2
2月	91.5	50.9	86.3
3月	93.3	42.9	86.7
平均	96.4	50.9	90.2

A：定員130床に対するベッド稼働率

B：専用20床に対するベッド稼働率

C：全体150床に対するベッド稼働率

特養 月別在籍者数・入院者数・月平均入院者・現員数

令和6年4月～令和7年3月

	在籍者 (名)	入院者数 (名)	月平均入院者 (名)	月平均現員数 (名)
4月	133.7	7	8.20	125.1
5月	133.7	9	9.41	124.2
6月	137.5	7	4.06	129
7月	133.8	12	7.38	126.4
8月	136.3	5	7.74	128.4
9月	136.3	5	4.80	131.5
10月	136.4	9	7.58	128.8
11月	132	6	7.06	124.9
12月	131.5	10	7.58	123.9
1月	126.8	7	5.32	121.4
2月	123.7	3	4.82	118.9
3月	125.5	5	4.22	121.3
年間	132.3	85.0	6.51	125.3

ショートステイ 利用状況

令和6年4月～令和7年3月

	実人数（名）	利用日数（日）	送迎（件）		受け入れ	1日平均 利用者数 （名）
			入所	退所	新規	
4月	41	344	64	63	4	11.5
5月	42	350	62	63	4	11.3
6月	38	341	61	61	2	11.4
7月	36	307	57	57	3	9.9
8月	36	316	61	57	1	10.2
9月	39	333	58	61	3	11.1
10月	39	318	58	61	4	10.3
11月	33	282	50	52	3	9.4
12月	31	292	47	49	1	9.4
1月	36	289	52	52	4	9.3
2月	33	295	51	50	3	10.2
3月	30	266	44	48	0	8.6
年間	434	3733	665	674	32.0	
月平均	36.2	311.1	55.4	56.2	2.7	10.2

特養 入居者内訳

令和7年3月31日現在

男女比			月間新規受け入れ者数		保険者別		
性別	人数	比率 (%)	月	人数	保険者	合計	比率 (%)
男	9名	25.0	4月	3名	新宿区	36名	100.0
女	27名	75.0	5月	2名	区外	0名	0.0
合計	36名	100	6月	4名	合計	36名	100
入居時介護度内訳			7月	4名			
介護度	人数	比率 (%)	8月	3名			
特例	0名	0.0	9月	1名			
要介護3	11名	30.6	10月	3名			
要介護4	12名	33.3	11月	2名			
要介護5	13名	36.1	12月	2名			
合計	36名	100	1月	3名			
入所前施設別			2月	4名			
前所	人数	比率 (%)	3月	5名			
グループホーム	1名	2.8	合計	36名			
特定施設	7名	19.4	平均	3.0名			
医療機関	5名	13.9					
老健	11名	30.6					
在宅	12名	33.3					
合計	36名	100					

特養 退居者内訳

令和7年3月31日現在

男女比			月間退居者数		退居者在園期間	
性別	人数	比率 (%)	月	人数	在園期間	人数
男	11名	25.6	4月	4名	10年以上	0名
女	32名	74.4	5月	1名	8～10年	5名
合計	43名	100	6月	5名	6～8年	0名
退居時介護度内訳			7月	1名	5～6年	1名
介護度	人数	比率 (%)	8月	2名	4～5年	7名
特例	2名	4.7	9月	2名	3～4年	3名
要介護3	4名	9.3	10月	5名	2～3年	8名
要介護4	16名	37.2	11月	5名	1～2年	7名
要介護5	21名	48.8	12月	4名	1年以内	12名
合計	43名	100	1月	10名	1か月以内	0名
退居時理由内訳			2月	4名	合計	43名
退居理由	人数	比率 (%)	3月	0名		
永眠(当園)	16名	37.2	合計	43名		
永眠 (医療機関)	13名	30.2	平均	3.6名		
長期療養	12名	27.9				
在宅	1名	2.3				
他施設	1名	2.3				
合計	43名	100				

特養 入居者の日常生活自立度

令和7年3月31日現在

介護度 分布				日常生活自立度			
介護度	全体	男性人数	女性人数	障害自立度		認知症自立度	
要介護1	0名	0名	0名	障害なし	1名	症状なし	0名
要介護2	1名	0名	1名	J 1	1名	I	2名
要介護3	26名	6名	20名	J 2	0名	II	14名
要介護4	47名	9名	38名	A 1	16名	III	66名
要介護5	53名	11名	42名	A 2	33名	IV	24名
計	127名	26名	101名	B 1	17名	M	21名
				B 2	34名	III～M 比率 (%)	111名
				C 1	11名		82. 8
				C 2	14名		

特養 入居者性別・年齢別構成状況表

令和7年3月31日現在

	男性	女性	計
100歳以上	0名	5名	5名
90歳以上～100歳未満	7名	51名	58名
80歳以上～90歳未満	13名	35名	48名
70歳以上～80歳未満	5名	9名	14名
60歳以上～70歳未満	1名	0名	1名
60歳未満	0名	1名	1名
計	26名	101名	127名
男女別平均年齢	84. 9歳	89. 9歳	
全体平均年齢	87. 4歳		

特養 入居者階層別負担割合

令和7年3月31日現在

	第1段階	第2段階	第3段階①	第3段階②	第4段階
負担区分	食費 300円	食費 390円	食費 650円	食費 1360円	食費 1750円
	居住費 820円	居住費 820円	居住費 1310円	居住費 1310円	居住費 2400円
人数	0名	7名	8名	26名	69名
階層比率 (%)	0.0	5.4	6.2	20.0	53.1

令和7年3月31日現在

介護保険負担割合	
1割負担	110名
2割負担	7名
3割負担	10名
合計	127名

特養 入居者医療処置対象者一覧

令和7年3月31日現在

医療処置名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
インスリン注射	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
経管栄養	7名	7名	6名	5名	6名	5名	4名	4名	4名	4名	4名	4名
尿道カテーテル	3名	3名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	1名	2名	2名	2名
ストマ	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名
ペースメーカー	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名
酸素療法	1名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
褥瘡	1名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名
受入人数	18名	19名	16名	15名	16名	15名	14名	14名	13名	14名	14名	14名

栄養課 事業報告

1 栄養課事業計画目標の総括

(1) 食生活の充実と満足度の向上を図る

- ① 郷土料理や新メニューを提供した際、ミールラウンドを行い法人内栄養課で情報共有をしました。日々ご入居者から味の感想やご意見を伺い、職員からはご入居者の反応を聞き取り調査しながら1年を振り返り、年末には食事満足度調査を実施しましたが、「覚えていない」「忘れた」などのご意見も多くありました。一方、今後食べてみたいものは？の問いにはカレーや揚げ物、洋食等のオーソドックスな料理が多く出ました。物価高騰の折ではありますが食材料費も考慮しつつ、今後も、日々ご入居者のご意見を参考に栄養課一同、食事サービスの満足度向上を図っていきます。
- ② 毎月の体重測定や食事摂取状況記録からスクリーニングを行い、低栄養のリスクが高いと判断されたご入居者に関しては、ミールラウンドを行いました。その中で、介護職員等多職種からもご入居者の嗜好や日々の様子を聞き取り、一人ひとりの嗜好やADLに合わせた食事の提供に努めました。

(2) 共通献立の安定供給に努めることにより、業務の再効率化を図る

- ① センター（むさしの園）から、サテライト（けやき園、もみの樹園）に計画生産品の品質についてアンケートを実施し、情報共有を行いました。
サテライトで味の調整の有無や頻度、食材の硬さ（大きさ）等のアンケートを実施し、概ね問題無いとの回答を得られました。各園の使用している機械やタイムスケジュールの若干の違いにより、加熱温度や時間に差があっても安定した計画生産品の提供が行われていたという結果となりました。引き続き、各園での情報共有を行い安定した食事の提供に努めます。
- ② 完全調理済食品取扱業者導入のシミュレーションを作成しました。
今後主力職員の定年退職などによる人材不足や、現在長期化しているサテライト（もみの樹園）と、センター（むさしの園）での人員不足も重なり、安定した3食の食事提供がいつ脅かされるか遠い未来ではないことは予想されます。
現状の人数配置と給食単価・光熱費などと比較検討した結果、法人への給食に係る経費の圧迫が懸念され、断念する事となりました。その後、米不足によるお米の高騰などにより給食単価の急激な上昇もあり、今後も完全調理済食品導入を視野に入れながら、地道にコストの見直しと3食の安定供給のための施策に取り組んでいきます。

(3) 法人内栄養課の職員環境の安定を図る

- ① 人員不足による職場環境の悪化を少しでも改善できる様、法人内栄養課で互いに調理職員を派遣し合い、職場環境の改善に努めました。職員確保が安定したのは、ムリ・ムダ・ムラの提案を行い、タイムスケジュールの見直しと適正人員配置の構築に努めていきます。また、引き続き人員不足を補うための調理職員の派遣はもちろん、就業規則の改正事項内特別休暇の取得の為などでも職員の派遣を行い、職場環境の改善と職員満足度の向上に努めていきます。
- ② ICT化推進のために、第6次中期経営計画DXプロジェクトメンバーと食事サービス委員会とで協議を重ね、食事アセスメント表Ⅰ・Ⅱのデータ管理に移行する取り組みを行い

ました。先行して、むさしの園食事サービス委員会で協議し、実施・モニタリング、マニュアルの変更等行いました。これまで紙ベースで作成・保管していた食事アセスメントシートⅠを介護ソフト内のデータ入力・保管に切り替え、これにより食事アセスメントに係る労力の縮小が実現となり、いつでもデータを閲覧し、ご入居者食事アセスメント情報を他部署と共有することができるようになりました。今後は食事アセスメントシートⅡも同様に介護ソフト上での入力・保管に切り替えていくことが課題です。

(4) ベッド稼働率に合わせた食数・食材の管理を行う

- ① 入院や退所、職員食数の増減により予定食数との乖離が大きい月もありましたが、小まめに食数変動の調整を行うことで、予定食数と実施食数の乖離を抑えるよう取り組みました。また、可能な限り当月購入食材は当月内で処理を行い、月末在庫の削減に努めました。引き続き食材管理の徹底を図っていきたいと思います。
- ② 前年は夏季の高温や集中豪雨など地域格差が激しく、異常気象により新米の確保が困難となり、全国的な米不足となりました。9月頃から米の価格上昇があり、園盛会でも11月中旬より価格が1.5倍に値上がりがありました。その他の食材も人件費や材料コストの上昇、鳥インフルエンザの流行による鶏卵の高騰は今でも続いており、安価な食材に切り替えても給食単価を抑えることは難しくなってきました。特に正月商品の値上がりが顕著であり1月の給食単価6.4%の上昇がみられました。そのような厳しい状況下でも可能な商品は少しでも安価な物へ切り替え、栄養目標量を満たしながら食糧構成を見直し、食材料費10～50%の価格上昇が有っても、前年比給食材料費を2.5%増に止めることができました。今後も継続的な物価高の影響が考えられるため、引き続き食材の見直しを随時行いながら、給食単価の安定と行事食の材料費も検討していかなければならないと考えています。

2 活動報告

(1) 栄養ケアマネジメントの実施

6月・9月・12月・3月の年4回実施しました。各部署との連携を図り、ご入居者の身体計測・臨床検査等の情報をオンラインで収集し、食事摂取状況を比較しながら栄養状態のスクリーニングを行い、そのデータを参考に嘱託医による低栄養のリスクレベル判定を実施しました。

このスクリーニングと各部署からのご入居者の一人ひとりの情報をもとにアセスメントを実施し、栄養ケア計画書の作成を行いました。モニタリングは高リスクについては2週間ごと、低・中リスクは月に一度行い、体重測定の後に行いました。

表—1「スクリーニング実施状況表」参照

表—1「スクリーニング実施状況表」

頻度 リスク別	36回目 6月	37回目 9月	38回目 12月	39回目 3月
低リスク	116名	109名	100名	95名
中リスク	15名	24名	29名	28名
高リスク	5名	4名	2名	3名

※ リスクとは、低栄養の状態が低い、高いかで、高リスクとは低栄養のリスクが高い事を示します。

(2) 食事サービスの向上のための会議実施

① 食事サービス委員会

偶数月第3水曜日の13:30～14:30の時間帯で開催しました。

管理栄養士が司会進行を行い、議事録作成は各部署で持ち回りにて行いました。介護課の各フロア及び各部署の食事サービス委員が出席し、より良い食事サービス提供を目的として話し合い、食事サービスの向上につながるよう努めました。

② 厨房会議

毎月第1火曜日または行事等調理職員の勤務に合わせ14:00～14:30の時間帯で開催しました。

施設栄養士と給食委託調理職員が出席して、より良い食事サービス提供を行い、食事サービスの向上につながるよう努めました。

(3) 年間郷土料理の実施

3施設で郷土料理の月を同じ地域にし、園盛会共通のサービスの提供を実施しました。

表-2「令和6年度 もみの樹園栄養課郷土料理年間実施表」参照

表-2「6年度 もみの樹園栄養課郷土料理実施表」

月	郷土料理実施地域	月	郷土料理実施地域
4月	アメリカ	10月	東京都
5月	佐賀県	11月	宮城県
6月	イギリス	12月	岡山県
7月	山口県	1月	秋田県
8月	スペイン	2月	北海道県
9月	宮崎県	3月	福井県

(4) 選択食の提供

毎週金曜日を原則として、2種類の主菜からご入居者を選んでいただき、選ぶ楽しさを感じていただき、より一層楽しい食生活の充実を図りました。また、主菜に限らずデザート等も実施しました。

(5) 非常食の管理

非常食用食材の管理と賞味期限の維持に努めました。

賞味期限が切れる商品から順次、新メニューへの商品と切り替えていきました。次年度も継続して行っていききたいと思います。

(6) 衛生管理

以下の衛生管理項目について、その確実な実施に努めました。

- ・毎朝・夕残留塩素の測定の実施（記録あり）
- ・寿司の日に実施する年3回の大掃除と掃除当番表の活用
- ・毎日終業時、手の触れる部分の次亜塩素酸消毒
- ・衛生管理マニュアルに沿った衛生管理の徹底

- ・健康管理に留意（チェックリスト記録）
- ・毎月の検便検査
- ・食器消毒保管庫による食器の温度消毒の実施（90 度以上・30 分以上）
- ・中心温度の測定（加熱食品の中心温度 85 度以上・1 分）

（7）嗜好調査・食事満足度調査の実施

① 嗜好調査

食事摂取状況や選択食のアンケート集計により、ご入居者の嗜好の把握に努めました。

② 食事満足度調査

食事満足度調査期間：令和 6 年 12 月 29 日（日）～令和 7 年 1 月 12 日（日）

（ショートステイを除く）

ご入居者へ毎日の食事や行事食に対しての感想やご意見等をアンケート調査しました。
今後の食事サービスの向上につなげていきたいと思います。

VI 運動機能向上型デイサービス もみの樹園 事業報告

1 地域事業課事業計画目標の総括

- (1) デイサービスを利用しているご利用者や、そのご家族の中で新型コロナウイルスに感染した事例は年間を通して数件程度と減少傾向にありますが、高齢者施設という特性もあり、感染対策は変わらず実施してきました。新型コロナウイルスに限らず、他の感染症等についても予防に対して理解をしていただく為の周知を定期的に行ってきました。職員も同様に、健康管理を徹底し、高い意識を持って感染症対策に取り組み、結果として、高い稼働実績と安定的な事業の運営を図ることが出来ました。

これからも、ご利用者が在宅生活を安心・安全に継続していけるように、身体機能の維持・向上と、ご利用者のニーズを把握して適切な対応を行うとともに、職員個々が事業の役割を理解し、高い責任感をもってサービスの質を高め、地域に必要とされる事業所を目指して取り組む必要があります。

2 活動報告

- (1) 身体状況を見極めて、利用者本位で満足のいくサービスを提供する。

健康状態や体調に配慮し、機能訓練等の内容を一緒に考えながら、安心して運動が行える環境を整え、機能訓練指導員はじめ多職種と連携を図りながら、充実した運動プログラムに基づいたサービスの提供に努めました。ご利用者の要望にも耳を傾け、生活に則した運動や快適な環境の下で運動が実施出来るように意識して取り組みました。また、運動しながらご利用者同士が交流できる場としても機能し、ご利用者にとって無くてはならない事業所となっています。

- (2) 業務の流れ、職員の動きを意識し、情報の共有を図りながら効率よく時間を有効活用する
ご利用者が適切なサービスの提供を受けていただく為に、ミーティングや申し送り時には情報の共有と周知を図ることで、ご利用者にとって質の高い満足のいくサービスを提供することができました。サービスを安全に実施することで、ご利用者からも信頼を得て、よい関係性も築けました。連携がスムーズにいくことで業務効率も上がり、勤務時間内に多くの業務を行いながらもご利用者と関わる時間が増えたことで、ご利用者の生の声を多く聞くことができました。そのうえで、より良いサービス提供に向けたチーム協働により、作業効率も上げることができました。

- (3) 声の掛け合いと、業務分担や連携を図る事により働きやすい雰囲気を作っていく。

全職員がご利用者本位のサービスを実現する為に、職員間だけでなくご利用者に対しても常に声掛けを行いながら、情報の漏れの無いよう申し送りの徹底など密に行ってきました。情報の共有により、職員一人ひとりが時間を有効に活用し業務に励むことができ、業務の遂行にも良い影響となりました。また、お互いの業務を理解し意識して取り組むことで、良好な関係性を築くことが出来ました。これからも継続して取り組み、デイサービスで働き続けられる環境を整えていきます。

(4) 利用を継続していただけるように、楽しく運動出来る環境作りに努め、利用者の健康増進を図る。

他事業所との連携や情報の共有により、ご利用者が抱える問題に対して適切に対応し、ひと声ひと声を大切にしたコミュニケーションを図ることで、その日の体調に合わせた運動プログラムを提供し、無理なく運動を実施していくことで体調の悪化を防ぎ、次回のご利用に向けて継続的に支援を行ってきました。

今後もご利用者が満足するサービスの提供を常に考え、職員が一丸となって取り組むことが出来るデイサービスを目指します。

職員講師勉強会 実施表

4 月	海外の玄関は内開き、日本は何故外開きなのか
5 月	言葉遣い「本来の大人の言葉の使い方」
6 月	食中毒予防の原則と 6 つのポイント
7 月	人喰いバクテリアについて
8 月	認知症への理解
9 月	アンガーマネジメントについて 自己診断
10 月	デイサービス送迎の事故について
11 月	手洗い、うがいをしないとどうなる
12 月	高齢者虐待、身体拘束について
1 月	ビジネスにふさわしい表現
2 月	ピロリ菌について
3 月	デイサービスにおける虐待事例 事例検討

介護度別分布状況

令和 7 年 3 月 31 日現在

介護度	男性	女性	計
事業対象者	0	1	1
要支援 1	5	15	20
要支援 2	6	20	26
要介護 1	9	27	36
要介護 2	3	15	18
要介護 3	4	6	10
要介護 4	1	4	5
要介護 5	0	0	0
計	28	88	116
平均介護度	1.30	1.20	1.20

月別通所利用実績・登録及び抹消数

令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月

月別 項目別		6 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	7 年 1 月	2 月	3 月	合計
通 所	月初 登録者	132	133	135	128	122	121	127	127	125	125	125	123	
	通所者	633	709	620	667	657	599	676	642	580	586	562	595	7,526
	稼働日	21	23	21	22	23	20	23	22	20	20	20	21	256
	1 日平 均利用 者数	30.1	30.8	29.5	30.3	28.6	30.0	29.4	29.2	29.0	29.3	28.1	28.3	29.4
登 録	新規	3	5	4	1	2	3	3	0	0	0	0	2	23
抹 消	死亡	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	他施設 入所	0	0	1	2	0	1	1	0	0	0	0	0	5
	当園 入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	長期 入院	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	1	2	7
	その他	3	3	3	3	4	0	2	2	0	0	1	2	23
月末 登録者数		133	135	128	122	121	127	127	125	125	125	123	121	

Ⅶ 事業所内保育所 もみの樹園 事業報告

1 保育課事業計画目標の総括

マスク着用、日々の消毒を継続し感染症対策を講じながら、各家庭に保育サービスを提供しました。また、体調不良児・熱発児が発生した場合には、早急に迎え・受診を促すことにより感染拡大を防ぐことができました。事業計画に掲げた、乳幼児主体の保育への理解・実践については、各職員が参加した研修内容を全職員へ周知する事で共通認識とし、業務に活かし園児へ提供する事ができました。利用児数については、一時保育利用者や卒園児からの紹介で興味・関心を持ち見学来園はあるものの、入園にまで及ばず達成できませんでした。現在、0歳児クラスでの入園が困難な連携園（特にそらいろ保育園）を希望する方が3歳児クラス以降を考慮し、もみの樹園を希望する方が多く見受けられます。連携先からのアナウンスもあり、今年度は数名連携園入園を念頭に入園する方がありました。

今後も連携園についても更なるアピールポイントとして発信、利用児増加を目指します。

2 活動報告

（1）乳幼児主体の保育への理解・実践

園児の様子を観察・理解した上で、指導計画立案、実践により適切な援助を提供する事ができました。本年度は0歳児クラスが1名の為、発達に応じ1歳児クラスと合同で過ごす等、職員同士連携しながら保育を実践しました。また、担当職員が長期不在の場合にも、「全職員が全園児の事を把握」できている為、混乱・生活リズムを崩すことなく成長を援助することができました。園児と保護者が安心・安全に保育サービスを利用できるよう、更なる信頼関係の構築を目指します。

職員各々の弱点と思われる項目を見極め研修に参加したことで、研修後業務に活かすことができました。研修が活かされていない職員については、保育力アップを継続できるよう引き続き研修に参加し、業務に確実に還元できるよう努めます。

（2）職員の業務内容理解と改善

周知事項等、前年度までの紙媒体による掲示を PC（保育ソフト）で周知にすることにより、ペーパーレス化を進める事ができました。また、保育ソフトを活用したことで周知のスピードが向上し、内容周知の時差も解消することができました。引き続き保育ソフトを活用し、ペーパーレスを推進していきます。

（3）家庭・保護者支援を推進

保護者のニーズに合わせたサービスを様々な方面からリサーチした結果、食育に興味・関心が多く見受けられました。今後の園児獲得に必要なサービスとして、食材業者の変更を検討。トライアル期間を設け、職員からの聞き取り等により、利用者が求める食育へ向けた改革を開始しました。令和7年度より食育コンテンツを充実させ、今までの食育関連を刷新し、対応業者を一カ所にする事で食材、食育教材、データ管理を一括で行う事ができるようになります。利用者が求める「食育」を日々研究し「求められる・選ばれる園」を目指し、今後も育児支援を実践していきます。

（４）一時保育周知と登録児増の強化

利用者や卒園児からの紹介による登録が見られましたが、大幅な利用者増には結び付きませんでした。利用者からの口コミにより園情報が拡散されている様ですが、「空き利用型一時保育」である為、希望利用が思いの外通らず、今年度において利用数増は伸び悩みました。

今後はホームページやInstagram等で保育所内情報を定期的に発信し、日々の保育情報を外部発信する事により、「開かれた園」として園児獲得に努めます。

月別通所利用実績

R6 年 4 月～R7 年 3 月

月別 項目別				R 6 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	R 7 年 1 月	2 月	3 月
通 所	地域 枠	0 歳児		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		1 歳児		5	5	5	6	6	8	8	8	8	8	8	8
		2 歳児		7	7	7	7	7	7	8	6	6	5	5	5
	従業 員 枠 (共同 利用 枠)	0 歳 児	新宿区												
		1 歳 児	新宿区												
		2 歳 児	新宿区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	月別合計				14	14	14	15	15	17	18	16	16	15	15

一時保育 / 延長保育 利用実績

月別 項目別	R 6 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	R 7 年 1 月	2 月	3 月	合 計
一時保育	34	40	41	34	45	35	39	46	41	40	53	62	510
延長保育	1	0	2	2	1	0	0	2	1	0	0	0	9

主な年間行事

実施日	行事名	内容
7月20日(土) 1階多目的ホールにて 保護者参加 8月1日(木) 保育所内にて実施	おまつりごっこ すいかわり	おまつりの雰囲気を楽しみながら 夏の一日を楽しむ すいか割りを楽しむ
9月17日(火)	敬老会 (敬老の日) 事前に記念品贈呈 もみの樹園敬老会参加	・特養のご利用者様の長寿をお祝いする 特養ご利用者様：記念品贈呈／在園児祖父母：園児から手紙 もみの樹園敬老会に参加しダンス披露
10月26(土) 1階多目的ホールにて 保護者参加	運動会	保護者と共に日頃の運動遊びを楽しむ
12月23日(月) 日程変更 保育所ホールにて実施	クリスマス会	季節の行事を楽しむ
2月3日(月) 保育所ホールにて実施	節分	日本の伝統行事を知り、親しむ
3月3日(月) 保育所ホールにて実施	ひなまつり	日本の伝統行事を知り、親しむ
3月31日(月) 1階多目的ホールにて実施 転園児保護者参加	おわかれ会	転園児と保護者と共に楽しい 思い出となるようなひとときをもつ

2024 年度 研修参加一覧 《 園内研修含 》			
日時	受講場所	内容 「テーマ」	参加職員名
5 月 7 日 (火)～ 20 日 (月) 勤務時間内実施	保育事務所 動画視聴研修	(園内研修) 食中毒予防 動画研修	佐々・須賀・安川 佐々木・阿部 西脇・川島・水元 川戸・滝沢・金 棚井・藤倉
5 月 28 日 (火) 14 : 15～16 : 45	新宿歴史博物館 講堂	新宿区専門研修 「保育施設で活用できる コミュニケーションスキル」	西脇
6 月 5 日 (水) 勤務時間内実施	保育事務所 動画視聴研修	(園内研修) 食中毒予防 動画研修	滝沢
7 月 12 日 (火) 14:45～16 : 45	柏木地域 センター	新宿区専門研修 「保育施設における食育について」	佐々
7 月 22 日 (月) 9 : 00～17 : 00	もみの樹園 会議室	階層別 (一般職) 研修「第 1 回」	水元
7 月 24 日 (水) 14 : 00～16 : 00	新宿区 四谷保健 センター	食育講演会 ～食で育む子どもの未来～ スポーツ栄養から考える発育期からの 身体づくり	西脇
7 月 26 (金) 14 : 15～17 : 00	大久保地域 センター	新宿区 専門研修 アナフィラキシーショックの症状と 緊急対応	阿部

2024 年度 研修参加一覧 《 園内研修含 》			
日時	受講場所	内容 「テーマ」	参加職員名
7 月 29 日 (月) 9 : 30～12 : 30	保育事務所 オンライン研修	東京都主催 「乳幼児保育Ⅱ」 ～体調不良児の保育～	水元
7 月 29 日 (月) 13 : 30～16 : 30	保育事務所 オンライン研修	東京都主催 「保育所の役割から見た 施設長の責務」	佐々
8 月 3 日 (土) 13 : 30～16 : 30	保育事務所 オンライン研修	東京都主催 「乳幼児の栄養と食事」	棚井
8 月 28 日 (水) 13 : 30～16 : 30	保育事務所 オンライン研修	東京都主催 「乳幼児の健康管理 2」	阿部
8 月 31 日 (土) 13 : 30～16 : 30	保育事務所 オンライン研修	東京都主催 「こんなに深い絵本の メッセージ A」	須賀
9 月 6 日 (金) 13 : 00～14 : 00	新宿区 歴史博物館 講堂	新宿区 「0, 1, 2 歳児の豊かな生活と遊びを保 障する保育環境」	安川
9 月 9 日 (月) 9 : 00～17 : 00	もみの樹園 会議室	階層別 (一般職) 研修「第 2 回」	水元
10 月 3 日 (木) 14 : 15～16 : 45	大久保地域 センター	新宿区 専門研修 「運動遊び」	西脇

2024 年度 研修参加一覧 《 園内研修含 》			
日時	受講場所	内容 「テーマ」	参加職員名
10 月 9 日 (水) 14 : 15～16 : 45	新宿区 歴史博物館 講堂	新宿区 「保育施設における事故防止と 安全管理のポイント」	川島
10 月 15 日 (火) 15 : 15～16 : 45	新宿区 戸塚地域セン ター	新宿区 「支援が必要な子どもの保育① ～コミュニケーションについて 考える～」	安川
10 月 23 日 (水) 9 : 30～10 : 45	新宿区立 おちごなかい こども園 幼児園舎	新宿区 就学前合同研修会（第 4 回） 公開保育	佐々
11 月 11 日 (月) 9 : 00～17 : 00	もみの樹園 会議室	階層別（一般職） 研修「第 3 回」	水元
11 月 13 日 (水) 14 : 30～16 : 30	新宿区立 牛込仲之 幼稚園	新宿区 就学前合同研修会（第 5 回） 「音楽活動を見直す～子どもたちが響 き合う音楽活動を展開するための援助 を考える～」	須賀
11 月 19 日 (火) 9 : 50～11 : 00	保育室事務所 オンライン研修	大量調理衛生管理マニュアルの 正しい理解と活用	棚井
11 月 22 日 (金) 15 : 15～16 : 45	新宿歴史 博物館 講堂	新宿区 「支援が必要な子どもの保育② ～コミュニケーションについて 考える～」	佐々木
11 月 25 日 (月) 15 : 15～16 : 45	新宿区役所 入札室	新宿区 「保護者対応及び職場での人間関係 どんぐり製作・木の実で遊ぼう！」	佐々木

2024 年度 研修参加一覧 《 園内研修含 》			
日時	受講場所	内容 「テーマ」	参加職員名
11 月 29 日（金） 11：00～12：00	保育室事務所 オンライン研修	大量調理衛生管理マニュアルの 正しい理解と活用	金
12 月 2 日（火） 14：15～16：45	新宿 歴史博物館	新宿区 専門研修 「子どもの豊かな暮らしを創る子育て 支援：保育施設の役割」	佐々木
12 月 18 日（水） 14：15～16：45	新宿 歴史博物館	新宿区 「製作を通してのふれあい遊び」	阿部
1 月 8 日（水） 15：15～16：30	新宿区役所 3 階 302 会議室	新宿区 「0, 1, 2 歳児のかんきょうについて 新聞遊び」	川戸
1 月 16 日（木） 13：00～15：00	保育室事務所 収録型 WEB 研 修	令和 6 年度 第 2 回保育事業セミナー 「不適切保育を防ぐために 求められること」	佐々
1 月 20 日（月） 9：00～17：00	もみの樹園 会議室	階層別（一般職） 研修「第 4 回」	水元
1 月 24 日（金） 10：40～12：15	新宿区 高田馬場第二 保育園	新宿区 「豊かな心を育む園庭づくり」 （公開保育）	須賀
1 月 24 日（金） 10：40～12：15	新宿区 戸塚地域セン ター	新宿区 「戸外環境での感情・感覚」 全体会・講演	川戸
1 月 29 日（水） 14：30～16：30	新宿区立 教育センター 5 階大研修室	新宿区 就学前合同研修会（第 6 回） 「参加型のお話の会・絵本の読み聞 かせ・手遊びなどわらべ歌遊び」	水元

2024 年度 研修参加一覧 《 園内研修含 》			
日時	受講場所	内容 「テーマ」	参加職員名
2 月 5 日（水） 15：15～16：30	新宿区役所 第二分庁舎会館 1 階 会議室	新宿区 「事例を通して人間関係の対応を 考える」牛乳パック玩具作り	安川
2 月 21 日（金） 14：00～16：00	四谷保健保健 センター	食育ボランティア育成講座講座 ～子どもの興味を惹くパネルシアター 実演のコツ～	川島
3 月 5 日（水） 15：15～16：45	旧四谷第五 小学校 A 室	新宿区 「人権について 簡単な言葉遊び・ハンカチ遊び・ わらべ歌遊び等」	藤倉
3 月 17 日（月） 9：00～18：00	もみの樹園 会議室	階層別（一般職） 研修「第 5 回」	水元
3 月 19 日（水） 勤務時間内実施	もみの樹園 会議室	社会福祉法人園盛会 ハラスメント研修	佐々・須賀・安川 佐々木・阿部 西脇・川島・水元 川戸・滝沢・金 棚井・藤倉

2024 年度 キャリアアップ研修参加一覧		
実施団体 ・ 日時	研修種別	職種 / 受講者氏名
社会福祉法人 みんなぎ 8 月 13 日 (月) ・ 20 日 (木) ワイム貸会議室 高田馬場	マネジメント (副主任)	保育士 / 水元 弥生
社会福祉法人 絆友会 2 月 13 日 (木) ・ 27 日 (木) 保育室 zoom 研修	保護者支援・子育て支援	保育士 / 水元 弥生
社会福祉法人 絆友会 3 月 13 日 (木) ・ 14 日 (金) 保育室 zoom 研修	乳児保育	保育士 / 水元 弥生
社会福祉法人 絆友会 3 月 19 日 (水) 保育室 zoom 研修 オンデマンド動画研修	食育・アレルギー対応	保育士 / 水元 弥生